

社会福祉法人 仙台市社会事業協会

90th
Anniversary
創立90年誌

社会福祉法人 仙台市社会事業協会



基本理念

いつも希望を、もっと笑顔を、ずっと安心を実現したい!!

理 念

1. 児童から高齢者までの多様な事業や福祉サービスの提供を通じて、地域社会に貢献します。
2. 利用者の意向を尊重し個人の尊厳を保持しながら、心身ともに健やかに育成、支援します。
3. 職員間の連携を図ると共に専門職としての資質を高め、福祉サービスの質の向上に努めます。
4. 常に創意工夫して事業経営の安定及び強化を図り、法人の健全性、継続性を確保します。



contents

法人理念

法人創立90周年にあたって

仙台市社会事業協会会長 菅田 賢治 …………… 1

90周年に想う歴史の変遷

仙台市社会事業協会副会長(業務執行理事) 佐々木 薫 … 2

発刊にあたって

仙台市社会事業協会理事・事務局長 小野寺信也 …………… 3

創立90周年を祝して

仙台市長 郡 和子 …………… 4

お祝い

仙台市議会議長 斎藤 範夫 …………… 5

法人創立90周年記念に寄せて

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会会長 山浦 正井 … 6

仙台市社会事業協会組織図

…………… 7

歴代会長並びに現評議員・理事・監事名簿

…………… 8

歴代施設長一覧(平成21年度～平成30年度)

…………… 9

社会福祉関連施策年表

…………… 13

社会福祉施策等・近年の動向

…………… 14

仙台市社会事業協会設立趣意書

…………… 19

沿革と事業の概要

…………… 20

役員会の運営(平成20年度～平成29年度)

…………… 25

この10年の出来事

…………… 36

柏木保育園園舎増築 …………… 37

仙台中山保育所受託経営 …………… 38

仙台理容美容専門学校柏木校舎 解体 …………… 40

仙台理容美容専門学校「トレーニング・ラボ」新築落成 … 41

仙台保育園新築移転 …………… 43

特集 東日本大震災

…………… 44

法人事務局

…………… 54

高齢者福祉事業

…………… 60

養護老人ホーム仙台長生園 …………… 61

仙台楽生園ユニットケア施設群 …………… 71

沖野三施設 …………… 97

児童福祉事業

…………… 112

仙台保育園 …………… 113

柏木保育園 …………… 123

富沢わかば保育園 …………… 129

中山保育園 …………… 133

母子生活支援施設仙台つばさ荘 …………… 139

母子生活支援施設仙台むつみ荘 …………… 145

教育事業

…………… 150

仙台理容美容専門学校 …………… 151

資料編 法人機関紙・広報誌

…………… 160

編集後記

…………… 169

法人創立90周年にあたって

仙台市社会事業協会
会 長

菅田 賢治



「貴協会におかれましては、昭和3年の設立以来、各時代における様々な市民福祉サービスの向上にご尽力いただいているところでございます。設立された昭和初期は、社会福祉事業が主に困窮者への恩恵的な事業として行われていた時代でございました。そのような中、貴協会は、低家賃住宅の建設や公益質屋・公衆浴場の設置など、市民の福祉ニーズに一つ一つ丁寧に応えてこられました。その後、時代の流れに応じて変革を加えられ、今日においては…」これは、協会創設80年記念誌に寄せられた仙台市長からのメッセージの一部である。

さて、戦後70年を経た現在、本法人を取り巻く環境も大きく変化をしてきました。何より2年前から始まった、社会福祉法人の改革が待ったなしで動いています。評議員会の改変と権限の強化、それにもなう定款の変更です。さらに来年度からは、監査法人による監査の執行が予定されています。これらの課題を克服するために、これまで歴代の先駆者たちである法人役職員ならびに関係者の皆様のご熱意、ご労苦を深く胸にきざみ、乗り切ってまいりたいと考えます。

児童福祉の世界では、大きな変化が生じています。平成28年には法律の根幹ともいえる第1条から第3条までが大幅に書き換えられました。それを受けて、社会的養護が社会的養育と名をかえ、家庭養育を基本とする代替養育の在り方を今後、都道府県は平成32年3月までに推進計画として定めなければなりません。また、保育指針も地域の子育て支援を行う等の内容の変更が行われました。当法人でも4か所の保育園、2か所の母子生活支援施設があることから、これらの変革に対応しなければなりません。

これから、この90周年という歴史の重みに応えられるよう、豊かな福祉社会を構築するために行政当局のご指導、また地域社会の皆様のご協力を仰ぎ、法人職員一同、一丸となって努力を重ねてまいりますこととお誓い申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。

90周年に想う歴史の変遷

仙台市社会事業協会
副会長（業務執行理事）

佐々木 薫



昭和3年に設立された当法人は、6月で90周年を迎えました。人間で言えば卒寿に当たり、今年、還暦を迎えた私から見ますと、当法人が1.5倍の長きにわたり、その時代に応じながら福祉事業を展開してきた歴史に感慨もひとしおです。

この間にも様々な出来事があり、役職員の皆様のご活躍、ご苦労は如何ほどのものだったのかと推察されます。私自身も当法人に入職してから37年目を迎え、男性職員のプロパーとしては最も長くお世話になっておりますので、当法人の歴史について多少、紹介したいと思います。

仙台市内でも長い歴史を持つ当法人ですが、30年を一周期に考えますと、ちょうど初期、中期、後期の3つに分けられます。

初期の前半は、仙台市の外郭団体として、募金活動、簡易住宅、副業助成所、葬儀所、公益質屋等の救貧対策を主に行い、後半は、困った人のために、養護老人ホーム、保育園、母子寮、理容補導所、公衆浴場などの施設運営を行った時期です。

中期は、「ゆりかごから墓場まで」を合言葉に、社会事業会館や理容美容専門学校、アパートの経営をはじめ、保育園や老人施設等の新設を積極的に行い、特別養護老人ホームの開設など法人規模が大きくなってきた時期でもあります。この時は、仙台市から何でも一番にお願いされることが多く、デイサービス、訪問入浴事業、在宅介護支援センター、ホームヘルプサービスなどは、仙台市の第1号になっています。

後期の前半は、利用者が措置から契約に変わる福祉の大転換期であり、平成12年からの介護保険導入と、平成17年に開設された仙台楽生園ユニットケア施設群の開設が最大の出来事になります。介護保険10事業を展開したこともあり、法人規模が一気に拡大した時期でもあります。

後半のトピックは、社会福祉法の改正をはじめ様々な施策への対策と、介護士や保育士等の人材不足が上げられます。また、平成23年3月11日に起きた東日本大震災への対応も忘れてはなりません。これらについては、後章で述べたいと思います。

最後に、社会情勢と自然環境が厳しくなっていく時代ですが、高齢者施設と児童施設の垣根を越えてともに手を取り合い、法人の役職員が一丸となって知恵を出し合いながら、100周年に向かっていければと考えています。

発刊に当たって

仙台市社会事業協会
理事・事務局長

小野寺信也



昭和57年、大学を卒業して、実家のある気仙沼市で運営している保育所で臨時保育士（当時保父）として働いていました。

当時、大学の友人である現副会長（佐々木薫）が、協会で経営している柏木保育園で、仙台市で初めての男性保育士として働いていました。協会で経営している保育園に保育士の欠員が出たので、こちらで働いてみないかとの誘いをうけ、当時、法人本部があった戦災復興記念館で、会長、事務局長に、筆記、面接試験を行って頂きました。試験後、当時の会長、本間正雄会長から「家には、お父さん、お母さんがいる、保育園でお父さんの仕事をしなさい」とお言葉を頂きました。また、当時の事務局長、元木京太郎事務局長から、柏木保育園で佐々木君が働いている。あなたには仙台保育園で働いてもらう」とお話しされ、創立50周年事業誌を手渡されました。元木事務局長から、法人の歴史、経営している事業、施設等について詳細に説明を受けました。「あなたは良いところに就職したよ、社会保険にも入れてあげるし、退職金だって出る。頑張っておくように」その言葉の強さから福祉の仕事に対する誇りと協会に対する強い想いを感じ取りました。

当協会は、昭和3年、世界的大不況の中、福祉の活動を開始しました。90年の長きに渡り数多くの事業を行ってきましたが、我々の先輩職員の方々が築き上げた歴史、パイオニア精神は着実に職員に引き継がれています。その歴史に裏付けされている通り、近年では男性保育士の採用、デイサービスセンター・訪問入浴の受託経営、病児保育等世の中のニーズに寄り添い先駆的に事業を行って来ました。

入職時、50周年事業誌を頂いた私が、法人への想いを綴る立場になる事には、感慨深いものがあります。今までも、これからも利用者とその家族を想い、利用者の側に立ったサービスに心掛け、職員が受け継いだ情熱とチームワークで福祉の仕事を行って行きます。90周年は道半ばです。次の10年、100周年に向け、後輩職員に引き継いで行けるよう一層の努力を行ってまいります。

創立90周年を祝して



仙台市長
郡 和子

このたび、社会福祉法人仙台市社会事業協会が、本年6月にめでたく法人設立90周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

貴会は、昭和3年の設立以来、90年の長きにわたり、利用者が心身ともに健やかに育成され、又、自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、多様な福祉サービスの提供に取り組まれてこられました。菅田会長をはじめ歴代の役員、職員の皆様方のご尽力による事業の充実の取り組みに、あらためまして敬意と感謝の意を表します。

さて、この度の社会福祉法改正では、社会福祉法人の高い公益性・非営利性を担保するため、社会福祉法人における経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性が求められるなど新たな機関設計が導入されるとともに、地域における公益的な取り組みが社会福祉法人の責務と位置付けられました。このような制度改革は、社会福祉法人への期待の表れであり、高い公益性を備えた社会福祉法人が地域福祉の中核的な担い手として福祉サービスにおいて果たす役割はますます重要となっていくものと感じております。

さらに、近年、少子高齢化が急速に進む中、社会福祉を取り巻く環境は大きく変化し、福祉に対するニーズもますます多様化・複雑化してきております。貴会では、保育所や特別養護老人ホームなど、児童から高齢者まで多種多様な事業や福祉サービスを通じ、地域の福祉力向上に尽力してこられました。また、養護老人ホームや母子生活支援施設といった仙台市内において、数少ない施設種別の運営においても、貴会のお力を存分に発揮していらっしゃいます。

本市といたしましても、社会福祉法人をはじめとした団体、企業、市民の皆様との協働により、高齢者や障害のある方々が地域の中で生きがいを持って活躍できる施策を進めてまいりたいと考えております。超高齢化社会・人口減少社会の進展に伴い、新たな課題解決の手法が求められるこの時代にあっても、貴会が長年培ってこられた貴重な経験が必ず生きるものと思いい、皆様方におかれましては、今後も更なる取組の充実をご期待申し上げますところでございます。

結びに仙台市社会事業協会のますますのご発展と関係者の皆様方のご健勝を心からご祈念いたします。

お祝い



仙台市議会議長
斎藤 範夫

社会福祉法人仙台市社会事業協会が創立90周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昭和3年の創立以来、児童から高齢者に関わる多様な事業や福祉サービスの提供を通じて、地域社会に大きく貢献してこられた歴史に敬服いたします。

さて、世界に例を見ない急激な少子・高齢化の進行は、社会の姿を大きく変え、様々な課題が顕在化し、人口減少や地域コミュニティの希薄化など、日々の暮らしにも影響が生じています。複雑多様化する社会環境の中で、すべての人びとが安心して生活していくためには、それぞれにマッチした福祉サービスの提供や、豊富な実績と専門的な知見に基づく支援が、大きな支えとなり、心の拠り所となります。

貴協会が取り組む様々な事業を通じて、共に生きる喜びを実感できる福祉のまちづくりが進み、市民の地域福祉への理解がさらに深まることを願うとともに、創立90周年を機に、さらなる創意工夫とサービス向上に努められ、充実した事業を展開されますよう大いに期待しております。

市議会といたしましても、地域共生社会の伸展に向け力を尽くしてまいり所存でございますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展をお祈りし、長きにわたり社会福祉の充実にご尽力いただいた関係者の皆様方に心から感謝を申し上げまして、お祝いのことばといたします。

法人創立90周年記念に寄せて

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
会 長

山浦 正井



社会福祉法人仙台市社会事業協会が創立90周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

昭和3年の創立から今日に至るまで、貴協会がその時代時代の社会経済状況に応じた公共性の高い福祉事業や介護保険事業、教育事業などを幅広く展開され、子どもや高齢者を問わず、地域社会への貢献と市民の福祉増進に尽力されてこられましたことに対し、深く敬意を表します。

この間、昭和の大恐慌やこれに続く戦争の時代を経験され、さらに戦後の復興、高度経済成長、平成不況、東日本大震災など様々な時代と社会経済状況下においても、貴協会は、生活困窮に苦しむ方や福祉が必要な数多くの方々に対し常に暖かい手を差しのべ、困難な状況を救ってこられた輝かしい歴史を有しておられます。長年にわたる事業活動に裏打ちされた揺るぎない奉仕の精神性と、時代を見据えた事業の先駆性は、まさに社会福祉法人の模範であり、これもひとえに歴代の会長さん方をはじめ、役職員の皆様のたゆまぬご尽力の賜物と存じております。

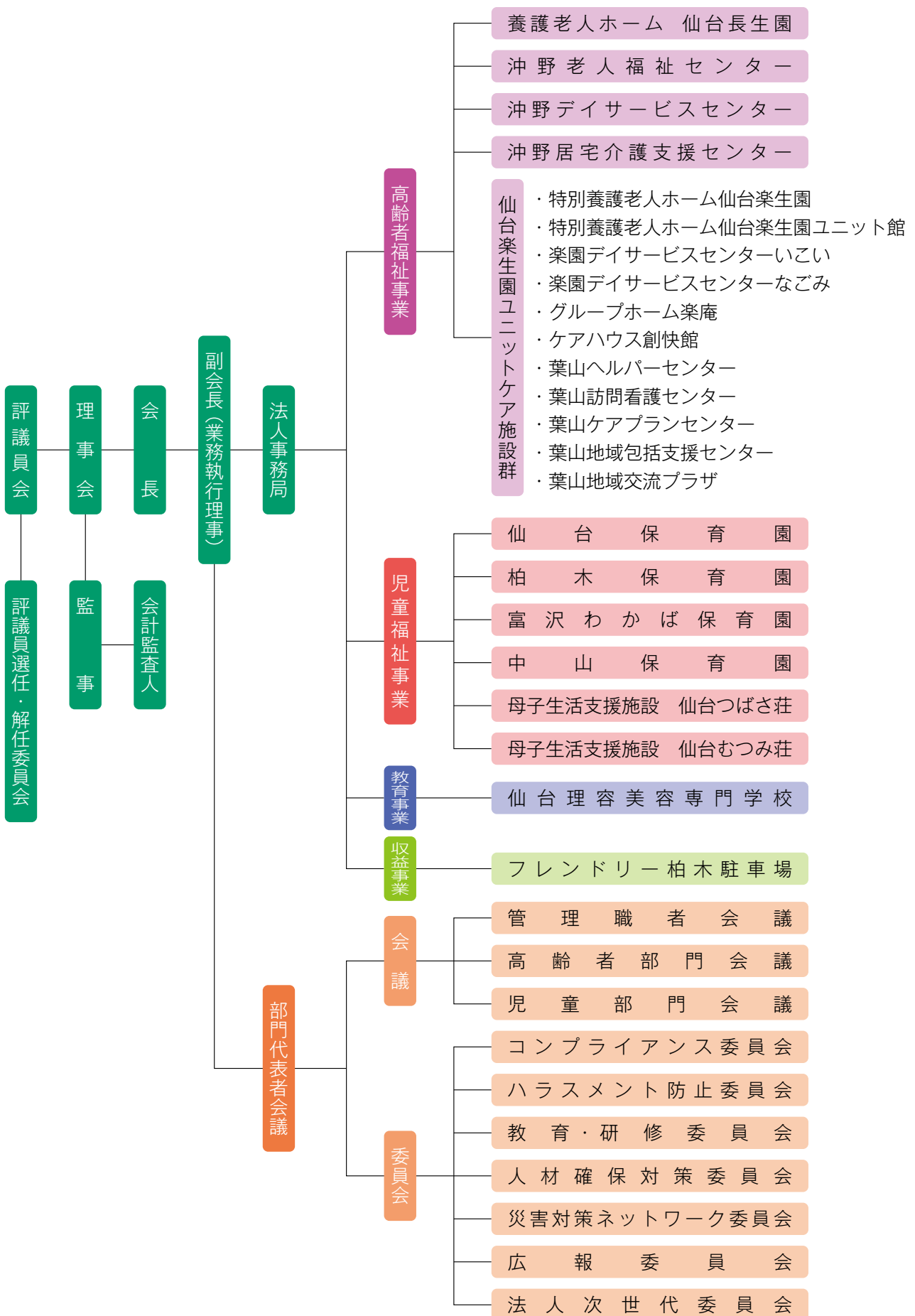
さて、団塊の世代が後期高齢者となる2025年は目前に迫ってきており、我が国は、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という超高齢社会になることが見込まれています。本市におきましても、少子高齢化の進展と家族や地域社会の有り様の変化によりまして、地域社会が脆弱化し、地域を取り巻く福祉課題はますます複雑・多様化しています。

現在、国・地方をあげて「我が事・丸ごと」の地域づくりに向けた事業がスタートし、住民主体による課題解決力の強化や多機関の協働による包括的な相談支援体制づくりのため、地域包括ケアシステムや生活困窮者自立支援制度など各制度と連携した「地域共生社会の実現」に向けた取り組みが進められています。

私たち社会福祉法人には、これまで培った知見と実践を十分に活かし、地域福祉の主たる担い手として、これまで以上に地域に暮らす方々の生活を下支えしていくことが期待されております。自ら提供するサービスの充実に努めるとともに、地域の方々や関係機関・団体などと強く連携しながら、新たに顕在化した福祉課題に対しても、解決に向けた取り組みを積極的に担っていかねばなりません。

この度の記念すべき90周年を一つの節目として、次の100周年に向け、貴協会が時代の要請をふまえて精力的な事業活動を展開され、さらなるご発展をされますよう心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

仙台市社会事業協会組織図



歴代会長並びに現評議員・理事・監事名簿

平成30年4月現在、評議員7名、理事6名、監事2名であり、歴代会長は下記のとおりである。

歴代会長



初代会長 山口龍之介
(昭和3.6～昭和5.8)



2代会長 渋谷徳三郎
(昭和5.9～昭和17.8)



3代会長 今村 武
(昭和17.6～昭和22.3)



4代会長 岡崎 栄松
(昭和22.4～昭和33.1)



5代会長 猪苗代 弼
(昭和33.2～昭和43.8)



6代会長 本間 正雄
(昭和43.9～昭和63.9)



7代会長 高橋 由松
(昭和63.9～平成8.5)



8代会長 横山 孫平
(平成8.5～平成13.11.7)



9代会長 千田 典男
(平成13.11.8～平成29年6.15)

現評議員・理事・監事名簿 平成30年4月現在

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	山浦 正井	会長	菅田 賢治	監事	鈴木 峻
評議員	塩村 公子	副会長	佐々木 薫	監事	佐々木清人
評議員	田村 武暢	理事	小野寺信也		
評議員	葉坂 哲男	理事	小野寺光弘		
評議員	村上 秀一	理事	高野 誠		
評議員	安彦 滋夫	理事	佐藤 文彦		
評議員	深澤 哲				

歴代施設長一覧（平成21年度～平成30年度）

【法人事務局長】

菅田 賢治（平成19年4月1日～平成25年3月31日）

小野寺信也（平成25年4月1日～現在に至る）

【養護老人ホーム仙台長生園長】

菅田 賢治（平成19年4月1日～平成28年3月31日）

佐藤 文彦（平成28年4月1日～現在に至る）

【長生園介護センター所長】

植木 祐子（平成18年7月1日～平成23年3月31日）

小船 順子（平成23年4月1日～平成26年3月31日）

天野 博美（平成26年4月1日～平成29年6月30日）

【葉山地域交流センター所長】

植木 祐子（平成23年4月1日～平成26年3月31日）

小船 順子（平成26年4月1日～現在に至る）

【特定施設仙台長生園所長】

天野 博美（平成29年7月1日～平成30年3月31日）

【葉山デイサービスセンター所長】

菅田 賢治（平成19年4月1日～平成23年3月31日）

小野寺信也（平成23年4月1日～平成29年3月31日）

榊原 泰子（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

【仙台楽生園ユニットケア施設群総括施設長】

佐々木 薫（平成17年12月1日～現在に至る）

【特別養護老人ホーム仙台楽生園長】

佐々木 薫（平成19年4月1日～現在に至る）

【仙台楽生園短期入所生活介護事業所長】

佐藤 文彦（平成21年4月1日～平成24年3月31日）
天野 博美（平成24年4月1日～平成26年3月31日）
植木 祐子（平成26年4月1日～平成28年3月31日）

【特別養護老人ホーム仙台楽生園ユニット館園長】

佐々木 薫（平成28年4月1日～現在に至る）

【楽園デイサービスセンターいこい施設長】

佐藤 純（平成21年4月1日～平成24年3月31日）
天野 博美（平成24年4月1日～平成26年3月31日）
植木 祐子（平成26年4月1日～平成30年3月31日）
天野 博美（平成30年4月1日～現在に至る）

【楽園デイサービスセンターなごみ施設長】

佐藤 純（平成21年4月1日～平成24年3月31日）
天野 博美（平成24年4月1日～平成26年3月31日）
植木 祐子（平成26年4月1日～平成30年3月31日）
天野 博美（平成30年4月1日～現在に至る）

【ケアハウス創快館施設長】

佐藤 文彦（平成21年4月1日～平成24年3月31日）
佐藤 純（平成24年4月1日～平成25年3月31日）
榊原 泰子（平成25年4月1日～平成26年3月31日）
小船 正明（平成26年4月1日～現在に至る）

【グループホーム楽庵施設長】

佐々木 薫（平成17年12月1日～現在に至る）

【葉山地域包括支援センター所長】

佐々木 薫（平成18年4月1日～現在に至る）

【葉山ケアプランセンター所長】

小船 正明（平成21年4月1日～平成26年3月31日）
榊原 泰子（平成26年4月1日～平成30年3月31日）
天野 博美（平成30年4月1日～現在に至る）

【葉山ヘルパーセンター所長】

小船 正明（平成21年4月1日～平成26年3月31日）
榊原 泰子（平成26年4月1日～平成30年3月31日）
天野 博美（平成30年4月1日～現在に至る）

【葉山訪問看護センター所長】

佐藤 文彦（平成19年4月30日～平成24年3月31日）
榊原 泰子（平成24年4月1日～平成27年3月31日）
小船 正明（平成27年4月1日～現在に至る）

【葉山地域交流プラザ館長】

佐々木 薫（平成17年12月1日～現在に至る）

【沖野老人福祉センター館長兼沖野デイサービスセンター所長】

小野寺信也（平成18年4月1日～平成22年3月31日）
高橋すい子（平成22年4月1日～平成30年3月31日）
植木 祐子（平成30年4月1日～現在に至る）

【沖野居宅介護支援センター所長】

菅田 牧子（平成18年4月1日～平成21年6月30日）
小野寺信也（平成21年7月1日～平成22年3月31日）
高橋すい子（平成22年4月1日～平成30年3月31日）
植木 祐子（平成30年4月1日～現在に至る）

【仙台つばさ荘施設長】

小関 悌一（平成19年4月1日～平成23年9月30日）
菅田 賢治（平成23年10月1日～平成24年3月31日）
佐藤 文彦（平成24年4月1日～平成28年3月31日）
菅田 賢治（平成28年4月1日～現在に至る）

【仙台市むつみ荘施設長】

高橋すい子（平成9年4月1日～平成22年3月31日）
長田 伸一（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

【仙台むつみ荘施設長】

長田 伸一（平成23年4月1日～現在に至る）

【仙台保育園長】

高野 誠（平成17年4月1日～平成25年3月31日）
庄子美智子（平成25年4月1日～平成27年3月31日）
高野 誠（平成27年4月1日～現在に至る）

【柏木保育園長】

島田 玉江（平成11年4月1日～平成30年3月31日）
高橋すい子（平成30年4月1日～現在に至る）

【富沢わかば保育園長】

岡本 陽子（平成4年4月1日～平成24年3月31日）
櫻間美智子（平成24年4月1日～平成27年3月31日）
庄子美智子（平成27年4月1日～現在に至る）

【仙台市中山保育所長】

高野 誠（平成25年4月1日～平成27年3月31日）
櫻間美智子（平成27年4月1日～平成30年3月31日）

【中山保育園長】

櫻間美智子（平成30年4月1日～現在に至る）

【仙台理容美容専門学校長】

鈴木 泰子（平成14年1月10日～平成24年3月31日）
小野寺光弘（平成24年4月1日～現在に至る）

社会福祉関連施策年表 (主に本協会に関連のあるものを抜粋)

年号	法律名等	時代背景
昭和21年	日本国憲法・旧生活保護法	
昭和22年	児童福祉法	第1次ベビーブーム
昭和25年	新生活保護法	朝鮮戦争(特需ブーム)
昭和26年	社会福祉事業法	
昭和38年	老人福祉法	35年所得倍増計画
昭和39年	母子福祉法	東京オリンピック
昭和44年	寝たきり老人に対する老人家庭奉仕員派遣制度	
昭和45年	社会福祉施設緊急整備五か年計画	高齢化率7%を超える
昭和53年	デイサービス事業・ショートステイ事業の実施	54年国際児童年
昭和56年	児童福祉法改正(延長・夜間保育の実施)	日米貿易摩擦
昭和62年	社会福祉士及び介護福祉士法	バブル景気
平成元年	ゴールドプランの策定	
平成2年	老人福祉法等福祉関係8法改正	
平成5年	福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律	
平成6年	21世紀福祉ビジョン・エンゼルプラン・新ゴールドプランの策定	高齢化率14%を超える
平成9年	介護保険法・児童福祉法改正(保育制度改正)	
平成11年	新エンゼルプランの策定	
平成12年	社会福祉の増進のための社会福祉事業法の一部を改正する等の法律 児童虐待防止法	
平成13年	児童福祉法改正(保育士資格の法制化等)	厚生労働省発足
平成15年	児童福祉法改正(子育て支援事業・市町村保育計画) 少子化社会対策基本法 次世代育成支援対策推進法 母子家庭の母の就業に関する特別措置法	
平成16年	児童福祉法改正(児童相談に関する体制の充実等) 子ども・子育て応援プランの策定	
平成17年	介護保険法改正(予防重視型システムへの転換等)	
平成18年	介護報酬改正	
平成19年	児童虐待防止法改正。都道府県知事による保護者に対する接近禁止命令制度の創設 児童福祉法の改正。(児童虐待防止対策の強化等)	年金記録問題が明らかになる
平成20年	後期高齢者医療制度開始	リーマンショック世界同時不況
平成22年	子ども手当制度施行 子供・子育てビジョン 少子化社会対策基本法に基づく大綱	アメリカ・医療保険改革法(オバマケア) ユーロ危機
平成23年	高齢者の居住の安定確保に関する法律の改正	東日本大震災
平成24年	子ども、被災支援法 子ども、子育て、支援法	国民年金法等改正
平成25年	生活困窮者自立支援法 生活困窮者自立促進支援制度を創設(2015年4月1日より施行)	2020年東京五輪決定
平成26年	子供の貧困に関する大綱 母子及び父子並びに寡婦福祉法(母子及び寡婦福祉法から改正)	過労死等防止対策推進法
平成27年	介護保険法改正	安全保障関連法案可決
平成29年	社会福祉法改正	上野動物園パンダ誕生

社会福祉施策等・近年の動向

1. 社会福祉法人制度改革における近年の動向

平成28年3月31日に交付された「社会福祉等の一部を改正する法律」による新しい社会福祉制度は、社会福祉法人が今後も地域福祉の中心的な担い手としての役割を果たすことができるよう、平成18年の公益法人制度改革も踏まえて、公益性と非営利性を備えた法人としての在り方を徹底する観点から改革が行われたものである。

社会福祉法人制度改革（主な内容）

○公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する。

(1) 経営組織のガバナンスの強化

□理事・理事長に対する牽制機能の発揮

□財務会計に係るチェック体制の整備

○議決機関としての評議員会を必置

※理事等の選任・解任や役員報酬の決定など重要事項を決議

小規模法人について評議員定数に係る経過措置を設ける。

○役員・理事会・評議員会の権限・責任に係る規程の整備

○親族等特殊関係者の理事等への選任の制限に係る規定の整備

○一定規模以上の法人への会計監査人の導入等

(2) 事業運営の透明性の向上

□財務諸表の公表等について法律上明記

○閲覧対象書類の拡大と閲覧請求者の国民一般への拡大

○財務諸表・現況報告書（役員報酬総額、役員等関係者との取引内容を含む。）、役員報酬基準の公表に係る規定の整備等

(3) 財務規律の強化

①適正かつ公正な支出管理の確保

②いわゆる内部留保の明確化

③社会福祉への計画的な再投資

①役員報酬基準の作成と公表、役員等関係者への特別の利益供与の禁止等

②純資産から事業継続に必要な財産（※）の額を控除し、福祉サービスに再投下可能な財産額（「社会福祉充実残額を」）を明確化

※①事業に活用要する土地、建物等②建物の建替、修繕に必要な資金③必要な運転資金

④基本金及び国庫補助金等特別積立金

③「社会福祉充実残額」を保有する法人に対して、社会福祉事業又は公益事業の新規実施・充実に係る計画の作成を義務付け（①社会福祉事業、②地域公益事業、③その他公益事業の順に検討）等

(4)地域における公益的な取組を実施する責務

- 社会福祉法人の本旨に従い他の主体では、困難な福祉ニーズへの対応を求める
- 社会福祉事業及び公益事業を行うに当たり、日常生活又は社会生活上支援を要する者に対する無料又は低額な料金で福祉サービスを提供することを責務として規定

(5)行政の関与の在り方

- 所轄庁による指導監督の機能強化
- 国・都道府県・市の連携を推進
- 都道府県の役割として、市による指導監督の支援を位置づけ
- 経営改善や法令遵守について、柔軟に指導監督する仕組み（勧告等）に関する規定を整備
- 都道府県による財務諸表等の収集・分析・活用、国による全国的なデータベースの整備等

2. 高齢者施策の動向・これからの福祉の方向性

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しており、これらに対応するため、1963年に老人福祉法が制定され、特別養護老人ホームの創設やホームヘルパーの法制化が図られるなど、高齢者保健福祉施策が本格的に始まりました。1973年には老人医療費の無償化、1982年に老人保健法の制定、1989年にゴールドプラン（高齢者保健福祉推進十か年戦略）が策定されました。1994年の新ゴールドプランの策定で在宅介護の充実が図られ、1997年には介護保険法が成立し、2000年に施行されました。

この介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組み、いわゆる共助を柱とする画期的な制度ではありましたが、「走りながら考える」というスローガンの下、不完全なままにスタートした経過があります。

そのため、現状に合わせながら3年毎に改定する方式を取っており、これまでも介護予防の重視、施設給付の見直し、地域包括ケアの推進、地域支援事業の充実、自立支援・重度化予防、共生型サービスの位置づけ、医療介護院の創設などの改正を行っています。また、同時に行われる報酬改定では、想像以上の要介護者の増加と財政難が相まって、利用者や事業者には、年々厳しい内容になってきています。

現在、65歳以上の人口は、現在3,000万人を超えており（国民の約4人に1人）、2042年の約3,900万人（国民の約3人に1人）でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。

このような状況の中、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）には、認知症高齢者も700万人（高齢者の約5人に1人）に上ると推計されています。2012年にオレンジプラン（認知症施策推進5か年計画）、2015年に新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）が策定され、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて、国も省庁の枠を超えた様々な施策を推進しています。

2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。このため、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制いわゆる「地域包括ケアシステム」の構築が喫緊の課題となっています。また、

職員不足も深刻で、外国人に頼らざるを得ない状況にあります。

平成29年12月に「人生100年時代構想会議 中間報告」が、平成30年6月13日に「人づくり革命 基本構想」がとりまとめられています。

今後、日本の健康寿命が世界一の長寿社会を迎えて、人生100年時代に突入します。高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくることが重要な課題となりますので、当法人でも10年後の100周年に向けて、歩調を合わせた取り組みが必要になってきます。

3. 保育施設における近年の動向

近年の保育をめぐる状況はめまぐるしく変化していると言えます。それは、平成27年4月1日施行の「子ども・子育て支援新制度」からも読み解くことができます。

新制度では、幼稚園や保育所、認定こども園、地域型保育を利用する際に、支給認定を受ける必要があります。

支給認定には、子どもの年齢や保育の必要性に応じて、1号認定から3号認定まで3つの区分があり、保育所（園）を利用するには支給認定を受けなければなりません。そして、その認定区分によって利用できる施設や時間が変わります。

1号認定（教育標準時間認定）…満3歳以上の小学校就学前子どもであって、学校教育のみを受ける子ども

2号認定（保育認定）…満3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育を必要とする子ども

3号認定（保育認定）…満3歳未満の保育を必要とする子ども

となっていることから、保育所（園）では、2号、3号認定のお子さんしかお預かりすることが出来ません。

その「子ども・子育て支援新制度」創設の背景には、核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加、兄弟姉妹の数の減少など子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境が大きく変化があげられます。そして、子どもや子育て家庭の置かれた状況や地域の実情を踏まえ、国や地域を挙げて、子ども・子育てへの支援を強化する必要があるとされています。子どもの年齢や親の就労状況などに応じた多様かつ質の高い支援を実現するため、消費税財源も活用して、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進していくために教育・保育を一体的に行う幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている認定こども園という施設の制度も出来ました。おそらく少子化に伴い、保育所（園）から認定こども園へ移行していく施設も増えていくことでしょう。

合わせて、保育とは何か、保育で大切にすべきことは何かという基本方針が示されたもので、すべての保育園が全体的な計画や指導計画を作成するうえで指針とする「保育所保育指針」は、平成30年4月1日に10年ぶりに改定されました。改定の大きなポイントは2つあります。

【1】乳児保育と1歳以上3歳未満児の保育の狙いと内容の記載が充実

【2】保育所が日本の「幼児教育施設」として位置付けられたこと保育所も「幼児教育」を行う施設として設定され、幼稚園や幼保連携型認定こども園とともに「幼児教育のあり方」を明確にしています。

また、待機児童対策として、地域型保育事業の一つである0歳から2歳までのお子さんを預かる小規模保育所を市町村による認可事業（地域型保育事業）として、児童福祉法に位置付けた上で、地域型保育給付の対象とし、多様な施設や事業の中から利用者が選択できる仕組みとすることにしています。ちなみに、仙台市においても平成30年8月末現在、認可保育園も認定こども園を含めて231か所、小規模保育所等も88か所となり、保育士不足はもちろん少子化が進むにつれ保育業界も生き残りをかけた戦いになるでしょう。

4. 母子生活支援施設における近年の動向

母子生活支援施設は、児童福祉法において定められた児童福祉施設ですが、今日の母子家庭をめぐむ状況のもと、母子家庭の保護から自立支援に向けた援助・支援を図るために、関係する法・施策分野も含めた総合的な取り組みが必要とされています。

■「母子及び寡婦福祉法」

「母子及び寡婦福祉法」では、1997（平成9）年の法改正により、「雇用の促進のために、母子相談員（2003（平成15）年の母子及び寡婦福祉法の改正により、母子自立支援員に名称変更）その他母子家庭の福祉に関する機関並びに児童家庭支援センター、母子生活支援施設及び母子福祉団体並びに公共職業安定所は、就職を希望する母子家庭の母及び児童の雇用の促進を図るために、相互に協力しなければならない」と定められ、母子家庭の就労支援について、地域で生活する母子家庭に対しても、相談・支援機能を求められることとなるなど、母子生活支援施設に求められる役割が一層大きくなりました。

■「母子家庭等自立支援対策大綱」

2002（平成14）年に厚生労働省から出された「母子家庭等自立支援対策大綱」では、「母子生活支援施設や住宅など自立に向けた生活の場の整備」が掲げられ、母子生活支援施設は、地域で生活する母子への子育て相談・支援や、保育機能の強化、サテライト型などの機能強化、無料職業紹介事業の実施などがあげられ、母子生活支援施設への社会的な期待が高まっています。

■「改正DV法（夫からの暴力及び被害者の保護に関する法律）」

ドメスティック・バイオレンス（DV）被害者保護では、2004（平成16）年に改正された「改正DV法（※）」において、一時保護施設として母子生活支援施設が位置づけられました。母子生活支援施設がDV被害者保護から生活の基盤づくりを行い、自立支援を行う施設であることが法律上も明記されました。

※「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律

＜DV法に基づく一時保護の委託契約施設数（平成18年4月現在）＞

母子生活支援施設	民間団体	婦人保護施設	児童養護施設・乳児院	他施設	合計
83	81	18	23	24	229

出典：平成18年度全国児童相談所会議

母子生活支援施設の機能～全国母子生活支援施設協議会特別委員会報告書から～

現在、母子生活支援施設に求められる機能・役割について、全国母子生活支援施設協議会では、2005（平成17）年にまとめた報告書の中で、次のとおり整理しています。

＜母子生活支援施設の機能について＞

施設で生活する母子家庭等	地域全体（ひとり親家庭）
<p>◆生活と権利擁護の拠点</p> <p>(1)癒しを得ることができる生活環境</p> <p>(2)相談 日常的ストレスへの対応 生活相談（諸サービスの利用、自立に向けての準備）</p> <p>(3)生活支援と生活に関するスキルの向上支援 ・生活スキルの習得 ・制度活用をサポート（アドボケート）</p> <p>(4)子育て支援と子どもへの支援 養育技術の習得／しつけ／生活習慣／保育／学習指導／遊びの指導／進路相談／被虐待児支援（心理的サポートを含む）／障害児への支援</p> <p>(5)健康維持のための支援 治療のサポート／服薬のサポート</p> <p>(6)就労支援</p> <p>(7)危機対応</p> <p>(8)アフターケア</p>	<p>(1)地域支援・子育て支援 学童保育／ショートステイ／トワイライトステイ／保育機能強化等</p> <p>(2)危機対応 ひとり親／単身／被害者支援</p> <p>(3)相談機能（電話相談含む）</p>

出典：「母と子の権利擁護と生活の拠点をめざして～全国母子生活支援施設協議会 特別委員会報告書～」

全国母子生活支援施設協議会ホームページより抜粋

仙台市社会事業協会設立趣意書

人は万物の霊長といわれるだけに、その組織する社会は他の生物に類例のない、最高の有機的なものでなければならぬ。有機的なるが故に、もしその一部に欠陥があり、憂慮すべきことが起こる場合には、出来るだけ最善の途を講じ、完全を期するのは当然のことです。ちょうど人体の一部の傷害が全身の悩みになると同様に、社会一部の欠陥、憂慮すべき傾向が、国家全般にどれだけ災いするものであるか、言を要せざるところであります。

ひるがえって現在の世態人情を考えました時に、政治、経済、思想等社会万般にわたりて行き詰まりを生じ、すこぶる險悪に赴き、いわゆる国難に遭遇しておるといわれ、はなはだ遺憾に堪えない次第でありまして、かしこくも上皇室におかせられては、深くこの点にご懸念あらせられ、社会事業のために数次御内帑金の御下賜を拝し、為政者またこの有難く御聖旨(天子のおぼし召し)を体し、種々匡救(救済すること)の策をたて、朝野(朝廷と民間)協力、似ってこの世相をより良くせんがために腐心しておるのであります。思うに吾人の社会生活において、優勝劣敗、貴賤貧富の生ずることは、けだしやむを得ざることと致しましても、お互いその分に安んじ、相提携し、融和し楽しんで生活を送るように社会組織が出来ておらねばならぬものと信じます。これ今日社会連帯の精神涵養を力説せらるるゆえんであります。この意味から我が仙台市を觀じ、従来施設実行せる社会事業に鑑み、これが助成發達を図るとともに、より良き仙台市を出現せんがためには、更に無料医療所の如き、細民者(貧しい人々)のための小住宅の如き、修養、娯楽、人事相談等一般公衆の機関としての市民館の如き、その他恤救者(救い恵む必要のある人々)収容所、安価宿泊所、簡易食堂、授産所、公設浴場、小児保健所等、挙げ来れば施設すべき事柄が多々あるのであります。しかしこれらは到底市の経常費のみによっては、実現なかなか至難を感じますので、ここに特別の機関を設け、その援助活動によって実行に遺憾なきを期したいと思ひまして、今回仙台市社会事業協会を設立し、市民多数の同情援助によって、幾多の施設事項を研究調査して実現の途を講じ、挙市一体、共存共栄、市民の幸福を増進し、以って昭和維新の洪謨にそい奉らんことを期したいと思ひます。こい願わくは、本会設立の趣旨を翼賛(力を添えて助けること)せられ、事業の遂行とその發達隆昌を期し、以って本会設立の目的を達成せしめらるるよう熱望してやまない次第であります。

昭和3年5月

沿革と事業の概要

年月日	事項	内容
昭3.6.7	協会設立	仙台市社会事業協会を設立、事業所を仙台市役所社会課内に置く。
4.12.1	募金活動	年末に同情週間を催し、街頭、学校、家庭を通じて金品を募り、年末を控えて生活に苦しむ市内の家庭に配分した。
6.12.23	低家賃住宅建設	市内新寺小路廃墓地287坪を市より無償で借受け、簡易住宅12戸を建設し、低家賃で住宅難に悩む庶民に貸与した。
8.1.10	副業助成所開設 (第1)	市内芭蕉の辻明治製菓会社本館の一部を借受け副業助成所を開設、和洋裁、手芸の授産事業を行い、婦女子に副業収入の途を講じた。
8.5.6	副業助成所(第2)	市内荒町満福寺境内の一部を借受け荒町副業助成所を開設、更に3年後の昭和11年に隣接の廃墓地(連坊小路109の2.4)に木造2階建333.23㎡を建築、作業員130名を収容し和、洋裁、手芸の授産事業を行った。
9.7.20	海浜学校開設	蒲生海岸に貧困家庭の児童のための海浜学校と、翌昭和10年には菖蒲田海岸に臨海学校を開設、児童150名を収容、半数は無料として開放、児童の健康増進に努めた。同じく翌11年には野蒜海岸に移設し、250名を収容半数を無料、半数を有料で入校させ地元小学校教員、及び女子青年団の協力を得て児童の健康増進に努めた。
10.4.8	組織認可	財団法人組織として厚生省の認可を受け、資産と事業の基礎を確立した。
10.8.1	職業紹介所を設置	仙台市職業紹介所を市内北目町に設置、簡易宿泊所、食堂を併設し、求職者の便を図った。職業紹介所の国営移管に伴い、3年後の昭和13年7月これを廃止した。
11.4.1	食堂、売店の開設	市立病院内に患者の利便をはかるため、食堂売店を開設したが、4年後の昭和15年12月市立病院に移管した。
12.1.9	仙台市葬儀所を開設	生活困窮者の助葬、身元不明者の仮埋葬、その他一般市民の葬祭利便を目的として、荒町204番地に仙台市葬儀所を開設、霊柩車2台、腕車1台、職員5名を配置し、低廉な価格と、行きとどいたサービスで業務を行い、市民から喜ばれた。
12.7.1	連坊公益質屋を開設	連坊小路257番地に庶民金融の機関として公益質屋を開設、多くの庶民の利用を得た。
13.4.1	仙台長生園を開設	通町176の2東昌寺所有の原野14,904.73㎡(4,506坪)を買受け、老人ホーム仙台長生園1461.15(442坪)を建設、定員100名を収容したが、日中戦時中のことで陸軍病院分院として、戦傷兵収容施設に指定された。その後狭隘となり、昭和34年1月園内敷地に一部増築した。昭和38年建物が老朽化し国、県、お年玉はがき補助工事として、8ヶ年計画で居室、調理室、浴室、講堂、管理棟を耐火構造とし昭和46年完成した。
13.6.1	結婚相談所を開所	仙台市公会堂の一室を借り受け、結婚相談所を開所初代主任に高泉とよを任命、事業を開始したが、太平洋戦争開戦で一時休業、昭和29年4月北一番丁仙台市社会事業会館にて再開所した。結婚式の簡素化、配偶者の紹介、健全な結婚思想の普及等に努めた。

年月日	事 項	内 容
昭13. 7. 1	社会事業施設の移管を受ける	宮城県社会事業協会の施設であった市内の社会事業施設の無償移管を受けた。 (1)簡易住宅 柏木1丁目5番36・37 (2)養 老 院 〃 37 (3)公衆浴場 〃 33 (4)仙台保育園 南鍛冶町100の1
13.12. 1	原町副業助成所を開設	市内原町元宮城郡役所敷地を買収し、原町副業助成所を開設、母子家庭、未亡人等の授産事業を行った。昭和26年9月これを仙台市に引継ぎ仙台市共同工業所となり副業助成所は解散した。
14. 8. 5	北六副業助成所を開設	市内北六番丁112番丁の市水道部敷地を受け、軍需縫製を行う。
16. 7. 1	仙台興亜寮（仙台母子寮）を設置	市内北七番丁49番地に母子寮を設置、軍人遺家族の母子家庭14世帯を収容、興亜寮として発足したが、戦後仙台母子寮と名称を改める。17世帯から現在は20世帯定員となっている。
19. 4. 1	理容補導所を開設（仙台理容美容専門学校）	市内東三番丁佐藤理容所長佐藤厚から戦争遺家族の職業補導を目的として店舗提供の申出があり、委託経営を受託、理容補導所としたが、昭和24年3月宮城県より学校設置の許可を受け仙台理容補導学校とし昭和28年3月には厚生大臣の指定認可を受け仙台理容学校、昭和29年4月定員200名として仙台高等理容美容学校とした。昭和44年創立40周年記念事業の一環として鉄筋3階建の近代的な校舎とした。昭和55年10月仙台理容美容専門学校認可、更に昭和62年校舎内外を整備補修、理容美容器具設備の近代化をはかった。
24. 4. 1	追廻保育園を開設	昭和22年10月、追廻地区婦人会が主体となって、幼児教育目的に託児所を開設したが、その後仙台市を経て本協会に経営を委託され、追廻保育園と改め開園した。
24.10.12	公衆浴場を建設	市内東七番丁の仙台市ガス事業所構内に、公衆浴場を建設。市民の利便に供したが、ガス工場の移転に伴い昭和32年12月廃止した。
25. 4. 1	八幡町公益質屋を設置 北二番丁公益質屋を設置	市内八幡町十二軒丁に連坊公益質屋に次いで、2番目の公益質屋を設置し庶民金融の便に供したが、昭和33年3月廃止、北二番丁公益質屋に移管し、営業を再開した。
26. 8. 1	原町母子寮を経営	市内原町天還前に原町母子寮を仙台市から委託されて経営したが、昭和38年4月施設老朽化し仙台市に返還した。
27. 5. 17	社会福祉法人 厚生大臣の認可	社会福祉事業法の制定施行に伴い、社会福祉法人に組織変更の厚生大臣認可を受け、5月31日新法人の登記を完了した。同年10月10日創立25周年を祝って記念式典を行い、本会事業の功労者と永年勤続職員に感謝、表彰を行った。
28.11.15	社会事業会館を建設	仙台市役所構内敷地に、創立25周年記念事業の一環として、仙台市社会事業会館を建設、社会福祉協議会、母子福祉会、等社会福祉事業関係団体のために各室を提供した。
29. 2. 15	母子住宅建設	市内荒町206-3連坊小路109-2、109-4の敷地（本協会所有地と財務局よりの払下げ地）に母子家庭の住宅提供施設として、母子住宅12世帯を建設入居させた。
33.12. 6	創立30周年記念 事業を実施	創立30周年を記念し、式典を行い本会事業の功労者、永年勤続職員を表彰、感謝状を贈り、記念事業誌を編集刊行した。

年月日	事項	内容
昭38. 2. 20	長町公益質屋を開設	市内南地区住民より公益質屋の設置要望があり、市内長町二丁目13番34号、熊谷真次所有地を借り受け、倉庫を建設、事務室を借用公益質屋を開業した。長町公益質屋として長町周辺住民の利用に供し、7年間営業したが営業成績が上がらず、昭和46年7月厚生省の認可を得て廃止した。
39. 5. 13	事務局移転	市役所庁舎狭隘となり、新庁舎建設のため、本社会事業会館を譲渡し、事務局を錦丁仮庁舎に移転した。
43. 2. 6	事務局移転	事務局は錦丁の仙台市仮庁舎から更に齊藤報恩会館に移転した。
45. 6. 10	創立40周年記念事業を実施	創立40周年記念式典を、事業局移転等の事情により、1年遅れで実施した。
46. 9. 20	柏木アパート1号館を建設	市内柏木一丁目の簡易住宅の老朽化甚だしく、危険状態となったため、住宅金融金庫の融資を受け鉄筋コンクリート4階建アパート(1号館)を建設、2DK32世帯を入居させることとした。
51. 2. 1	柏木アパート2号館を建設	同じく隣接の簡易住宅も老朽化が進み、入居者12世帯12万円の立退料を支払って建物を解体、鉄筋コンクリート3階建(一部4階)3LDK、2LDK合わせて27世帯を収容するアパート(2号館)を建設8月24日完工した。
54. 5. 1	柏木保育園の開設と母子寮の改築	創立50周年記念事業の一環として、仙台母子寮の改築と、地域住民より要望の強かった保育園の建設を決定、柏木一丁目の所有地に、鉄筋コンクリート3階建が昭和54年3月31日完成、1階を柏木保育園(定員90名)2階、3階を母子寮(定員20世帯)とし、5月1日から業務を開始した。
54. 11. 16	創立50周年記念事業を実施	当協会創立50周年記念事業として、記念式典を行い、62名の役職員の方々に感謝状、表彰状を贈り、50周年事業誌を発行した。
56. 4. 1	事務局移転	市内大町二丁目の仙台市戦災復興記念館内3階に、協会事務局が移転した。
56. 9. 15	連坊公益質屋の移転新築	連坊公益質屋が都市計画に伴う区間整理で移転、新築完成を見た。
56. 9. 20	理容美容専門学校寄宿舎完成	仙台楽生園敷地の隣地に、遠隔地通学者のための寄宿舎を建設した。
57. 1. 20	仙台保育園を改築	市内南鍛冶町仙台保育園建物の老朽化により、鉄筋コンクリート造2階建の新園舎を建設した。
61. 3. 30	北二番丁公益質屋を閉鎖	北二番丁公益質屋を閉鎖した。
62. 4. 1	仙台楽生園開園	市内葉山町仙台長生園敷地内に、昭和59年度より建設準備を進めてきた特別養護老人ホーム仙台楽生園(定員50人)が完成、仙台市街区域から最も近い特養ホームとして関係各方面からの期待を集めて開園、業務を開始した。
62. 5. 1	葉山デイサービスセンター開所	同じく仙台長生園敷地内に、在宅老人通所援護施設葉山デイサービスセンター(定員1日15人程度)を開設した。仙台長生園、仙台楽生園、葉山デイサービスセンターとあわせ、施設、在宅の夫々の機能を連携しながらサービスを提供する葉山シルバータウンとして、福祉総合機能の実現を図るべくスタートした。

年月日	事項	内容
昭62.12.31	連坊公益質屋を閉鎖	連坊公益質屋、50年にわたる庶民金融機関としての質屋業務を全うし、閉鎖した。
62.12.31	荒町母子住宅入居者立退き	荒町母子住宅入居世帯4世帯と、数年来の立退き協議がまとまり、全世帯が立退いた。
63.7.30	荒町母子住宅を解体撤去	荒町母子住宅敷地(752.06㎡)は、満福寺と売買契約が整い、建物を解体撤去した。
63.11.16	創立60周年記念事業を実施	協会創立60周年を記念し式典を行い、本協会への功労者、役職員へ感謝状、表彰状を贈り併せて60年誌を発行した。
平2.4.1	事務局移転	市内大町二丁目の仙台市戦災復興記念会館内より葉山町の仙台長生園敷地内へ事務局を移転した。
2.4.1	葉山在宅介護支援センター開設(仙台楽生園併設)	仙台市内で第1号のセンターとして仙台市より受託する。
2.11.1	ホームヘルプサービス事業を受託	仙台楽生園併設事業とし、当初ヘルパー7名でスタートする。平成5年8月31日事業閉鎖。
3.4.1	沖野デイサービスセンター・沖野老人福祉センター開設	仙台市より受託。老人福祉センターは本協会の事業としては初めての受託となる。
4.3.31	追廻保育園廃園	昭和22年10月、川内追廻婦人会が運営主体として開設。その後仙台市の方針で廃園となる。
4.4.1	富沢わかば保育園開設	追廻保育園の代替保育施設として開設。
5.3.10	法人機関紙「あゆみ」第1号発行	職員の情報伝達、福利厚生事業の一環として発行。
5.9.1	ホームヘルプサービス事業を移管	ホームヘルプサービス事業を仙台市在宅福祉サービス公社へ移管。
6.3.10	仙台長生園新園舎落成竣工法人事務局開設	昭和60年長生園舎全面改築プロジェクト委員会発足以来6年目にしして完成。長生園2階に事務局も開設される。
6.3.10	葉山地域交流センター開設	老人ホームの地域開放キーステーションとして長生園内へ開設。
9.3.31	訪問入浴事業の廃止	昭和61年仙台市の委託を受け入浴車2台で事業を開始。在宅福祉サービス第1号であったが、仙台市の方針により廃止した。最盛期には入浴車7台で仙台市全域をカバーした。
9.4.1	仙台市母子寮むつみ荘を受託	仙台市からの要請で桜ヶ丘所在のむつみ荘を受託運営。平成10年4月より緊急一時保護事業を開始する。
10.3.31	仙台市葬儀所事業廃止	昭和12年以来、低所得者の方々等への便宜を目的として約60年の長きに亘り事業を行ってきたが、諸般の事由により廃止した。
10.4.1	母子寮の名称変更	児童福祉法の改正により従来の母子寮が母子生活支援施設に変更となる。名称も仙台母子寮は仙台つばさ荘に、仙台市母子寮むつみ荘は仙台市むつみ荘に改称となった。
10.12.25	仙台理容美容専門学校富沢へ移転	2年制度移行に伴う新校舎完成により従来の柏木より新天地の富沢へ移転する。

年月日	事項	内容
平12. 4. 1	介護保険法制度下での介護事業開始	仙台楽生園、葉山デイサービスセンター、沖野デイサービスセンター、葉山在宅介護支援センター、沖野居宅介護支援センターが介護保険指定事業所として事業を開始。
14. 9. 11	ホームヘルパー養成講座開設	仙台理容美容専門学校の学生を対象とした養成講座を開設。
15. 9. 30	柏木アパート事業を廃止	住人との数年来の立退き協議がまとまり事業を廃止。柏木アパート1号館は32年、同2号館は27年の期間にわたり事業を行なった。
16. 1. 1	柏木駐車場開設	柏木アパート解体後、跡地に駐車場を設置し事業を開設。
17. 12. 1	仙台楽生園ユニットケア施設群事業開設	葉山シルバータウン内に都市型、地域密着、多機能型でありケアユニット型特養を中心とした総合福祉施設を開設。
18. 4. 1	葉山地域包括支援センター開設	介護保険法の改正により、地域包括ケアを実施する中枢機関としての役割を担う事業として開設。
18. 7. 1	仙台長生園介護保険制度導入に伴う指定事業開設	介護保険法の改正により、外部サービス利用型特定施設入居者生活介護、及び訪問介護事業所長生園介護センターを開設。
20. 11. 21	創立80周年事業を実施	協会創立80周年を記念し、記念誌の発行を行なう。
23. 1. 1	葉山ヘルパーセンター障害福祉サービス事業開始	葉山ヘルパーセンター障害福祉サービス事業開始する。
23. 3. 31	仙台市むつみ荘指定管理制度終了	仙台市むつみ荘指定管理者制度を終了する。
23. 4. 1	仙台市むつみ荘を購入	仙台市より仙台市むつみ荘(建物)を購入、併せて、仙台むつみ荘に名称変更し、事業開始する。
24. 6. 1	柏木保育園定員増	柏木保育園増改築工事による定員増90名→120名となる。
25. 4. 1	仙台市中山保育所を運営受託	震災で被害を受けた、仙台市中山保育所を運營業務受託する。
27. 12. 25	柏木校舎解体 柏木駐車場を経営	仙台理容美容専門学校の柏木校舎を解体し有料駐車場を経営、タイムズ21に依頼する。
28. 1. 30	仙台理容美容専門学校トレーニング・ラボ開始	仙台理容美容専門学校トレーニング・ラボ(サロンワーク専用実習棟)を開始する。
28. 4. 1	仙台保育園の新築移転	定員を60名から110名に増員し隣接する市営住宅跡地に新築移転する。
28. 4. 1	仙台保育園病後児保育開始	病後児保育室「ぱんだ」開始
28. 10. 1	仙台保育園病児保育開始	病児・病後児保育室「ぱんだ」開始
29. 7. 1	仙台長生園の指定変更 長生園介護センター廃止	介護保険法の改正により一般型特定施設入居者生活介護に指定変更し、長生園介護センターを廃止する。
30. 3. 31	葉山デイサービスセンター休止	葉山デイサービスセンター経営状況により休止する。
30. 4. 1	仙台市中山保育所の名称変更	仙台市中山保育所の運營業務委託を終了し、中山保育園に名称変更し、事業を開始する。
30. 12. 1	創立90周年事業を実施	協会創立90周年を記念し、記念誌の発行を行なう。

役員会の運営（平成20年度～平成29年度）

平成20年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事 会	平成20年5月26日	9名	・平成19年度事業報告承認を求める件について・平成19年度決算承認を求める件について・福祉避難所の設置及び管理運営に係る協力に関する協定書締結について（仙台長生園・沖野老人福祉センター）・法人役職員、春の叙勲受章について・法人理事、中国・長春市「荣誉市民」授与について
	平成20年10月24日	8名	・顧問・理事・監事選任の同意について・会長理事並びに会長理事職務代理者の選任について・評議員の選任について・諸規程の改正について ・平成20年度第一次補正予算について
	平成20年12月11日	9名	・諸規程の改正について・職員就業規則の全面改正について・ハラスメント防止委員会会則の制定について・セクシャルハラスメント防止に関する規程の制定について・パワーハラスメント防止に関する規程の制定について ・仙台理容美容専門学校の学則の一部改正について・役員（理事）の秋の叙勲受章について・法人への寄附受領について
	平成21年3月26日	9名	・平成20年度第二次補正予算について・平成21年度事業計画並びに資金収支予算について・施設長の定年延長について・施設長人事について ・保育園延長保育事業実施要綱の一部改正について・法人理念の再構築について
評議員 会	平成20年5月26日	18名	・平成19年度事業報告承認を求める件について・平成19年度決算承認を求める件について・福祉避難所の設置及び管理運営に係る協力に関する協定書締結について（仙台長生園・沖野老人福祉センター）・法人役職員、春の叙勲受章について・法人理事、中国・長春市「荣誉市民」授与について
	平成20年10月24日	18名	・顧問・理事・監事選任の同意について・会長理事並びに会長理事職務代理者の選任について・評議員の選任について・諸規程の改正について ・平成20年度第一次補正予算について
	平成20年12月11日	17名	・諸規程の改正について・職員就業規則の全面改正について・ハラスメント防止委員会会則の制定について・セクシャルハラスメント防止に関する規程の制定について・パワーハラスメント防止に関する規程の制定について ・仙台理容美容専門学校の学則の一部改正について・役員（理事）の秋の叙勲受章について・法人への寄附受領について
	平成21年3月26日	17名	・平成20年度第二次補正予算について・平成21年度事業計画並びに資金収支予算について・施設長の定年延長について・施設長人事について ・保育園延長保育事業実施要綱の一部改正について・法人理念の再構築について

平成21年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事 会	平成21年5月27日	9名	・平成20年度事業報告承認を求める件について・平成20年度決算承認を求める件について・3保育園延長保育事業実施要綱の一部改正について
	平成21年9月1日	9名	・仙台市母子生活施設むつみ荘建物購入について・仙台市認可保育所設置運営者募集への応募について、新設保育所建設委員会設立について・新設保育所関連各権限の委任について・介護職員処遇改善交付金の対応について
	平成21年12月16日	9名	・平成21年度第一次補正予算について・諸規程の改正について・宿直、日直及び夜勤手当の支給に関する規程の一部改正について・平成22年度認可保育所施設整備事業関連進捗状況について・介護職員処遇改善交付金について・仙台市母子生活支援施設むつみ荘購入計画及び進捗状況について
	平成22年3月26日	9名	・平成21年度第二次補正予算について・平成22年度事業計画並びに資金収支予算について・施設長人事について・施設長の定年延長について・諸規程の制定並びに一部改正について・夜間待機手当支給に関する規程の制定・特別業務手当支給に関する規程の一部改正・宿直、日直及び夜勤手当の支給に関する規程の一部改正・法人理念の再構築について・平成22年度認可保育所施設整備事業関連進捗状況・仙台市母子生活支援施設むつみ荘購入計画及び進捗状況・職員の厚生大臣表彰について
評議 員 会	平成21年5月27日	17名	・平成20年度事業報告承認を求める件について・平成20年度決算承認を求める件について・3保育園延長保育事業実施要綱の一部改正について
	平成21年9月1日	18名	・仙台市母子生活施設むつみ荘建物購入について・仙台市認可保育所設置運営者募集への応募について、新設保育所建設委員会設立について・新設保育所関連各権限の委任について・介護職員処遇改善交付金の対応について
	平成21年12月16日	19名	・平成21年度第一次補正予算について・諸規程の改正について・宿直、日直及び夜勤手当の支給に関する規程の一部改正について・平成22年度認可保育所施設整備事業関連進捗状況について・介護職員処遇改善交付金について・仙台市母子生活支援施設むつみ荘購入計画の進捗状況について
	平成22年3月26日	19名	・平成21年度第二次補正予算について・平成22年度事業計画並びに資金収支予算について・施設長人事について・施設長の定年延長について ・諸規程の制定並びに一部改正について・夜間待機手当支給に関する規程の制定・特別業務手当支給に関する規程の一部改正・宿直、日直及び夜勤手当の支給に関する規程の一部改正・法人理念の再構築について・平成22年度認可保育所施設整備事業関連進捗状況・仙台市母子生活支援施設むつみ荘購入計画及び進捗状況・職員の厚生大臣表彰について

平成22年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事会	平成22年5月26日	7名	・平成21年度事業報告承認をを求める件について・平成21年度決算承認をを求める件について・超過勤務手当及び休日給の支給に関する規程の一部改正について
	平成22年10月27日	7名	・顧問・理事・監事の選任について・育児・介護休業等に関する規程の改正について・障害者自立支援法における障害者福祉サービス事業について ・広報委員会ホームページ開設について・むつみ荘売買契約について ・沖野老人福祉センターの法務大臣感謝状受賞について
	平成22年12月8日	7名	・平成22年度第一次補正予算について・定款の改正について・職員の厚生労働大臣表彰について・白石庵敬神会様からの寄付金並びに寄贈について ・震災による被害状況報告・平成22年度第二次補正予算について ・平成23年度事業計画並びに資金収支予算について・諸規程の改正について
	平成23年3月23日	9名	・柏木保育園の増築について・メ木保育園の募集、応募について・仙台保育園の市有地貸与について・建設委員会について・経営委員会について
評議員会	平成22年5月26日	14名	・平成21年度事業報告承認をを求める件について・平成21年度決算承認をを求める件について・超過勤務手当及び休日給の支給に関する規程の一部改正について
	平成22年10月27日	14名	・顧問・理事・監事の選任について・育児・介護休業等に関する規程の改正について・障害者自立支援法における障害者福祉サービス事業について ・広報委員会ホームページ開設について・むつみ荘売買契約について ・沖野老人福祉センターの法務大臣感謝状受賞について
	平成22年12月8日	18名	・平成22年度第一次補正予算について・定款の改正について・職員の厚生労働大臣表彰について・白石庵敬神会様からの寄付金並びに寄贈について ・震災による被害状況報告・平成22年度第二次補正予算について ・平成23年度事業計画並びに資金収支予算について・諸規程の改正について
	平成23年3月23日	15名	・柏木保育園の増築について・メ木保育園の募集、応募について・仙台保育園の市有地貸与について・建設委員会について・経営委員会について

平成23年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事会	平成23年5月25日	7名	・震災による状況報告・平成22年度事業報告承認をを求める件について ・平成22年度決算承認をを求める件について・柏木保育園の定員増施設整備事業について・経営委員会のメンバーについて
	平成23年12月7日	6名	・平成23年度第一次補正予算について・職員の厚生労働大臣表彰

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事 会	平成23年12月16日	6名	受賞について・ソロプチミスト様からの寄贈並びに寄付金について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付金について・仙台市社会事業協会のポスター、パンフレットの掲示、配付依頼について ・仙台市中山保育所運営受託者募集への応募について
	平成24年3月16日	7名	・平成23年度第二次補正予算について・平成24年度事業計画並びに資金収支予算について・諸規程の改正・ハラスメント規程に係る会則、就業規則の一部改正について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について・施設長人事について・沖野老人福祉センター、沖野デイサービスセンターの指定管理について・柏木保育園の増改築工事について・仙台市中山保育所の運営受託について・原町の土地譲度について・各種委員会について
評議 員 会	平成23年5月25日	16名	・震災による状況報告・平成22年度事業報告承認をを求める件について ・平成22年度決算承認をを求める件について・柏木保育園の定員増施設整備事業について・経営委員会のメンバーについて
	平成23年12月7日	14名	・平成23年度第一次補正予算について・職員の厚生労働大臣表彰受賞について・ソロプチミスト様からの寄贈並びに寄付金について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付金について・仙台市社会事業協会のポスター、パンフレットの掲示、配付依頼について
	平成23年12月16日	14名	・仙台市中山保育所運営受託者募集への応募について
	平成24年3月16日	15名	・平成23年度第二次補正予算について・平成24年度事業計画並びに資金収支予算について・諸規程の改正・ハラスメント規程に係る会則、就業規則の一部改正について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について・施設長人事について・沖野老人福祉センター、沖野デイサービスセンターの指定管理について・柏木保育園の増改築工事について・仙台市中山保育所の運営受託について・原町の土地譲度について・各種委員会について

平成24年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事 会	平成24年5月23日	7名	・震災による状況報告・平成23年度事業報告承認をを求める件について・平成23年度決算承認をを求める件について・仙台市中山保育所 労働者派遣事業に伴う定款の一部改正について・仙台市中山保育所、労働者派遣事業に伴う個人情報適正管理規程の作成について・柏木保育園の増改築工事について・仙台市中山保育所運営受託について・仙台理容美容専門学校の学校代表理事について・法人運営体制・委員会実施要綱について
	平成24年9月19日	7名	・仙台市中山保育所準備室の予算について
	平成24年10月31日	6名	・理事・監事選任の同意について・会長理事並びに会長職務代理者の選任について・評議員の選任について・就業規則の一部改正について・葉山ヘルパーセンター、勤務時間登録型ホームヘルパー就業規則の一部改正について

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事 事 会	平成24年12月12日	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットケア施設群職員勤務時間の一部改正について・定款の一部改正について・柏木保育園増築に係る定款の一部改正について・公示の方法について・定款の一部改正について・仙台市中山保育所準備室の運営受託に係る仙台保育園、柏木保育園、富沢わかば保育園の人員費積立金の取り崩しについて・施設長人事について ・平成24年度第二次補正予算について・仙台市中山保育所準備室の運転資金に係る仙台保育園、柏木保育園、富沢わかば保育園の前期末支払い資金残高の取り崩しについて・理美容学生フェスタ2012第4回全国理容美容専門学生技術大会入賞者報告・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付金について・仙台理容美容専門学校の修繕工事及び業務委託契約の取り扱いについて
	平成25年3月13日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事選任の同意並びに会長職務代理者（常務理事）の選任について ・平成24年度第三次補正予算について・平成25年度事業計画並びに資金収支予算について・諸規程の改正・法令遵守規程について・柏木保育園の定員増施設整備事業について・経営委員会のメンバーについて・仙台理容美容専門学校 ホームヘルパー養成講座2級課程平成25年度の休止について
評 議 員 会	平成24年5月23日	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・震災による状況報告・平成23年度事業報告承認を求める件について ・平成23年度決算承認を求める件について・仙台市中山保育所 労働者派遣事業に伴う定款の一部改正について・仙台市中山保育所労働者派遣事業に伴う個人情報適正管理規程の作成について・柏木保育園の増改築工事について・仙台市中山保育所運営受託について・仙台理容美容専門学校の学校代表理事について・法人運営体制・委員会実施要綱について
	平成24年9月19日	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市中山保育所準備室の予算について
	平成24年10月31日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事・監事選任の同意について・会長理事並びに会長職務代理者の選任について・評議員の選任について・就業規則の一部改正について・葉山ヘルパーセンター勤務時間登録型ホームヘルパー就業規則の一部改正について ・ユニットケア施設群職員勤務時間の一部改正について・定款の一部改正について・柏木保育園増築に係る定款の一部改正について・公示の方法について・定款の一部改正について・仙台市中山保育所準備室の運営受託に係る仙台保育園、柏木保育園、富沢わかば保育園の人員費積立金の取り崩しについて・施設長人事について
	平成24年12月12日	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度第二次補正予算について・仙台市中山保育所準備室の運転資金に係る仙台保育園、柏木保育園、富沢わかば保育園の前期末支払い資金残高の取り崩しについて・理美容学生フェスタ2012第4回全国理容美容専門学生技術大会入賞者報告・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付金について・仙台理容美容専門学校の修繕工事及び業務委託契約の取り扱いについて
	平成25年3月13日	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事選任の同意並びに会長職務代理者（常務理事）の選任について ・平成24年度第三次補正予算について・平成25年度事業計画並び

	開催年月日	出席者数	主なる議題
評議員会			に資金収支予算について・諸規程の改正・法令遵守規程について・柏木保育園の定員増施設整備事業について・経営委員会のメンバーについて・仙台理容美容専門学校 ホームヘルパー養成講座 2級課程 平成25年度の休止について

平成25年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事会	平成25年5月29日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・震災による状況報告・平成24年度事業報告承認を求める件について ・平成24年度決算承認を求める件について・諸規程の改正について・職員就業規則の一部改正について・仙台市社会事業協会職員の退職手当に関する規程の一部改正について・定款の一部改正について・仙台保育園、市営住宅跡地の借用について・仙台市中山保育所について・法人の運営体制・各種委員会について・仙台むつみ荘利用者の手引並びに利用者規程の全面改定について
	平成25年11月27日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度第一次補正予算について・保育士等处遇改善臨時特例事業補助金交付規程について・第5回全国理容美容学生技術大会入賞者報告について・仙台市中山保育所の運営状況について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付金について
	平成26年3月18日	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度第二次補正予算について・平成26年度事業計画並びに資金収支予算について・4保育園（仙台保育園、柏木保育園、富沢わかば保育園、仙台市中山保育所）前期末支払い残高の取り崩しの特例措置及び法人本部への一部繰り入れについて・仙台保育園、市営住宅跡地の使用について・経理規程の変更について・危機管理規程について・柏木保育園園舎増築に伴う状況について・経営企画室について
評議員会	平成25年5月29日	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・震災による状況報告・平成24年度事業報告承認を求める件について ・平成24年度決算承認を求める件について・諸規程の改正について・職員就業規則の一部改正について・仙台市社会事業協会職員の退職手当に関する規程の一部改正について・定款の一部改正について・仙台保育園、市営住宅跡地の借用について・仙台市中山保育所について・法人の運営体制・各種委員会について・仙台むつみ荘利用者の手引並びに利用者規程の全面改定について
	平成25年11月27日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度第一次補正予算について・保育士等处遇改善臨時特例事業補助金交付規程について・第5回全国理容美容学生技術大会入賞者報告について・仙台市中山保育所の運営状況について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付金について
	平成26年3月18日	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度第二次補正予算について・平成26年度事業計画並びに資金収支予算について・4保育園（仙台保育園、柏木保育園、富沢わかば保育園、仙台市中山保育所）前期末支払い残高の取り崩しの特例措置及び法人本部への一部繰り入れについて・仙台保育園 市営住宅跡地の使用について・経理規程の変更について・危機管理規程について・柏木保育園園舎増築に伴う状況について・経営企画室について

平成26年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事会	平成26年5月28日	6名	・平成25年度事業報告承認を求める件について・平成25年度決算承認を求める件について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について・職員就業規則の変更について・産前産後の休暇及び給料、各手当等について・セクシャルハラスメント・パワーハラスメント行為の禁止について・ハラスメント防止委員会の規程の変更について・コンプライアンス（法令遵守・倫理）委員会の規程の変更について・職員の厚生労働大臣表彰について・建設委員会について・法人事務局事業計画について
	平成26年10月22日	6名	・理事・監事選任の同意について・会長理事並びに会長職務代理者の選任について・定款の変更について・評議員の選任について・第三者委員の報酬及び費用弁償に関する規程について・柏木トレーニングセンターについて・仙台保育園の新築移転について
	平成26年12月11日	9名	・平成26年度第一次補正予算について・職員就業規則の変更について ・第6回全国理容美容学生技術大会入賞者報告について・(株)和田商 創立50周年記念式典について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付について
	平成27年3月19日	9名	・平成26年度第二次補正予算について・平成27年度事業計画並びに資金収支予算について・職員の職名及び給与に関する規程、給料表、職員の初任級各付基準に関する規程（別表）の変更について・就業規則の変更について ・経理規程の変更について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について ・仙台理容美容専門学校サロン実習施設について・柏木トレーニングセンターについて・仙台保育園新築移転の状況について・吉野和子様からのご寄附について・戸塚刺しゅう協会様からのご寄附について
評議員会	平成26年5月28日	16名	・平成25年度事業報告承認を求める件について・平成25年度決算承認を求める件について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について・職員就業規則の変更について・産前産後の休暇及び給料、各手当等について・セクシャルハラスメント・パワーハラスメント行為の禁止について・ハラスメント防止委員会の規程の変更について・コンプライアンス（法令遵守・倫理）委員会の規程の変更について・職員の厚生労働大臣表彰について・建設委員会について・法人事務局事業計画について
	平成26年10月22日	16名	・理事・監事選任の同意について・会長理事並びに会長職務代理者の選任について・定款の変更について・評議員の選任について・第三者委員の報酬及び費用弁償に関する規程について・柏木トレーニングセンターについて・仙台保育園の新築移転について
	平成26年12月11日	16名	・平成26年度第一次補正予算について・職員就業規則の変更について ・第6回全国理容美容学生技術大会入賞者報告について・(株)和田商 創立50周年記念式典について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付について

	開催年月日	出席者数	主なる議題
評議員会	平成27年3月19日	19名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度第二次補正予算について・平成27年度事業計画並びに資金収支予算について・職員の職名及び給与に関する規程、給料表、職員の初任級各付基準に関する規程（別表）の変更について・就業規則の変更について ・経理規程の変更について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について ・仙台理容美容専門学校サロン実習施設について・柏木トレーニングセンターについて・仙台保育園新築移転の状況について・吉野和子様からのご寄附について・戸塚刺しゅう協会様からのご寄附について

平成27年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事会	平成27年5月28日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告承認を求める件について・平成26年度決算承認を求める件について・事務決裁規程の変更について
	平成27年12月10日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度第一次補正予算について・特定個人情報取扱規程について ・定款の変更について・仙台保育園移転新築の進捗状況について・柏木トレーニングセンター解体後の駐車場経営について・仙台理容美容専門学校のサロン実習施設建築進捗状況報告について・第7回全国理容美容学生技術大会入賞報告について・職員の厚生労働大臣表彰について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付について
	平成28年3月17日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度第二次補正予算について・平成28年度事業計画並びに資金収支予算について・4保育園（仙台保育園 柏木保育園 富沢わかば保育園 仙台市中山保育所）前期末支払い残高の取り崩しの特例措置及び法人本部への一部繰り入れについて・経理規程の変更について・仙台保育園の解体について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について・仙台理容美容専門学校職員の退職金の取り扱いについて・施設長人事について・仙台保育園移転新築について・仙台理容美容専門学校のサロン実習施設について
評議員会	平成27年5月28日	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告承認を求める件について・平成26年度決算承認を求める件について・事務決裁規程の変更について
	平成27年12月10日	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度第一次補正予算について・特定個人情報取扱規程について ・定款の変更について・仙台保育園移転新築の進捗状況について・柏木トレーニングセンター解体後の駐車場経営について・仙台理容美容専門学校のサロン実習施設建築進捗状況報告について・第7回全国理容美容学生技術大会入賞報告について・職員の厚生労働大臣表彰について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付について
	平成28年3月17日	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度第二次補正予算について・平成28年度事業計画並びに資金収支予算について・4保育園（仙台保育園 柏木保育園 富沢わかば保育園 仙台市中山保育所）前期末支払い残高の取り崩しの特例措置及び法人本部への一部繰り入れについて・経理規

	開催年月日	出席者数	主なる議題
評議員会			程の変更について・仙台保育園の解体について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について・仙台理容美容専門学校職員の退職金の取り扱いについて・施設長人事について・仙台保育園移転新築について・仙台理容美容専門学校のサロン実習施設について

平成28年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事会	平成28年5月26日	9名	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告承認を求める件について・平成27年度決算承認を求める件・定款の変更について 仙台保育園、柏木保育園、富沢わかば保育園の運営規程及び重要事項説明書について
	平成28年11月10日	8名	<ul style="list-style-type: none"> 理事・監事・顧問の選任、退任の同意について・会長理事並びに会長職務代理者の選任について・評議員の選任について・第一次補正予算について 定款の変更について・年度末手当の変更について・葉山デイサービスセンターの経営状況について・仙台保育園（旧園舎）の解体工事について・職員の厚生労働大臣表彰について
	平成28年12月15日	9名	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更について・評議員選任・解任委員会運営細則の制定並びに同委員の選任及び第1回同委員会の日程について・評議員選任候補者の推薦について・仙台長生園の一般特定事業への移行及び長生園介護センターの廃止について・育児・介護休業等に関する規程について・処遇改善手当に関する規程について・仙台保育園併設 病後児保育室「ぱんだ」の開設経緯 病児・病後児保育室「ぱんだ」への変更について・葉山デイサービスセンターについて・第8回全国理容美容学生技術大会入賞者報告について・職員の厚生労働大臣表彰について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付について
	平成29年1月19日	8名	<ul style="list-style-type: none"> 葉山デイサービスセンターの共生型デイサービスセンターへの移行について・地域密着型デイサービスセンター・障害児放課後等デイサービスセンター・その他の付帯事業について
	平成29年3月9日	6名	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度第二次補正予算について・平成29年度事業計画並びに資金収支予算について・経理規程の変更について・理事会運営規程について 評議員会運営規程について・仙台長生園の一般特定施設への移行時期の延期について
評議員会	平成28年5月26日	16名	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告承認を求める件について・平成27年度決算承認を求める件について・定款の変更について・仙台保育園、柏木保育園、富沢わかば保育園の運営規程及び重要事項説明書について
	平成28年11月10日	16名	<ul style="list-style-type: none"> 理事・監事・顧問の選任、退任の同意について・会長理事並びに会長職務代理者の選任について・評議員の選任について・第一次補正予算について 定款の変更について・年度末手当の変更について・葉山デイサービスセンターの経営状況について・仙台保育園（旧園舎）の解体

	開催年月日	出席者数	主なる議題
評議員会	平成28年12月15日	18名	<p>工事について・職員の厚生労働大臣表彰について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款の変更について・評議員選任・解任委員会運営細則の制定並びに同委員の選任及び第1回同委員会の日程について・評議員選任候補者の推薦について・仙台長生園の一般特定事業への移行及び長生園介護センターの廃止について・育児・介護休業等に関する規程について・処遇改善手当に関する規程について・仙台保育園併設 病後児保育室「ぱんだ」の開設経緯と病児・病後児保育室「ぱんだ」への変更について・葉山デイサービスセンターについて・第8回全国理容美容学生技術大会入賞者報告について・職員の厚生労働大臣表彰について・白石庵敬神会様からの寄贈並びに寄付について
	平成29年1月19日	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・葉山デイサービスセンターの共生型デイサービスセンターへの移行について)・地域密着型デイサービスセンター・障害児放課後等デイサービスセンター・その他の付帯事業
	平成29年3月9日	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第二次補正予算について・平成29年度事業計画並びに資金収支予算について・経理規程の変更について・理事会運営規程について ・評議員会運営規程について・仙台長生園の一般特定施設への移行時期の延期について・理事の退任について

平成29年度

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事会	平成29年6月1日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の退任について・仙台長生園の一般特定施設入居者生活介護への指定変更について・職員に叙勲について・第一次補正予算について・理事及び監事の選任について・平成28年度事業報告承認を求める件について ・平成28年度決算承認を求める件について・理事、監事及び評議員の費用弁償に関する規程について・高齢者等に対する生活支援事業について・定款変更について・定時評議員会の日時・場所、課題、議案等について・人事委員会の設置、人事委員に関する規程及び諸規程について・人事委員会の設置、人事委員会に関する規程・正職員の昇格、昇任及び給与に関する規程 ・常勤嘱託職員の昇格、昇任及び給与に関する規程
	平成29年6月15日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び常務理事の選任について・正職員及び常勤嘱託職員の昇給及び降給に関する規程及び諸規程の変更について・保育園のキャリアパスについて
	平成29年6月28日	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度決算(計算関係書類及び財産目録)の承認を求める件について
	平成29年9月11日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程について・第二次補正予算について・副会長職について・定款変更について・事務決裁規程について ・管理職者会議、委員会のあり方について・仙台市中山保育所の運営について・評議員会の日時・場所・議題・議案等について・会長、

	開催年月日	出席者数	主なる議題
理事会	平成29年12月8日	6名	<ul style="list-style-type: none"> 常務理事の執行状況について・仙台市社会事業協会の経営状況の報告 ・会長、常務理事の執行状況について・職員の厚生労働大臣表彰について ・第9回全国理容美容学生技術大会入賞報告・役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程について・定款の変更について ・第三次補正予算について・葉山デイサービスセンターについて・新連帯保証人の連帯保証人承諾書及び変更事項について・学校の人事制度について ・職員給料表について・評議員会の日時・場所・議題・議案等について・休日保育出勤手当の支給に関する規程について
	平成30年3月5日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、常務理事の執行状況について ・就業規則及び諸規程の変更について・定款施行細則の変更について ・平成29年度第4次補正予算について・平成30年度事業計画並びに収支予算について・仙台市中山保育所の名称変更について ・仙台理容美容専門学校の就業規則の変更について・仙台理容美容専門学校の学則の変更について・施設長人事について
評議員会	平成29年6月15日	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事、監事の選任について・平成28年度決算承認を求める件について ・理事、監事及び評議員に対する費用弁償に関する規程について・高齢者等に対する生活援助事業について・定款変更について・理事の退任について ・仙台長生園の一般型特定施設入居者生活介護への指定変更について・職員の叙勲について・平成28年度事業報告について
	平成29年6月28日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告について・平成28年度決算承認を求める件について
	平成29年9月27日	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程について・定款の変更について
	平成29年12月25日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・葉山デイサービスセンターについて・役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程について・定款の変更について



90th
Anniversary

この10年の出来事

柏木保育園 園舎増築

平成24年6月1日

待機児童問題解消のため、90名定員から120名定員に増員し、敷地内に園舎を増築しました。



室内外両用トイレ



未満児クラス靴箱



多目的ウッドテラス



玄関前スロープ



保育園舎新・旧外観



駐車場から見た外観



4・5歳児保育室フロア

仙台市中山保育所 受託経営

平成25年4月1日

震災後、仙台市で経営していた仙台市中山保育所が被害を受け、法人で受託経営を行いました。



震災前の仙台市中山保育所



震災前の園舎の中



旧仙台市中山保育所園庭
(激しい揺れによる大きな地割れが…)



旧仙台市中山保育所擁壁
(地面が動いたため今にも崩れ落ちそうな擁壁)



震災後の擁壁



震災後の園庭



(国見ヶ丘のプレハブ園舎寒さに負けずよく頑張りましたね。)



旧仙台市中山保育所仮設園舎



仙台市中山保育所 新園舎
(園舎も園庭もすっかり新しく、擁壁も高さも増し、強固なものに。)



仙台市中山保育所 新擁壁



園舎 (正面)



園舎 (道路側)



園舎 (畑側)



階段



玄関



クラス風景

仙台理容美容専門学校 柏木校舎 解体

平成27年12月25日

昭和27年10月以来、42年間に渡り理容師美容師の育成を行ってきた「仙台理容美容専門学校」の柏木校舎。平成10年、校舎を太白区富沢に移転した後は、「仙台理容美容専門学校トレーニングセンター」として活用していましたが、老朽化のため解体。跡地は現在「有料駐車場（タイムズ柏木第5駐車場）」となっています。



在りし日の柏木校舎。「柏木トレーニングセンター」の愛称で親しまれていました。



いよいよ解体工事が始まります。



「サロンワーク実習」を行っていた美容サロン実習室も、その役目を終えました。



解体中の柏木校舎。66年間ありがとう。



校舎の解体工事が終わり、まっさらの更地に。



そして、柏木校舎跡地は現在、有料駐車場となっています。

仙台理容美容専門学校『トレーニング・ラボ』 新築落成

「技術はもちろん、“おもてなしの心”をも提供できる理・美容師を育成したい」。教職員たちのそんな熱い思いから生まれた、サロンワーク専用実習棟「Senribi Training LaBo (仙理美トレーニング・ラボ)」。



トレーニング・ラボの外観。イメージは、アーバンで「オトナカッコいい」サロン。



ウェイトニングスペースとレセプションカウンター。飾り棚にはヘアケア剤をディスプレイ。



1階 美容サロン。自然素材を活かした北欧モダンデザインの高級感あふれる空間です。



1階 シャンプーブース。柔らかな木肌の壁と陽の光が差し込む温かみのある空間です。



1階 メイクアップブース。お客様のプライバシーに配慮したスペースです。



2階 理容サロン。白を基調としたクールでシックな空間です。

平成28年1月30日

ここでの「サロンワーク実習」は、学生たちの働く意識の向上と就職後の定着率向上に寄与。仙台理容美容専門学校の教育の目玉にもなっています。



2階 理容サロンのレディースブース。エステシェービングやヘッドスパも提供可能です。



完全個室のヘッドスパルーム。極上のリラクゼーションを提供します。



2階 エステティックルーム。エステティシャンとしての資質を磨きます。



2階 メイクアップブース。エステ後のメイク直しやカウンセリングルームとしても使用します。



2階 ネイルルーム。ネイルケアからアートまでネイリストとしての実力を身につけます。



2階 ネイルルームのペディキュアブース。フットケア技術を提供します。

仙台保育園 新築移転

平成28年4月1日

待機児童解消のため、定員60名から、110名に定員を増員して、仙台保育園に隣接する市営住宅跡地に新築移転しました。



懐かしい旧園舎の正門



かえでの木と旧園舎



ホールの解体・仕分け作業



いよいよ本体取り壊し



新園舎と正門



新園舎



特集 東日本大震災

東日本大震災の教訓と備え

社会福祉法人仙台市社会事業協会 副会長

仙台楽生園ユニットケア施設群 総括施設長 佐々木 薫

1. 東日本大震災から7年が経過して

早いもので、平成23年3月11日の東日本大震災から7年が経過し、仙台市内や宮城県内では、何事もなかったように静かに時が過ぎている。一昨年の大震災5周年前後と、4月に起きた熊本地震の時は、多少、新聞・テレビなどのマスコミが当時のことを取り上げてくれたが、現在はさほど大きな話題にも上らなくなった。あれだけの大惨事にもかかわらず、風化してしまったのかと感じさせられる今日この頃である。

3.11から7年が経過しての被災地の現状と復興状況については、警視庁によると平成28年3月10日現在、死者は15,894人、重軽傷者は6,152人、行方不明者は2,561人である。日本国内で起きた自然災害で死者・行方不明者の合計が1万人を超えたのは戦後初めてであり、大津波や大震動に襲われた青森県から千葉県までの太平洋沿岸を中心に、1都1道10県で死者・行方不明者が発生した。震災関連死と認定されたのは約3,500人で、これらを合わせると死者・行方不明者の合計は、約2万2千人にも上る甚大な犠牲者を出している。

建造物は、全壊121,805戸、半壊278,521戸、全半焼297戸、床上浸水3,352戸、床下浸水10,234戸、一部破損746,146戸の被害が出た。特に岩手県・宮城県・福島県の沿岸部では、津波によって多くの住宅が流され、全壊戸数は岩手県で19,597戸、宮城県で82,999戸、福島県で15,171戸に上った。

震災直後の避難者は推計47万人であったが、現在でも17万人以上が避難生活を余儀なくされており、他県への避難も5万人を超えている。岩手県・宮城県・福島県の災害公営住宅と民間住宅等用宅地の整備も進捗率が5割前後と、まだ整備計画の約5万戸の半分しか進んでいない。住居や仕事の不安から人口流出も顕著で、20%以上も人口減になったところが4市町村あり、最大は約37%の市町村があった。以前からの過疎化もあり、復興は容易ではない。

被災した福祉施設は、義援金や福祉医療機構の融資等もあり、2、3年後には、ほとんどの施設が復旧した。しかし、人口減による影響で利用者の減少や介護士等の職員不足が深刻で、施設運営や法人経営の厳しさが指摘されている。

2. 東日本大震災の教訓と課題

今回の大震災で、当施設群の電気、水道は数日で復旧したが、都市ガスの復旧には一ヶ月以上かかり、食事の提供や入浴の提供が十分にできないなど大きな支障が出ていた。そのように大変な状況の中、初日だけでも約100人の地域住民が避難して来たのを受け入れ支援したことで、地域の皆様に大変感謝された。

燃料の調達に四苦八苦していた時、町内会長が駆け付けて、助けてくれたお礼にと近隣地域から薪や廃材を集めてくれたおかげで、毎食の調理を外でたき火をしながらすることができた。その他、食料の差し入れや、家族からオムツ等の支援物資をいただくなど、改めて、地域

連携・家族連携の大切さを感じさせられた。

また、福祉避難所として被災した要援護者を数多く受け入れた時に、職員不足で非常に苦慮した。その時、法人職員の応援や全国のボランティアの派遣がとて有難かった。事前に組織化されていれば、さらに有効であると感じた。

さて、今回の熊本地震では、東日本大震災の教訓は活かされたのかと言えば、半分はYESで半分はNOである。各福祉団体は、3.11の経験を基に災害担当者の配置や職員派遣のシステムを構築している、又は、準備していた団体が少なからずあったからである。そのせいもあり、義援金の募集や支援物資の提供、応援職員の派遣などの初動が早かったように思える。実際、私も熊本地震から2週間目に現地入りしたが、支援物資が倉庫に山積みになっていた施設や、介護職員が多数応援に来ていた施設も見られた。しかし、施設や事業所により十分なところと不十分なところの格差が見られた。これは、事前に連携システムが構築されていないため、情報のマッチングが上手くいっていなかったことと、行政も含め各福祉団体も縦割りの対応で多職種連携ができていなかったことが原因である。まずは、情報、人、物、金のマッチングができる体制を早急に構築し、現地の司令塔となるコーディネーターの配置が望まれる。

3. 東日本大震災の教訓から学んだこと

3.11の大災害からの教訓としては、施設・事業所のトップの役割を明らかにし、利用者の安全と生活の継続を図ることが何より重要となる。そのためには、BCP（事業継続計画）の策定や人材育成を含め、災害に備えた法人・施設・事業所の体制整備やシステムの構築が不可欠である。

また、社会貢献の観点から災害時における法人の役割として、福祉施設等を、地域の災害支援拠点として位置づけていく必要がある。そのためには、地域・関係機関・福祉団体とのネットワーク構築が何より重要であり、災害規模に応じた重層的なネットワークの構築が望まれる。

さらに言えば、大規模災害に備えて、行政や民間企業との連携はもちろんのこと、多職種連携や広域連携のシステムを事前に構築しておく必要がある。東日本大震災から7年間の取り組みの実際を以下に述べてみたい。

4. 災害時に求められるトップの役割

災害時には、利用者のみならず、職員自体が浮足立ち、良くも悪くも冷静な判断ができない状態に陥りがちなので、施設長や管理者は、周囲が安心感と冷静さを取り戻せるように、落ち着いて堂々と陣頭指揮を執ることが大切である。同時に、利用者や職員の被害状況を確認し、建物や設備機器の損壊等に関する状況把握を的確に行なうなどの安全確保に努めることが重要である。

さらには、近隣や周辺地域の被災状況にも気を配る必要もあり、避難しなければならない場合は、様々な状況を勘案して、安全にできるだけリスクを回避した退避行動をとる必要がある。大災害時は、瞬時の判断や一か八かの判断を迫られる場合もあり、被害の増減も含め重い責任を担うのがトップの役割である。夜間や出張時、いつでもトップが居るとは限らないので、居ない時の場合を想定した指示命令システムを確立しておく必要がある。

被災した場合は、まずは現場に居た職員に労いと感謝の気持ちを伝えることが大切である。トップが不在時に災害が起きた場合に、職員はライフラインが寸断するなどの過酷な状況の中

で介護や支援活動を行っているので、仮に利用者に被害が遭ったとしても責めたりせず、逆に、活動を労ったり対応に感謝したりすることが大切である。この時の対応の在り方が、その後の施設再建や復興のモチベーションに繋がった事例が3.11の時は数多く存在した。

また、トップとして社会貢献を行うというメッセージを発信することも大切である。自分の施設だけでなく、地域や他施設の被害状況にも目を向け、相互に助け合う姿勢を見せることが職員の成長を促すことにもなる。一緒に支援活動を行ったり、被災地に連れて行ったりすることで、自然に災害時の心構えを学ぶ機会にもなり、次回の非常時には有用な人材として活動できると共に、普段においても思いやりや気配りのできる職員として活躍できるのではないかと考える。

5. 災害時に求められる施設・事業所の役割

(1)利用者の安全と生活の継続

第一に施設等に求められる事は、利用者の安全とその後の生活の継続である。これまで機械設備や備蓄倉庫は一階に設置することが多かったが、津波や洪水のことを考えれば、一部は最上階に設置しておくことも、いざという時に役立つのではないかと。よく、「想定をするな」と言う方もいるが、私はできる限りのあらゆる想定を行った上での対策が、災害対策の基本と考えている。

そのためには、具体的な災害対応マニュアルや防災計画の策定と、早期に復旧・復興するための事業継続計画（BCP）の策定も急務となる。施設単体では難しい面もあるで、法人と連携して対応策を検討する必要がある。緊急時には、実際に動けるように様々な想定に基づいた避難訓練や防災教育を職員に行っておく必要がある。また、平時から、近隣小学校や町内会と防災訓練や避難訓練を合同で行ったり、災害対策会議を開催したり連携しておくことも大切である。

仙台楽生園ユニットケア施設群の被害状況

人的被害 利用者 無し 職員 無し 職員の家族等の死亡又は行方不明 6名
建物被害 壁の亀裂、ドアの歪み、エアコンの室外機倒壊、ケアハウス室内の給湯器倒壊等
一部損壊（修繕見積り額2700万円以上）
ライフライン 電気 3日間 水道 4日間（職員は居住地により1週間以上）
都市ガス 35日間（厨房 薪対応24日間 プロパンガス対応 11日間）
風呂 2週間以上入れず、途中から重油対応の旧施設で週1回入浴）
その他 食料やガソリンの調達は3月一杯困窮するが、食材に関しては委託業者が調達
交通網の遮断 職員の通勤に支障、徒歩や自転車に対応 泊り込みや家族連れ勤務

仙台楽生園湯ユニットケア施設群の避難者受け入れ

地域住民避難者	185人	3/11～3/17	7日間
福祉避難所	139人	3/16～5/8	52日間 若林区
定員外受入	687人	4/4～12/6	247日間 青葉区、南三陸町
合計	1011人	3/11～12/6終了	271日間

うち南三陸町からの被災者受け入れ 延人数 602人 実人数5人（男2名、女性3名）

(2)福祉施設は地域の災害支援拠点

災害時には、否応なしに福祉施設は地域の災害支援拠点となることがある。当施設でも、今回の大震災では被災当日から約一週間で、地域住民が延べ185人も避難してきた。また、ライフラインが寸断したため、職員及びその家族も寝泊まりするなど、いつもより3倍の人が施設で生活することになった経験から、飲料水や食料の備蓄は2～3倍にするように指示している。ここでも、近隣小学校や町内会との防災機器や備蓄品の相互提供などの地域連携が大切になる。さらに、福祉避難所として延べ139人を受け入れ、定員外の利用で南三陸町の要援護者を中心に延べ687人も受け入れるなど、約9ヶ月間で延べ1,011人も支援したので、行政との事前協議や協定などの備えが必要と言える。

6. 災害時に求められる法人の役割

施設が全壊したり半壊したりして事業の継続が危ぶまれる場合は、できるだけ早く施設の再建や事業を継続する旨の意思表示を行ない、利用者や家族はもちろんのこと、職員の不安も払拭させなければならない。目先の経営だけで事業の廃止を早々と決断することは、福祉法人の理念である社会貢献の趣旨に反している。今後の支援状況と長期的な視点に立った施設運営を考慮し、その地域における社会的使命も勘案して、適切な判断を行うことが肝要である。

また、法人の役割として、利用者のために生活しやすい環境と職員のために働きやすい環境の確保を、あらゆる手段を講じて行う必要がある。災害時、現場は手一杯なので、法人の内、外、フォーマル・インフォーマルを問わず、様々な社会資源を活用して、人・物・金・情報を収集することが最大の役割となる。そのためにも、平時から近隣地域と良好な関係を築き、全体的、全国的な連携システムを構築しておく必要があると考えている。

7. 仙台楽生園ユニットケア施設群の体制整備

当施設群では、30年周期で到来する宮城県沖地震に備え、地域防災・安全対策委員会というものを以前から組織していた。しかし、通り一遍の災害対策マニュアルや防災計画を作成しただけでは、今回のような大災害に対しては全く無力であること事を痛感させられた。今回の経験から、実際に役立つものを作成しなければならない事と、それらを活用する為にも人材育成が大切であるという事、さらに、何より感じた事は、職員の意識の違いが大きいという事である。

被災者を受入れた時に、職員の都合を優先して考える者、これまでの入所者を優先して考える者、被災者を中心に考える者、混乱して何も考えられない者の4通りの職員が出現している。そこで取り組んだことは、一人一人の考えがバラバラだった地域防災・安全対策委員会での意識の統一である。まずは、東日本大震災の災害対策DVDから課題を抽出して意思統一を図ることとした。

また、震災後は、非難器具や災害対策グッズ、緊急避難袋、発電機など必要物品の購入や、食糧備蓄の見直し、備蓄倉庫の増設等の検討を行なうと同時に、災害対策マニュアルや防災計画を見直し、BCP（事業継続計画）の策定も行った。

8. 法人に災害対策ネットワーク委員会の設置

当法人では、老人福祉施設、児童福祉施設、収益事業等を含めると、20数事業を運営している。今回の大震災では、一部の事業所間での協力は得られたが、場当たりの十分なもので

なかった。そこで、法人における災害対策を検討する部門として、災害対策ネットワーク委員会を立ち上げた。

法人としての防災・危機管理システムの構築を図り、災害時相互支援ネットワークを推進するため、以下の4つの骨子を立案した。

①各事業所の対策としてのBCP（事業継続計画）の策定

各事業所において、災害時に即応できる具体的な災害対応マニュアルの作成と防災計画の見直しを行うこととし、併せて、それぞれの事業所の特性にあったBCPと法人全体のBCPを策定する。

②法人内の災害支援連携システムの構築

事業所毎に所有している備蓄品を、法人内で有効活用できる体制を整備するために、備蓄品をリスト化し定期的にチェックできるシステムを構築する。

③防災担当者などの人材育成

法人内職員連携を図るために、災害対応職員の登録や災害対策DVD等を活用した、防災教育や災害対策研修を実施して行く。

④法人外機関との災害時相互支援ネットワークの構築

これまでの地域や各種団体との連携を深めると同時に、新たなシステム構築も検討する。また、広域ネットワークについては、提携法人との連携や各福祉団体との多職種連携を積極的に進める。

9. 近隣地域との連携

(1)葉山シルバータウン近隣防災・災害協力協定

当施設群では、東日本大震災前から近隣4町内会と近隣防災・災害協力協定を締結していた。これは、災害が遭った時に相互に助け合うと言う内容のものであるが、どちらかと言えば施設側が助けて貰う意味合いの方が強いものである。緊急時の連絡を担う「駆け付け隊」、避難を手伝う「おんぶ隊」、認知症の人などに対応する「見守り隊」などを組織して災害に備えていた。ところが今回の大震災では、一週間で延べ185人の地域住民が避難して来るなど、逆に助ける立場となり地域住民に大変感謝された。しかし、協定は結んではいたが、詳細を詰めていなかったことで様々な意味で不都合があった。地域住民は着の身着のまま避難して来たので毛布や食料が不足するなどの課題も見えた。

今後はこの点も踏まえ、近隣防災・災害協力協定会議などを開催し、事前に相互の具体的な取り決めをしておく必要がある。例えば、地域住民には、毛布や食料、緊急避難袋、懐中電灯などを持参していただく。当施設群でも、地域住民分の食料や必要物品の備蓄を行うと共に、避難者受付票や要援護者受入リストを用意しスムーズな受入体制を構築しておく。さらに、地域住民を交えた避難訓練や防災訓練を実施するなどが考えられる。

(2)地域におけるライフラインの確保

大災害時は、電気、水道、都市ガス、交通網などのライフラインが寸断される。復旧には、ある程度の時間が必要となるので、熱源や動力源を確保しておく必要がある。例えば、炊き出しなどができるように、近隣町内会と大鍋やかまど、薪、備蓄米等の相互提供が上げられる。今回は、燃料の調達に四苦八苦していたところ、各町内会から薪や廃材の提供があり、外で焚

火をしながら毎食の調理をすることができた。これ以外にも、地域住民や家族から食料や支援物資をいただくなど、改めて、地域連携や家族連携の大切さを感じた。

また、近隣商店や農家、ガソリンスタンドなどと、食料、米、灯油、ガソリンなどの優先購入契約を締結しておくのも一つの方法である。自前給食の場合、普段から地産地消を心がけておくと有利であり、委託給食の場合は、全国規模の委託業者だと食材の確保が容易にできる可能性がある。当施設群は後者であるが、お陰様で3食とも無事に食事を提供することができた。

(3)荒巻安心タウン構築委員会から荒巻地区福祉向上委員会へ

葉山地域包括支援センターでは、平成25年度に認知症地域資源マップ作成の仙台市モデル事業に選定された。このことをきっかけに、荒巻地区担当圏域包括ケア会議で「荒巻安心タウン構築委員会」を設置し、町内会や地区社協・民生児童委員・その他関係者と共に、地域防災社会資源マップと要援護者マップの作成を行った。

趣旨としては、このマップ作成に地域住民が主体的に関わることによって、誰にでも優しい共生ネットワークや認知症ネットワーク、防災・減災ネットワークが自ら構築されることを目指している。平成26年度からは、「構築委員会」から「推進委員会」に衣替えし、これらを継続することと、さらに深化できるように新たな体制づくりを行った。

この取り組みが評価され、平成27年度から仙台市のモデル事業として「荒巻地区個性ある地域づくり計画策定委員会」が設置された。平成29年度からは、「ふくしの町づくり」という共通認識の下で、住み慣れた地域で安心・安全な暮らしができるような共助・互助システム、すなわち「地域包括ケアシステム」の構築を目指す「荒巻地区福祉向上委員会」が設置され、地域団体と行政、地域包括支援センター等が一体となって活動している。

10. 指定避難所と福祉避難所及び行政との連携

(1)指定避難所と福祉避難所の住み分け

普通は、小学校や中学校が指定避難所になっていることがほとんどで、今回の大震災でも、当地域の小学校には約450名の方が避難していた。しかしながら、高齢者や障害者などの災害弱者にとって、段差があったり手摺りが無かったりトイレが使いづらかったりと、あまり快適とは言えない場所だった。

一方で、当施設にも不安にかられた多くの地域住民が、暖や明り、食料、安全な場所を求めて避難しており、学校によりも当施設群の方が近いとの理由もあって、老若男女、健常者や障害者を問わずに来ていた。

当施設群では、電気、水道、都市ガスなどのライフラインの寸断はあったが、施設全体がバリアフリーでトイレも手摺りの付いた洋式なので、弱者にとっては小学校より優しい環境にあった。これらのことを考えると、小学校には比較的若い人や健常者の方に非難していただき、当施設群には高齢者や障害者の方々に非難していただくのが、非常時には混乱しない方法ではないかと考えている。

平成27年より、地域の関係団体や荒巻小学校と一緒に「荒巻地域防災訓練」を行っており、要援護者の発見から指定避難所への誘導、仙台楽生園福祉避難所への搬送訓練が実施され、当方の役割として送迎車両の提供と搬送職員を派遣している。一昨年は、防災啓蒙講座の「要援護者安否確認」等の講師も担当した。

(2)望ましい福祉避難所としての在り方

当施設群は、福祉避難所に指定されているが、一次指定避難所のように速やかに支援物資が送られて来るわけではなく、一般の方が避難してきても、当初は自前で水や食料等を賄わなければならない。備蓄品は施設利用者分で手一杯なので、この部分の改善が必要がある。現在、荒巻小学校区地域防災会議というものがあるので、学校と施設の住み分けを協議している。さらには、指定避難所と同等に支援物資が速やかに行き渡るように行政に対して働き掛けている。

福祉避難所としての課題は、仙台市と事前に協定を締結していたこともあり、積極的に要援護者を受け入れていたが、協定に謳われていた人員派遣も無く、支援物資もあまり来ていなかった。その後の実費負担も僅かなもので、避難者10名に対し職員1名の換算での清算であった。3対1の職員配置基準でも大変なのに、これでは何の足しにもならない。また、要援護者の情報も少なく、受入側としては手探りの状態でケアしなければならない現状で、これらを解決するには、要援護者カード等の情報提供手段を平時から事前準備しておく必要がある。同時に、要援護者だけの避難だけでは無く、家族等の情報提供者も一緒に福祉避難所に入れるようなシステムも必要となる。

11. 福祉法人や各関係団体との広域連携

(1)介護ボランティアの派遣と広域ネットワークの構築

震災当初、国の事業で介護職員の派遣が進められたが、マッチングが上手く行かず人材派遣が滞っていた。たまたま私が各福祉団体の役員を引き受けていた関係で、様々な福祉団体から人材派遣のコーディネートや災害支援の要請を依頼してくるケースが多くなり、こちらでも社会的使命として被災地を支援したいという思いがあったので、沿岸部の被災施設や被災者受け入れ施設への介護ボランティア派遣を積極的に行った。1年間の派遣団体の総数は103法人、延べ人数で3,038人、受入施設11施設、マッチング回数183回となった。

介護ボランティア派遣コーディネート

◆名古屋市・愛知県・北海道老人福祉施設協議会支援チーム
合計55法人 1,561人 受入 7施設 マッチング回数 90回
◆全国認知症介護指導者ネットワーク連携チーム
合計6団体 130人 受入 3施設 マッチング回数 10回
◆鹿児島県・熊本県社会福祉施設経営者協議会支援チーム
合計11団体 372人 受入 4施設 マッチング回数 15回
◆日本福祉大学提携法人支援チーム
合計5団体 341人 受入 2施設 マッチング回数 20回
◆サンダーバード・東北関東大震災共同支援ネットワーク(CLC)
合計5団体 67人 受入 1施設 マッチング回数 5回
◆日本認知症グループホーム協会支援チーム他
合計21団体 567人 受入 1施設 マッチング回数 43回
総計 103団体 延人数 3,038人
受入施設 11施設 マッチング回数 183回

ここでの教訓は、第一に、行政や関係機関から支援を待っていたのでは、助けられる人も助けられないので、できるだけ早く迅速に行動するということである。次に、慌てふためいて闇雲に動くのではなく、的確に支援できるようなネットワークシステムを事前に構築しておくことが肝要で、緊急時に即応できる介護ボランティアや災害コーディネーター等の人材育成も急務である。

(2)各支援団体の相互乗り入れと災害派遣チームの必要性

私は、全国社会福祉施設経営者協議会、全国認知症介護指導者ネットワーク、日本認知症グループホーム協会、各県政令市の老人福祉施設協議会等の災害対策本部長や介護ボランティアの派遣コーディネーターを行っていた関係上、種別団体に囚われない相互支援を実施してきた。たまたま複数の団体の担当者になっていたからこそ、このような支援ができたが、これを個人ではなく、行政や社会福祉協議会などの公的な機関が中心となり、種別協団体や専門職団体、民間団体を統合した相互支援体制を構築することが望ましい。

全国的に見ても、各種別協団体や専門職団体が、それぞれ個別の支援システムを構築中なので、相互乗り入れができるシステムになるよう、私も働き掛けているところである。最終的には、災害対策基本法に位置付けられたDMAT（災害派遣医療チーム）と同様のDWA T（災害派遣福祉チーム）やDCAT（災害派遣介護チーム）が編成され、地域の支援体制だけでは対応できない大規模災害時に、急行できる福祉・介護チームの派遣が望ましいと考えている。

(3)全国各地からの支援物資や義援金の提供

全国の各団体・個人から、被災施設に対して沢山の支援物資や義援金をいただいた。ここで、心掛けたことはスピードとタイミングで、支援物資が有り余ったり足りなくなったりすることが無いように、いただいた物は時期や季節を逃さずできるだけ速やかに配布することを心掛けた。また、避難所や施設の種類など場所によっては必要とするものが違うので、いただいた団体種別とは関係なく必要としている方々に必要なものを提供することを最優先としたが、これも様々な団体の調整役をしていたお陰でスムーズに行えた。

全国の支援者から見ると東北は一つに見えるようで、義援金は単純に同額を県割、施設割にして分配する例が数多く見られた。各県の被災状況はそれぞれ違っており、被災規模に応じて配分されることが、送ってくださった方の思いではないかと考えるので、平等な配分には慎重な対応が求められる。また、支援物資についても同様のことが言える。

義援金等を集めて頂くのは大変ありがたいが、分配は非常に難しいものなので、トラブルにならないように、公平で透明性の分配ルールを作ることが何より大切である。

“仙台楽生園ユニットケア施設群が宮城県の災害支援の基地となる”

支援物資の提供元

日本GH協・全国老施協・CLC
 全国経営協・ワンファミリー仙台
 認知症ケア学会・ミライロ
 長崎県認知症指導者有志
 朝日福祉会（北海道）他

支援物資の内容

食料・水・衣類・オムツ
 生活用品・消毒液・ゴミ袋
 プラグローブ・鍋・殺虫剤
 蚊取線香・タオルケット・本
 車椅子・電動ベッド・車両・他

支援物資の提供先

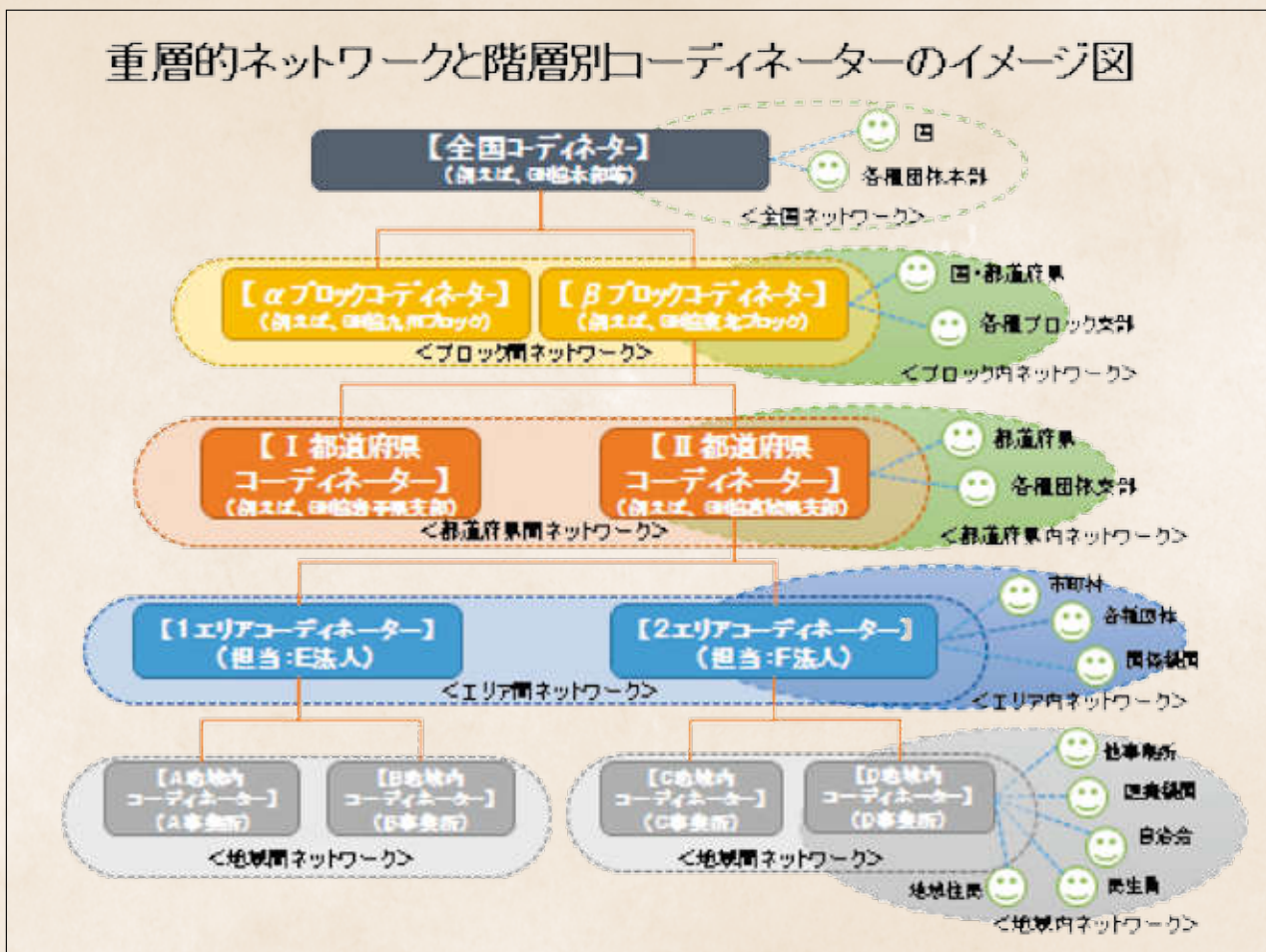
障害者施設6・老人施設12
 グループホーム6・社協等4
 避難所・仮設住宅3
 合計32施設
 延べ42カ所

12. 被災地からの教訓を他人事にしない

阪神淡路大震災や新潟県中越地震、岩手宮城内陸地震、東日本大震災、そして今回の熊本地震と、ここ20数年の間に大規模地震が多発しており、数年に一度の割合で甚大な被害が出ている。それ以外にも噴火や竜巻、落雷、台風、集中豪雨、洪水、土砂崩れなど、多くの自然災害が発生し、日本全国、安全な場所は無いとも言える。だからこそ、他人事にせず「いつでも自分に起こり得る」とし、「想定外の出来事」とは捉えずに様々なことを想定して、今後の大災害に備え平時から準備しておく必要がある。

事前に実践的な相互支援システムが構築され、適切な「階層別コーディネーター」の配置があれば、大災害時にはより多くの人を助けられる。また、情報・人・物・金のマッチングでは、少しでも時期がずれると不要な支援物資や人員派遣につながるので注意する必要がある、これらの詳細事項も事前に詰めておかなければならない。

大震災から5年以上が経過したが、沿岸部の復旧や復興はまだまだ道半ばである。仙台楽生園ユニットケア施設群では、社会貢献の観点から、今後もボランティア派遣などの災害支援や復興支援を継続していきたいと考えている。併せて、法人内災害対策や地域連携・広域連携等の「重層的なネットワーク」の構築をさらに推進するため、関係者や関係機関と普段から顔の見える関係を築いていくことを最重要課題と捉え活動して行きたい。



90th Anniversary 法人事務局



法人事務局



法人のブランド化を目指し
研鑽を重ねております

法人事務局この10年

法人事務局 事務局長 小野寺信也

この10年を振り返ると法人事務局では、東日本大震災後、待機児童解消の為に、柏木保育園内に施設を増築、震災で園舎、園庭に大規模な被害を受けた仙台市で運営していた仙台中山保育所の受託経営を行って来ました。また、老朽化が進んでいた仙台理容美容専門学校、旧校舎（柏木校舎）の解体、その後の駐車場経営、模擬事業を行う、トレーニング・ラボ（サロンワーク専用実習棟）の建設、仙台保育園の定員増に伴う旧園舎の解体、新築移転、病後児保育の受託（その後病児保育）、最近では、経営状況による葉山デイサービスセンターの休止等に携わって来ました。

また、法人内に数多くの委員会、部会を立ち上げ、災害対策、職員研修、広報誌の発行等精力的に活動を行っており、その準備、資料提供等行っております。



現在、360名程の法人職員の人事、庶務、経理、会計事務と財産管理、運営等経常事務等の事務処理の他、評議員会、理事会等の各種会議の準備、資料提供を行っており、政府が進めている「働き方改革」を見据え、専門家を交え、各種規程の整備、執行体制の見直しを進めています。それに伴い、事務処理の効率化のため会計ソフト、勤怠ソフト等の導入を検討しております。

法人創立100周年に向け、平成30年度の長期目標である、法人のブランド化を目指し研鑽を重ねております。現場での取り組みを重視し、役員及び施設長、職員を今まで以上にサポートしてまいります。



社会福祉法人の 使命を果たすために

法人事務局 事務長 吉野 武

社会福祉法人の制度改革について検討されている頃、「社会福祉法人の経営の現状と課題（社会福祉法人経営研究会作成）」という報告書がまとめられました。報告書の中で、従来型の社会福祉法人経営の特徴は、①施設管理が中心、法人経営が不在、②事業規模が零細、③再生産・拡大再生産費用は補助金が前提、④画一的サービス、⑤同族的経営、であると指摘されました。近年、社会福祉事業の主体として営利企業やNPO法人の参入が進む中、それらと同様の事業のみを旧態依然としたやり方で実施するだけでは社会福祉法人の存在意義が理解されにくくなっていると感じます。また、いわゆる公益法人制度改革が行われたことにより、社会福祉法人においても経営の合理化、近代化が要求され、社会福祉法人として具備すべき要件の高度化が求められるようになってきていると感じます。社会福祉法人の使命として、他の事業主体では

対応できない福祉サービスを提供することや地域社会に貢献することが求められています。今、問われているのは個々の社会福祉事業ではなく、事業主体としての社会福祉法人のあり方、社会福祉法人の経営の質であるという受け止め方が何よりも重要であると思います。その根底には、社会福祉諸制度が存在しなかった時代に、私財を投じて慈善救済に取り組んだ先人たちの志、その志を受け継ぎ、社会福祉法人を創設した人たちの思いや理念を念頭に置かなければならず、今一度、それらに思いを寄せ、再認識しなければなりません。社会福祉法人の制度改革を前向きに捉え、これを活かしていくことで、あらためて社会福祉法人の存在意義を高らかに示すことができるのではないのでしょうか。社会福祉法人は、その使命を果たすため、公益性、継続性、透明性、主体性、効率性等の経営の原則を保持しながら、マネジメントに取り組むことが求められています。これからも当法人の評議員会、理事会の議決を真摯に受け止め、自分の職務を遂行できるよう日々努力を重ねてまいりたいと思います。



仕事始め式



辞令交付式



ハラスメント防止研修会



新人職員研修会



BCP研修会

職員配置（平成30年4月1日現在） 役職 職種 職員数

会長1名・副会長1名・事務局長1名・事務長1名
主任事務員1名・事務員2名 合計7名

平成26年度 【会議・委員会活動】

会議・委員会名	開催回数	主な内容・取り組み
管理職者会議	7回	○事業所経営状況報告確認 ○委員会議案の決定他
経営企画室	5回	○給料表の改定案導入議論 ○キャリアパスの骨子案作成 ○規程、職員の待遇改善他
コンプライアンス委員会	5回	○法令遵守・倫理規程作成 ○委員会会則作成 ○コンプライアンス研修会の開催他
ハラスメント防止委員会	2回	○ハラスメント防止規程作成 ○ハラスメント防止委員会会則改定 ○ハラスメント防止研修会開催他
災害対策ネットワーク委員会	5回	○法人BCP作成 ○法人災害対策研修会 ○所有物品のリスト更新他
人事管理検討部会	3回	○キャリアラダー及び新給料表の改定案作成他
人財育成・研修委員会	7回	○新人職員研修会開催（2回）○法人職員全体研修会
経営効率化検討委員会	3回	○自動車保険の見直し ○LED照明導入 ○優良業者リストの更新 ○優良業者の表彰他
広報委員会	3回	○法人機関誌発行 ○ホームページリニューアル案
建設委員会	13回	○仙台保育園移転新築工事一式

平成27年度 【会議・委員会活動】

会議・委員会名	開催回数	主な内容・取り組み
管理職者会議	12回	○事業所経営状況報告確認 ○委員会議案の決定他
事務局会議	11回	○役員会、管理職者会議の議案の確認他
高齢者部門会議	10回	○新卒採用ワーキング設置 ○職場見学会・学校説明会 ○養成校求人 ○新卒採用・正職員登用試験実施
児童部門会議	5回	○新卒採用・正職員登用試験実施 ○養成校求人他
コンプライアンス委員会	2回	○コンプライアンス研修会の開催他
ハラスメント防止委員会	1回	○ハラスメント防止研修会開催他
災害対策ネットワーク委員会	2回	○法人BCP研修会開催 ○災害対策本部組織図作成他
人事制度等委員会	12回	○就業規則改定案作成 ○キャリアラダー及び新給料表の改定案作成他
人財育成・研修委員会	8回	○新人職員研修会開催（2回）○職員リーダー研修会
経営効率化検討委員会	3回	○LED照明導入 ○優良業者リストの更新 ○優良業者の表彰 ○施設の経営効率化他
広報委員会	9回	○法人機関誌『あゆみ』発行 ○ホームページリニューアル ○法人広報誌『cocorist』発行他

平成28年度 【会議・委員会活動】

会議・委員会名	開催回数	主な内容・取り組み
管理職者会議	11回	○事業所経営状況報告確認 ○委員会議案の決定他
事務局会議	9回	○役員会、管理職者会議の議案の確認他
高齢者部門会議	9回	○高齢者部門事業転換 ○待機手当、ケアマネ資格更新補助 ○無資格者雇用他 ○新卒求人・登用試験他
児童部門会議	1回	○新卒採用・正職員登用試験実施 ○養成校求人他
部門代表者会議	2回	○人事評価 ○Ⅱ種職員・内部登用職員の規定作成
人材採用登用準備委員会	6回	○職場見学会・学校説明会 ○養成校求人 ○新卒採用・正職員登用試験実施
人事制度等準備委員会	4回	○人事評価制度導入 ○給料表、規程整備
人財育成・研修委員会	6回	○新人職員研修会開催 ○職員リーダー研修会
経営効率化検討委員会	2回	○LED照明導入 ○優良業者リストの更新 ○優良業者の表彰 ○施設の経営効率化他
広報委員会	4回	○機関誌『あゆみ』発行 ○広報誌『cocorist』発行他
法人次世代委員会	7回	○今後の事業展開及び改善計画案の作成他

平成29年度 【会議・委員会活動】

会議・委員会名	開催回数	主な内容・取り組み
管理職者会議	12回	○委員会・会議の報告 ○各種課題の議論他
高齢者部門会議	4回	○高齢者部門事業転換 ○新卒求人・登用試験他
児童部門会議	1回	○新卒求人・登用試験実施 ○給料表及びキャリアラダー他
部門代表者会議	4回	○人事評価 ○給料表及びキャリアラダー他
人材採用登用準備委員会	10回	○職場見学会・学校説明会 ○養成校求人 ○新卒採用・正職員登用試験実施 ○就職ガイダンス他
人財育成・研修委員会	6回	○新人職員研修会開催 ○職員リーダー研修会 ○考課者研修会
広報委員会	4回	○機関誌『あゆみ』発行 ○広報誌『cocorist』発行 ○webサイトの操作勉強会他
災害対策ネットワーク委員会	1回	○所有物品リストの更新



職場見学会

90th Anniversary

高齢者福祉事業



養護老人ホーム 仙台長生園



開設当時の仙台長生園全景

利用者様に喜ばれる
施設づくりを進めて行きたい

創立80周年を迎えて

園長 佐藤 文彦

仙台長生園は昭和13年4月1日に開所し、今年80周年を迎えました。長生園の庭には「不老長生」と刻まれた大きな記念碑が立っています。記念碑には仙台長生園の設置認可、工事経過、費用と財源、敷地、竣工、開園等について記述してあり、仙台長生園が不老長生の楽園たることを念願して設立されたことが解ります。

仙台長生園の設置法人である仙台市社会事業協会は昭和3年に宮城県仙台市の行政関係者、奉仕委員、各界の知名人約300名の有志により創立し、当時の仙台市長山口竜之助氏が初代会長に就任しました。その10年後、救護法による救護施設として仙台長生園が開所し、現在の敷地を提供した東昌寺住職国安泰嶺氏が初代園長に就任しました。「仙台市社会事業協会創立八十年誌」や「仙台長生園



石碑(不老長生)

50年のあゆみ」を紐解くと、歴史の重みと共に先人達の功績が読んで取れます。時代の流れと共に移り変わる社会や制度に沿って、長生園も幾多の変遷を重ねて来たようです。

近年で見ると、平成18年の改正老人福祉法により、養護老人ホームの入所要件が「経済的理由」及び「身体上若しくは精神上の理由又は環境上の理由」から、「経済的理由」及び「環境上の理由」に限定し、入所者の要介護ニーズは介護保険サービスにより対応することになりました。長生園も外部サービス利用型特定施設の指定を受けると共に、訪問介護事業所の長生園介護センターを立ち上げ介護サービスを提供してきました。そして昨年、一般型特定施設へと事業転換し、長生園介護センターは11年間の事業に幕を下ろしました。この事業転換により、利用者にとっては最期まで長生園で暮らせるようになり、職員にとっては配置人員増により業務負担を軽減し、施設にとっては機能強化と経営の安定につながる効果を得たと思います。開所80年目は長生園の一つの節目の年になったと言えます。

81年目以降も、多様な課題を抱えた高齢者が支援を受けながら安心して暮らせる養護老人ホームとして、また要介護状態になっても看取りまでの介護サービスを利用できる介護保険施設として、利用者様に喜ばれる施設づくりを進めて行きたいと思います。そしてこれからも仙台長生園の長い歴史で培ってきた伝統を踏襲しつつ、時代と共に移り変わる制度とニーズに対応しうる柔軟性を大切にしていきたいと考えています。

長生園の庭には、第5代の吉野禎造名誉園長が平成19年の退任の際に寄贈建立した観音像が立っています。仙台長生園がこれからも90周年、100周年と歴史を重ねて行く様子を静かに見守って下さっているようです。



七夕飾りつけ



慈母観音像

施設紹介

青葉区の葉山町に立地し、地下鉄及びJR仙山線の北仙台駅から徒歩10分、市営バスでは長生園前バス停で下車して徒歩1分の大変利便性の高い場所にあります。近隣には保育所や小中学校あるいは高校等も多く、世代間交流や福祉体験等の受け入れを盛んに行っている他、地域交流センターを中心としてボランティアの受け入れ・町内会やその他地域の方々、関係機関と連携しての地域交流事業を広く展開しています。また、会議室や集会室等の施設内設備について、町内会活動や地域のサークル活動等にご利用いただいております。敷地内には葉山シルバータウンとして仙台楽生園ユニットケア施設群が隣接し、地域交流行事の開催や職員研修、利用者交流等各事業の運営が連携して行われています。

園では利用者の健康管理を重視し、各々の主治医や協力病院、地域の医療機関と連携しています。嘱託医師の定期的な往診の他、皮膚科、歯科、耳鼻科、眼科医と連携し、希望により定期的な訪問診療を受けることができます。書道・舞踊・生け花・焼き物・ゲートボールなどの各種サークル活動を実施し、生きがいや趣味活動の支援を積極的に行っています。くもん学習療法を取り入れた利用者の認知症進行予防の活動にも取り組んでいます。

所在地 仙台市青葉区葉山町8番1号

設置年月日 昭和13年4月1日

事業の目的

65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方について、市町村並びに福祉事務所長の委託により入所、社会復帰に向けた促進及び自立に向けた支援を行う。入居者の人格を尊重した処遇を行い、明るく家庭的な雰囲気のもと地域や家庭との結びつきを重視し、市町村及び保健医療や福祉にかかる各関係機関と連携して運営することを目的とする。

施設概要

- ①構造 鉄筋コンクリート造4階建 ②敷地面積 13,202.51㎡
 ③建物面積 1,937.48㎡ ④延床面積 4,774.38㎡

室名	室数	床面積 (㎡) 一室あたり	室名	室数	床面積 (㎡) 一室あたり
2人居室	54	15.84	女性浴室	1	35.11
夫婦居室	6	16.76	男性浴室	1	24.85
個室	30	8.1	事務室	1	38.4
短期入所居室	2	23.4	集会室	1	239.19
静養室	1	32.4	クラブ室	2	38.4
食堂	2	248.06	面会室	1	25.2
厨房	1	100.7	マルチホール	4	92.58
診療室	1	54.0	交流センター	1	158.88



長生園の松

昇降設備	寝台及び障がい者用エレベーター
冷暖房	全館電気蓄熱式床暖房、エアコン（マルチホール・廊下・食堂・集会室）
給排水衛生	大型電気温水器（深夜電力）シーズヒーター電磁調理器（各居室他）
防災	全館スプリンクラー設備 避難専用スロープ

基本理念

「自立を促し、自主性を尊重し、社会性を伸ばすこと」を基本方針として、人権尊重の理念に基づいた介護及び福祉の専門的サービスと利用者一人ひとりの人格・プライバシーを重視し、健康で長寿を迎えられるよう健康管理に重きを置いた支援を行う。

入所定員

長期入所150名 生活管理指導短期宿泊事業 4名

沿革

財団法人仙台市社会事業協会の昭和11年度事業として、当時の救護法による老衰者、生活困難者、精神薄弱、身体障害、不具廃疫、行旅病人等定員100名の救護施設として建設を議決。昭和12年3月内務大臣の許可を得て、敷地13,910.39㎡（4,208坪）建築面積1,454.54㎡（440坪）総工費4万5千円を投じて工事に着手した。仙台市大町地23町内会の寄付を主財源とし、敷地は方面委員 東昌寺住職 國安泰嶺氏より廉価で譲渡を受け、道路用地は同氏並びに前島博、石川吉介、広辺留三郎諸氏の寄付による。その後の主要な経過は次のとおり。

昭和20年10月	生活保護法による保護施設認可（定員150名）
昭和22年8月6日	天皇陛下行幸
昭和31年3月	行旅病人収容廃止
昭和38年8月1日	老人福祉法により養護老人ホームとなる。
昭和55年4月29日	天皇陛下より御下賜金拝受
昭和58年6月15日	第4代園長 名生昇 退任
昭和58年6月16日	第5代園長 吉野禎造（現名誉園長）就任
平成4年10月6日	園舎全面改築工事着工
平成6年3月10日	改築工事竣工
平成6年4月1日	仙台市ねたきり老人等短期宿泊事業受託開始 （平成12年度より生活管理指導短期宿泊事業に名称変更） 葉山地域交流センター開設
平成6年5月20日	園舎改築落成式
平成7年6月	運動場及びゲートボール場整備工事
平成8年7月	植栽及び芝貼工事
平成9年5月	食事サービス事業受託（荒巻地区社協と契約）開始。 平成18年3月31日終了。
平成18年6月	来客用駐車場、ゲートボール場整備事業
平成18年7月1日	特定施設入居者生活介護事業開始（外部サービス利用型） 訪問介護事業所 長生園介護センター開所

平成19年3月31日 第5代園長 吉野禎造退任
 平成19年4月1日 第6代園長 菅田賢治就任
 平成19年8月 慈母観音像建立（吉野名誉園長のご寄贈）
 平成20年8月 仙台市福祉避難所として協定締結
 平成22年6月 長生園墓地（北山霊園内）全面改修
 平成28年3月31日 第6代園長 菅田賢治退任
 平成28年4月1日 第7代園長 佐藤文彦就任
 平成29年7月1日 特定施設入居者生活介護事業を一般型に指定変更
 長生園介護センター閉所
 平成30年4月19日 創立80周年記念式典
 現在に至る。

職員配置（平成30年4月1日現在） 役職 職種 職員数

園長1名・副園長1名・生活相談員3名・看護師3名・支援員4名・事務員2名
 栄養士1名・調理員9名・コーディネーター2名・業務員4名・夜間警備員3名
 嘱託医1名 合計34名

仙台長生園 この10年のあゆみ

平成17年の三位一体改革による一般財源化で、養護老人ホームの保護費負担金が市町村へ財源移譲されました。以降、養護老人ホームの入所率は年々低下し、平成27年度の統計では全国976施設の平均入所率は87%となり、全体の37%の施設が赤字収支となっています。仙台長生園も10年連続で入所者が減少し、平成26年度には150名の定員中119名、入所率79%まで低下しました。これにより、平成25～27年度の3年間は赤字決算を余儀なくされました。入所率の改善に向け、市町村の高齢者相談窓口や地域包括支援センター等を訪問し、様々な課題を抱える高齢者に幅広く活用いただくようお願いしてきました。短期入所の定員4名ですが、長期入所の空室を利用し定員を超えて受け入れ、平成28年度の入所率が89%まで回復し、経営の黒字改善を達成することができました。平成29年7月には、外部サービス利用型から一般型の特定施設へと事業転換しました。これにより介護報酬が増加し、平成29年度の事業活動資金収支差額は3,500万円を超え、経営の安定に繋がりました。

仙台長生園 この10年のあゆみ

入所者数の推移（平成20～29年度）

※一日平均入所者数

	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29
一般入所者	24.5	55.8	51.9	48.7	45.0	46.8	50.4	51.8	50.8	47.5
特定施設契約者	113.2	78.0	77.0	74.8	79.8	74.1	66.6	62.6	71.2	78.5
短期入所利用者	2.2	1.6	1.3	2.8	3.1	2.5	2.1	7.3	11.9	11.3
入所者数合計	139.9	135.4	130.2	126.3	127.9	123.4	119.1	121.7	133.9	137.3
定員充足率(%)	93%	90%	87%	84%	85%	82%	79%	81%	89%	92%

収支状況の推移 (平成20～29年度)

単位：千円

	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29
老人福祉事業収入	216,938	222,287	211,083	213,105	219,969	214,458	209,469	218,136	234,289	244,766
介護保険事業収入	198,430	191,330	197,157	201,989	216,565	193,038	182,351	165,935	199,953	177,058
その他の収入	25,757	21,695	30,715	19,636	9,799	36,846	4,803	14,723	6,737	6,606
事業活動収入計	441,125	435,312	438,955	434,730	446,333	444,337	396,623	398,794	440,979	428,430
人件費支出	194,852	211,066	217,823	213,259	224,810	228,899	235,636	234,410	232,263	254,757
事業費支出	110,566	103,068	98,078	97,028	100,210	103,239	94,440	89,262	92,845	106,408
事務費支出	89,433	87,742	88,839	88,419	97,545	115,108	89,032	78,069	90,470	28,547
その他の支出	19,250	16,206	19,407	10,034	2,100	29,367	2,370	13,364	2,860	3,060
事業活動支出計	414,101	418,082	424,147	408,740	424,665	476,613	421,478	415,105	418,438	392,772
事業活動資金収支差額	27,024	17,230	14,808	25,990	21,668	-32,276	-24,855	-16,311	22,541	35,658



芋煮会



敬老式 (千田会長祝辞)



一泊旅行 (会津方面)

夏祭り (盆踊り)

特定施設 仙台長生園



現在の長生園

利用者の方の気持ちに
寄り添うことができる環境

寄り添う介護サービスの 提供をめざして

特定施設仙台長生園
管理者 小船 順子

平成29年7月1日、仙台長生園はこれまで11年続けてきた外部サービス利用型特定施設から一般型特定施設へと事業転換いたしました。

このことで、利用者さんにとっては最期まで長生園で過ごすことができる可能性と選択肢が広がったという大きなメリットが生まれ、施設としてはこれまでより多くの職員を配置し業務負担の軽減、そして介護報酬の増収により経営の安定につながりました。

仙台長生園は、他の介護保険施設のように、介護が必要な状態になったことで施設入所に至るといった経過をたどる利用者の方は少なく、最初はお元気で入園される方々がほとんどです。



長生園墓地（北山霊園）

施設で生活を続ける中で病気やお怪我、加齢により介護が必要な状態になり、それに添うように介護サービスを提供することが仙台長生園の特定施設としての機能です。

お元気で、これまで自分のことは自分でできていた方々が、そうできなくなってゆくことで抱える不安、混乱、喪失感は計り知れません。時には不安や混乱から、介護抵抗、不穏行動、認知症につながってゆくことも珍しいことではないのです。

利用者の方自身が自らの状況を受け入れきれない(自覚できない)過渡期であるゆえの、心身両面でのサポートは、負担が大きく困難を極めることもあります。

しかしながら、私たちの施設はお元気な頃からの利用者の方を知っているという、他にはないストレンクス(強み)を持っています。

その方が、どんなことに興味を持ち、どんなものが好物で、毎日どうやって過ごしていたのかを知っている職員が、介護サービスを提供できるということは、それだけ利用者の方の気持ちに寄り添うことができる環境が整っているということであると思います。

今後も技術・知識を向上させ、質の高い介護サービスとともに、たくさん笑っていただけるケアを提供できるよう努めていきますので、ご助言、ご指導よろしくお願い申し上げます。



文化祭(民謡クラブ)



自治会「長栄会」の模擬店



サンタクロース登場



文化祭(舞踊クラブ)



節分豆まき

施設紹介

平成18年4月の介護保険制度改正により養護老人ホームにも介護保険制度が導入されたことに伴って、同年7月に外部サービス利用型特定施設として県の認可を得て事業が開始されました。この時、仙台長生園内に指定訪問介護事業所として長生園介護センターを開所しました。この長生園介護センターを中心に、法人内の葉山デイサービスセンター、楽園デイサービスセンター、葉山訪問看護センターと契約を交わし、外部の介護保険サービスを提供してきました。

平成27年4月の介護保険制度改正では、養護老人ホームでも一般型の特定施設入居者介護事業の指定が認められました。検討を重ねた結果、平成29年7月に特定施設仙台長生園が外部サービス利用型から一般型へと事業の転換を決めました。これにより11年間訪問介護事業を継続してきた長生園介護センターは閉所し、介護職員全員を特定施設に吸収し、介護サービスを自らの施設で提供するようになりました。

平成30年4月現在、特定施設の契約者数は80名となり、仙台長生園全入居者の6割強を占めています。また、要介護3～5の特別養護老人ホーム入所対象者も約3割に増加しており、特定施設として担う役割が拡大しております。

所在地 仙台市青葉区葉山町8番1号

設置年月日 平成18年7月1日

事業の目的

特定施設サービス計画および介護予防サービス計画に基づき、食事・排泄・入浴等の介助、相談及び援助、社会生活上の世話、機能訓練および健康管理を行うことにより、入居者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう援助することを目的とする。

施設概要 養護老人ホーム仙台長生園に同じ。

基本理念

- ①事業所において提供する施設サービスは、介護保険法ならびに関係省令等の趣旨および内容に沿ったものとする。
- ②入居者の意思および人格を尊重し、常に入居者の立場に沿った施設サービスの提供に努める。
- ③事業所内は、入居者が生活しやすいよう場を提供することを主眼に、地域や家庭との結びつきを重視するとともに、関係自治体および他の介護保険施設、介護保険事業者等の福祉および医療機関との密接な連携を図るよう努める。

入所定員

平成30年度・定員76名（定員は前年度利用実績により設定）



ゲートボールクラブ

沿革

平成18年7月1日 外部サービス利用型特定施設入居者生活介護・介護予防
 特定入居者生活介護の指定を受け事業開始
 平成29年7月1日 一般型特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居
 者生活介護に指定変更
 現在に至る。

職員配置 (平成30年4月1日現在) 役職 職種 職員数

管理者(副園長兼務) 1名・生活相談員 1名・計画作成担当者 1名・機能訓練指導員 1名
 看護師 3名・介護士 28名 合計 35名



焼き物クラブ



地産自消クラブ



書道クラブ



くもんに取り組む利用者



長生園創立80周年記念演奏会

仙台楽生園ユニットケア施設群



利用者の希望に応じた継続的で
多機能なサービスを提供

法人90年、10年後の 100周年を目指して

仙台楽生園ユニットケア施設群
総括施設長 佐々木 薫

80年記念誌を発刊されてから早10年が経過し、法人は90周年を迎え、仙台楽生園も昭和62年4月開設の従来型特養（多床室）が32年目を迎えております。また、平成17年12月に開所した仙台楽生園ユニットケア施設群のユニット型特養（長期・短期）を始め、ケアハウス、グループホーム、認知症デイサービス2事業所、地域交流プラザ、並びに訪問看護、ヘルパー、ケアプラン、地域包括支援の各センターの介護保険10事業においても、昨年、おかげさまで12周年を迎えることが出来ました。

とくに地域に常時開放している葉山地域交流プラザでは、喫茶レストラン・売店、理容・美容室、準天然温泉の展望風呂、予防・リハ

ビリセンター、ボランティア活動センター、おもちゃ図書館とも、利用者・家族に親しまれておりますが、それ以上に地域の方々にも広く活用され大変好評を得るまでに成長いたしました。

これまでの介護保険制度導入時（平成12年4月1日）を振りかえると、措置制度から利

用者との直接契約（契約書・重要事項説明書）へと変わり、高齢者の尊厳に着目した利用者本位のアセスメントに基づくケアプランの作成が必須となりました。これまでの集団介護から個別ケアへの移行が図られ、個々の生活を支援する介護保険事業として、また、施設運営から施設経営へ変化した時期でもありました。

この介護保険制度も19年目を迎え、この間にも制度が3年毎さらには適時に改正され、利用者及び施設においても年々厳しさが増えています。なかでも特養への入所基準がこれまで要介護1以上から、平成27年4月より要介護3以上が基本となったことや、平成30年8月からは、介護保険料も所得の高い高齢者の介護保険サービスの利用者負担が1割、2割から更に3割負担に引き上げられる状況になっています。

事業運営においては制度改正の都度に介護報酬単価の見直しがなされ、様々な加算・減算項目が設けられるなど経営状況にも大きな影響がありました。常に個人情報やサービス評価・情報公開が求められる中、適正な実践を継続するうえで、サービス面では認知症介護、身体的拘束等の適正化、感染症対策、重度化対応やターミナルケアなどの制度変更

速やかに対応してまいりました。

今日、我が国では危機的な介護人材不足を迎えております。そして今後さらに状況は悪化し深刻な事態に進んでおり、人材確保の打開策として外国人の採用も検討されている状況にあります。慢性的な職員不足に苦慮しながらも、仙台楽生園ユニットケア施設群の理念の下、ケアの向上と事業経営の安定に取り組んでいるところです。

現在、日本人の平均寿命は男女ともに過去最高を更新しており、「人生100年時代」を迎えようとしています。当法人も10年後には100周年を迎えます。今後も施設の特徴を活かし、魅力ある施設に向けて経営努力を惜しまず、利用者の希望に応じた継続的で多機能なサービスを提供することで、誰もが安心して生活できる環境づくりと、地域福祉の更なる拠点作りを今後も目指してまいります。

感謝の気持ちを忘れずに 100周年を目指して

仙台楽生園ユニットケア施設群
管理職 小船 正明

法人創立90周年おめでとうございます。歴史と伝統ある法人に採用され28年目に入りました。現在は仙台楽生園・ケアハウス創快館・訪問看護センターの管理の職を中心として、法人理念である「いつも希望を」「もっと笑顔を」「ずっと安心を」実現に向け努力を重ねております。

今般、福祉業界は「制度改正」や「人員不足」等の影響を受け、運営も厳しい状況下ではありますが、これからも諸先輩方の築き上げてきた、この法人を誇りとし、人への感謝の気持ちを忘れず、更に法人の100周年を目指し、適正な運営と地域・社会貢献に邁進していきたいと考えております。



地域を支え続けてゆく… ということ

仙台楽生園ユニットケア施設群
管理職 天野 博美

法人創立90周年おめでとうございます。

現在私の担当する在宅部門（ケアプランセンター、ヘルパーセンター、認知症対応型デイサービスセンター）では、一人の利用者様にユニットケア施設群内の多くの事業所で関わりを持ちながら、その方が住み慣れた地域の中で、在宅での生活を少しでも長く続けて行っていただけることを目標に、日々支援を続けています。

措置制度から介護保険制度に、施設ケアから地域包括ケアにと、制度は徐々に変わってゆきますが、変わっていけないものがあります。子どもでも高齢者でも、認知症があっても、障害があっても、生を受け誕生してきた限り、その方の人生は人として尊重される権利を持っています。私たちは社会福祉法人の職員として、人の生活を支えてゆく使命がある事を忘れずに、これから先も日々精進を続けてゆきたいと考えております。



次の10年、 100周年に向けて

仙台楽生園ユニットケア施設群
管理職 石井 紀之

私がこの社会福祉法人仙台市社会事業協会に入職したのは、ちょうど介護保険制度の始まる平成12年4月1日の事でした。当時は福祉について何も知識のない事務員として、諸先輩方に福祉の初歩から丁寧に指導して頂いた日々を懐かしく感じるようにもなりました。あれから18年余りの歳月が経過し、私も法人の一員としてこの90年誌に寄稿する立場になろうとは、正に諸先輩方のご指導の賜物と感謝しております。

法人の次の10年、100周年以降を担う世代として先人、諸先輩方の築かれた礎に恥じる事の無いよう、『初心を忘れず』に邁進して参る所存であります。



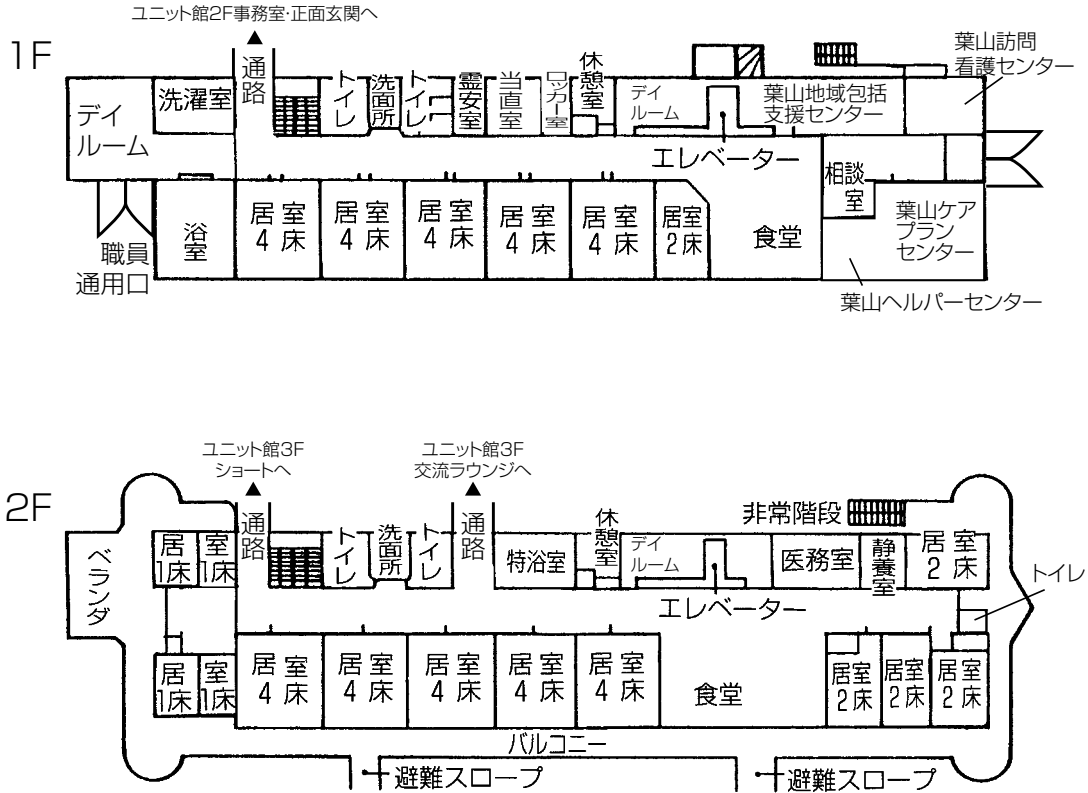
施設概要

設置主体	社会福祉法人仙台市社会事業協会
施設の名称 および定員	仙台楽生園ユニットケア施設群
	【介護老人福祉施設】 特別養護老人ホーム 仙台楽生園 本館 50名 ユニット館 40名
	【短期入所生活介護】 仙台楽生園短期入所生活介護事業 本館 4名 ユニット館 16名
	【地域交流スペース】 葉山地域交流プラザ
	【認知症対応型通所介護】 楽園デイサービスセンター いこい 10名 楽園デイサービスセンター なごみ 12名
	【認知症対応型共同生活介護】 グループホーム 楽庵 9名
	【特定施設入居者生活介護】 ケアハウス 創快館 10名
	【訪問介護】 葉山ヘルパーセンター
	【訪問看護】 葉山訪問看護センター
	【居宅介護支援事業】 葉山ケアプランセンター
	【介護予防支援事業】 葉山地域包括支援センター
所在地	宮城県仙台市青葉区葉山町8番1号
開園年月日	本館：昭和62年4月1日 ユニット館：平成17年12月1日
敷地面積	13200.88㎡（葉山シルバータウン全体）
建物構造	本館：鉄筋コンクリート造 2階建 ユニット館：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上6階地下1階建
建物面積	本館：1478.46㎡ ユニット館：5998.11㎡

設備概要

特別養護老人ホーム仙台楽生園	数	葉山地域包括サービスステーション	数
居室（トイレ付）	2	葉山ヘルパーセンター	
居室（トイレ無）	17	事務室	1
静養室	1	葉山訪問看護センター	
ダイニング・食堂	3	事務室	1
介護士室	2	葉山ケアプランセンター	
浴室	2	事務室	1
洗面所	2	葉山地域包括支援センター	
共有トイレ	8	事務室	1
医務室	1	相談室	1
休憩室	2		
洗濯室	1		
当直室	1		
ロッカー室	1		
霊安室	1		

本館平面図



ユニット館

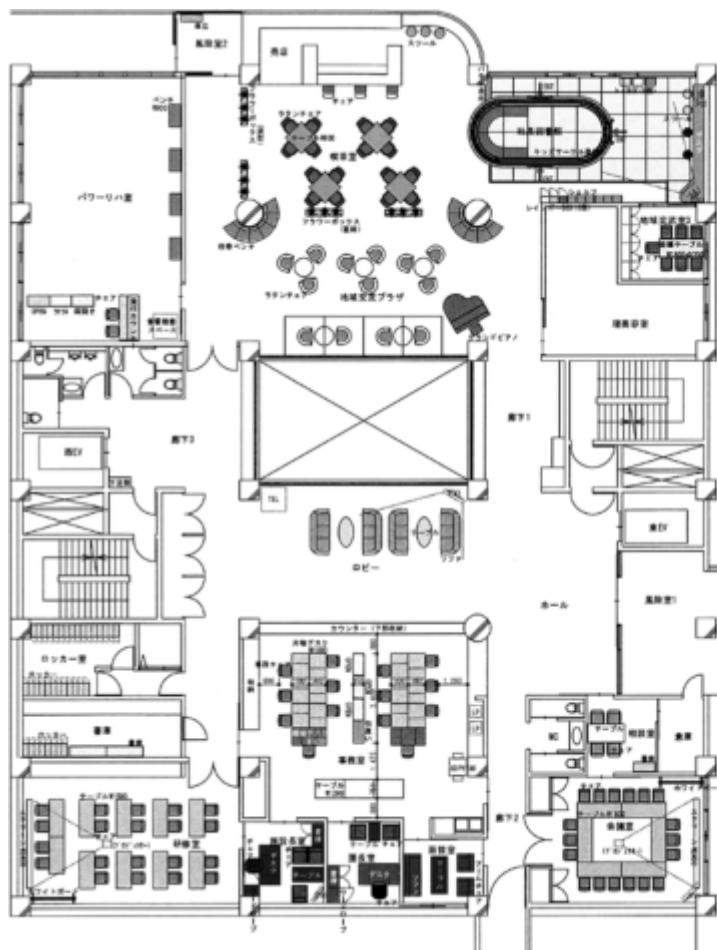
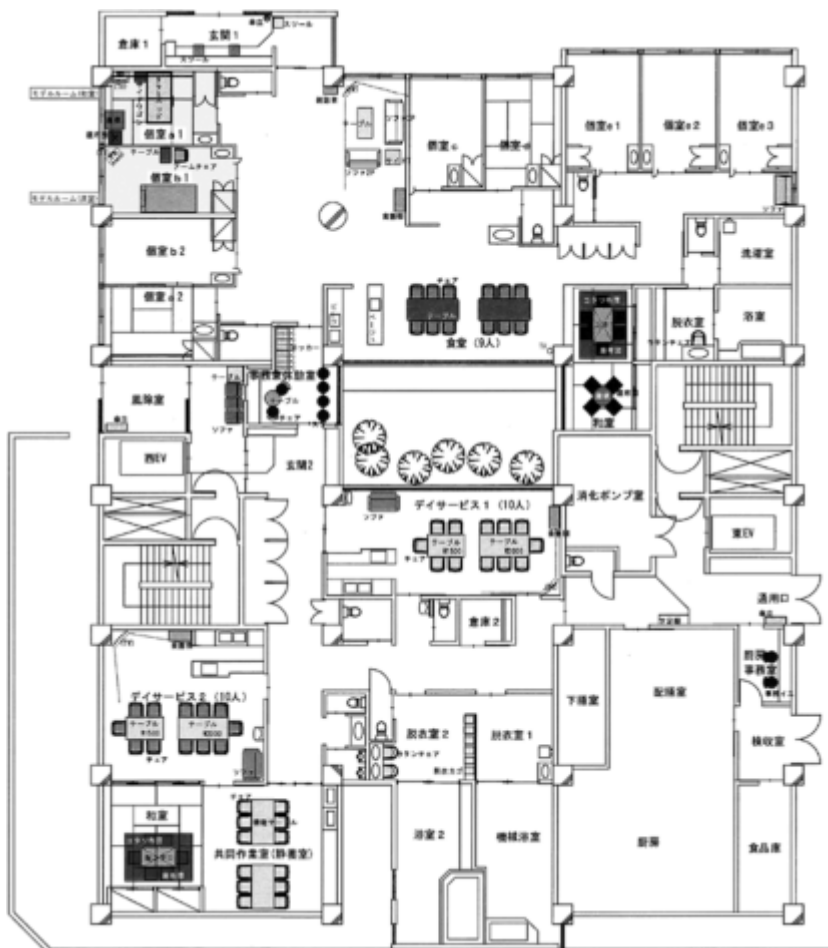
※数

全体								
総括施設長室	1	副園長室	1	事務室	1	応接室	1	
相談室	1	会議室	1	研究・研修室	1	展望風呂	2	
眺望ラウンジ	1	ギャラリー	1	ロッカー室	1	シャワー室	1	
トイレ	8	書庫	1	倉庫	2	機械室	3	
厨房	1	リネン庫	1	ロビー・廊下・その他				
特別養護老人ホーム 仙台楽生園								
居室(トイレ付)	48	居室(トイレ無)	8	共有トイレ	11	デイルーム	6	
食堂	6	キッチン	6	浴室	7	洗濯室	3	
多目的室	3	交流ラウンジ	1	和室	1	倉庫	6	
葉山地域交流プラザ								
喫茶レストラン(アクティビティホール)				1	理美容室	1	おもちゃ図書館	1
予防リハビリセンター				1	ボランティア活動センター			1
楽園デイサービスセンター いこい・なごみ								
デイルーム	2	静養室	1	キッチン	2	浴室	2	
アトリエ(機能訓練室)			1	トイレ	4	洗濯室	1	
倉庫	1	事務・休憩室(グループホームと共用)						
グループホーム 楽庵								
居室	9	リビング	1	和室	1	食堂	1	
キッチン	1	浴室	1	洗濯室	1	トイレ	5	
倉庫	1	事務・休憩室(楽園デイと共用)			1			
ケアハウス 創快館								
居室	10	食堂	1	キッチン	1	多目的室	1	
浴室	1	コインランドリー	1					

ユニット館平面図

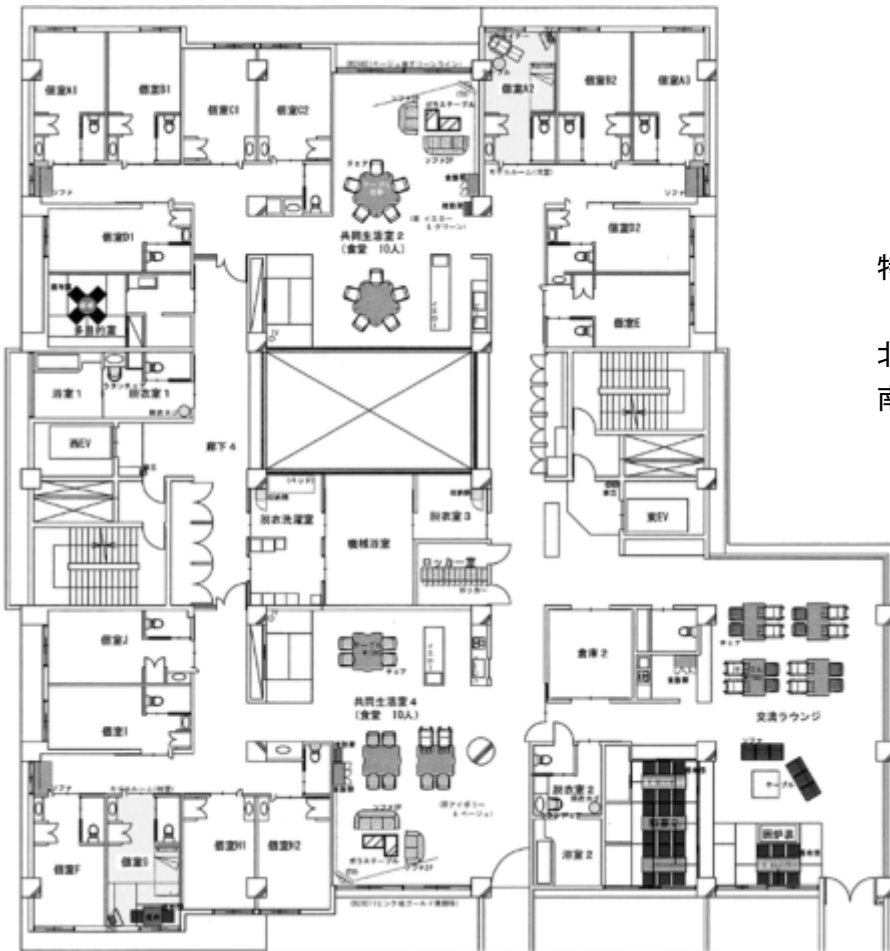
1 F

北 グループホーム楽庵
南 楽園デイサービスセンター
いこい・なごみ



2 F

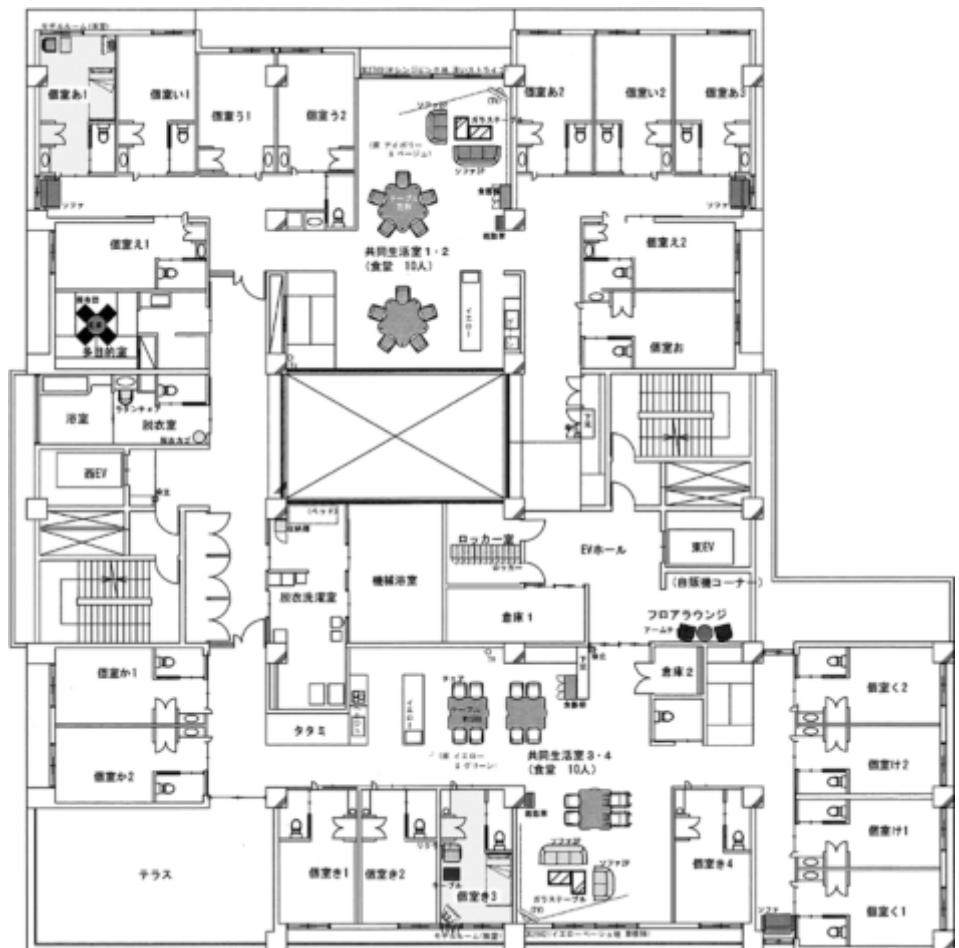
北 葉山地域交流プラザ
南 事務室 他



3 F

特別養護老人ホーム仙台楽生園
(短期入所)

北 3丁目 「希の家」
南 3丁目 「福の家」
交流ラウンジ

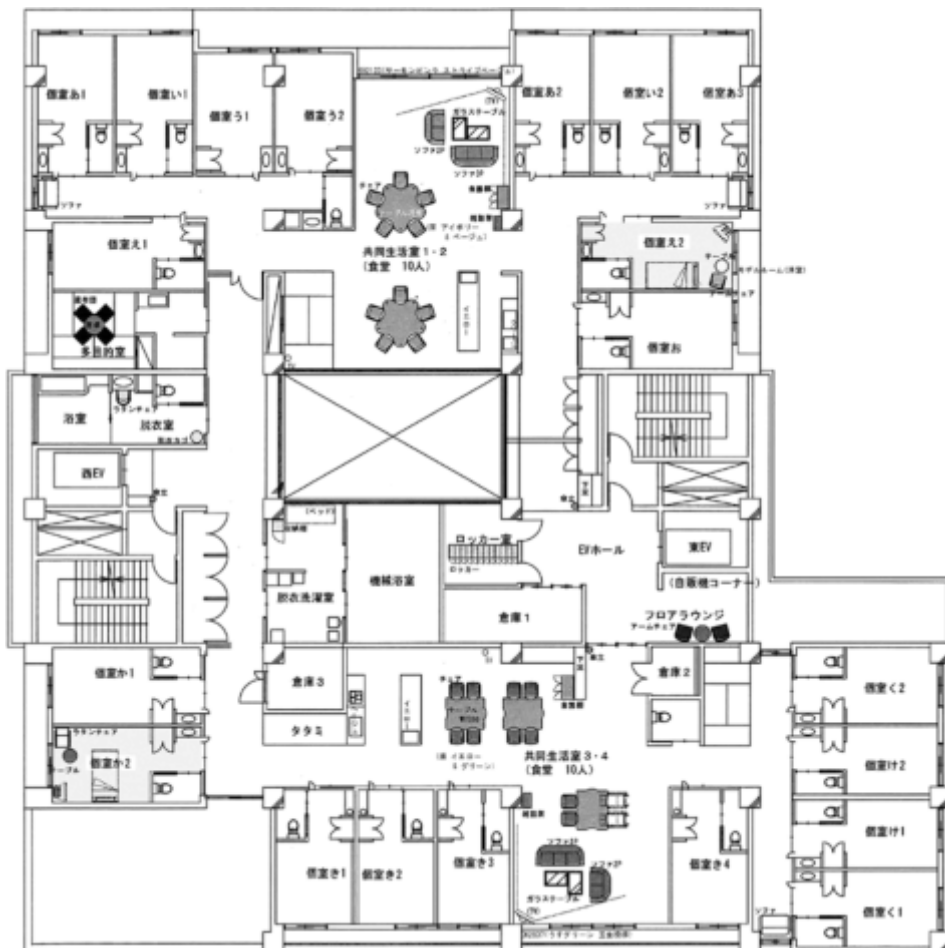


4 F

特別養護老人ホーム
仙台楽生園 (長期入所)
北 4丁目 「彩の家」
南 4丁目 「笑の家」

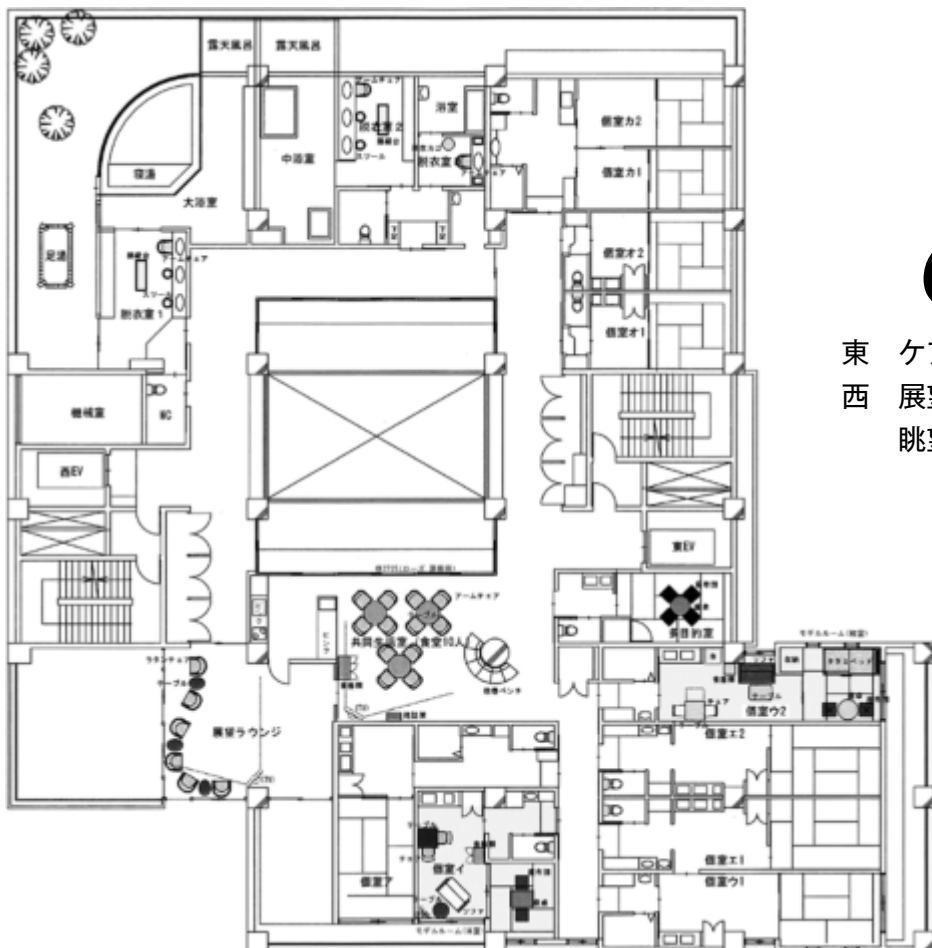
5 F

特別養護老人ホーム
 仙台楽生園（長期入所）
 北 5丁目 「華の家」
 南 5丁目 「寿の家」



6 F

東 ケアハウス創快館
 西 展望風呂 天空館
 眺望ラウンジ



基本理念

じぶんの『いえ』みんなの『まち』として

- 地域の皆様がいつでも集える
- ご家族がずっといたくなる
- ご利用者がここで良かったと思える

楽しみと安らぎと望む生活の実現を目指します

運営理念

高齢者、障害者、認知症の人、児童、地域住民を対象とした、相談、介護予防、在宅サービス、施設サービスまでの総合福祉サービスの提供と地域セーフティネットの構築を図ります。

1. その人らしい生活のサポート
2. 大規模多機能型ユニットケア
3. 都市型地域密着コミュニティ

ユニットケア施設群 沿革 (平成20年～30年)

平成20年11月21日	福祉避難所の設置及び管理運営に係る協力に関する協定を仙台市と締結	
平成21年3月31日	仙台楽生園短期入所生活介護事業所	所長 佐々木薫 退任
	ケアハウス創快館	施設長 佐々木薫 退任
	楽園デイサービスセンターいこい	施設長 佐藤文彦 退任
	楽園デイサービスセンターなごみ	施設長 佐藤文彦 退任
	葉山ケアプランセンター	所長 佐藤文彦 退任
	葉山ヘルパーセンター	所長 佐藤文彦 退任
平成21年4月1日	仙台楽生園短期入所生活介護事業所	所長 佐藤文彦 就任
	ケアハウス創快館	施設長 佐藤文彦 就任
	楽園デイサービスセンターいこい	施設長 佐藤純 就任
	楽園デイサービスセンターなごみ	施設長 佐藤純 就任
	葉山ケアプランセンター	所長 小船正明 就任
	葉山ヘルパーセンター	所長 小船正明 就任
平成21年7月23日	介護雇用管理改善推進委託事業(厚生労働省宮城労働局)	
平成22年12月1日	葉山ヘルパーセンター 障害福祉サービス事業開始	
平成23年3月11日	東日本大震災発生(マグニチュード9.0 最大震度7)	
	※ライフラインの寸断、地域住民を1週間で185名受け入れ	
平成23年3月16日	福祉避難所開設 5月8日まで延べ139名受け入れ	
平成23年4月4日	定員外受け入れ 12月6日まで延べ687名受け入れ	
平成24年3月31日	仙台楽生園短期入所生活介護事業所	所長 佐藤文彦 退任
	ケアハウス創快館	施設長 佐藤文彦 退任
	楽園デイサービスセンターいこい	施設長 佐藤純 退任
	楽園デイサービスセンターなごみ	施設長 佐藤純 退任
	葉山訪問看護センター	所長 佐藤文彦 退任
平成24年4月1日	仙台楽生園短期入所生活介護事業所	所長 天野博美 就任

	ケアハウス創快館	施設長 佐藤純 就任
	楽園デイサービスセンターいこい	施設長 天野博美 就任
	楽園デイサービスセンターなごみ	施設長 天野博美 就任
	葉山訪問看護センター	所長 榊原泰子 就任
	葉山地域包括支援センター 認知症地域資源マップ等作成事業	
平成24年10月26日	東日本大震災補修工事（仙台市老人福祉施設等災害復旧費補助金）	
平成25年3月31日	ケアハウス創快館	施設長 佐藤純 退任
平成25年4月1日	ケアハウス創快館	施設長 榊原泰子 就任
平成26年3月31日	仙台楽生園短期入所生活介護事業所	所長 天野博美 退任
	ケアハウス創快館	施設長 榊原泰子 退任
	楽園デイサービスセンターいこい	施設長 天野博美 退任
	楽園デイサービスセンターなごみ	施設長 天野博美 退任
	葉山ケアプランセンター	所長 小船正明 退任
	葉山ヘルパーセンター	所長 小船正明 退任
平成26年4月1日	仙台楽生園短期入所生活介護事業所	所長 植木祐子 就任
	ケアハウス創快館	施設長 小船正明 就任
	楽園デイサービスセンターいこい	施設長 植木祐子 就任
	楽園デイサービスセンターなごみ	施設長 植木祐子 就任
	葉山ケアプランセンター	所長 榊原泰子 就任
	葉山ヘルパーセンター	所長 榊原泰子 就任
平成26年6月16日	認知症カフェ葉山オレンジカフェ開始	
平成27年3月31日	葉山訪問看護センター	所長 榊原泰子 退任
平成27年4月1日	葉山訪問看護センター	所長 小船正明 就任
平成28年3月31日	仙台楽生園短期入所生活介護事業所	所長 植木祐子 退任
平成29年4月1日	葉山デイサービスセンター	所長 榊原泰子 就任
	※今年度より、仙台楽生園拠点とする	
	仙台楽生園本館（長期）50床（短期）4床に再編	
	仙台楽生園ユニット館（長期）40床（短期）16床に再編	
	※仙台楽生園短期入所生活介護事業所（20床）は、仙台市の指導により、本館（短期）の4床を仙台楽生園（長期）50床と、ユニット館（短期）の16床を仙台楽生園ユニット館（長期）40床と一体的に運営するため単独事業所としては終了する。	
平成30年3月31日	楽園デイサービスセンターいこい	施設長 植木祐子 退任
	楽園デイサービスセンターなごみ	施設長 植木祐子 退任
	葉山ケアプランセンター	所長 榊原泰子 退任
	葉山ヘルパーセンター	所長 榊原泰子 退任
	葉山デイサービスセンター	所長 榊原泰子 退任
平成30年4月1日	楽園デイサービスセンターいこい	施設長 天野博美 就任
	楽園デイサービスセンターなごみ	施設長 天野博美 就任
	葉山ケアプランセンター	所長 天野博美 就任

葉山ヘルパーセンター 所長 天野博美 就任

※葉山デイサービスは今年度休止とする。

仙台楽生園ユニットケア施設群職員配置 (平成30年4月1日現在) 役職 職種 職員数

○職員配置(兼務あり)

<特別養護老人ホーム仙台楽生園> ※短期入所を含む

園長1名・副園長1名・事務長1名・介護士48名・生活相談員3名・看護師7名
介護支援専門員5名・管理栄養士1名・機能訓練指導員1名・事務員3名
運転手1名・業務員3名 合計75名

<グループホーム楽庵>

施設長1名・看護師1名・介護士7名・計画作成担当者1名 合計10名

<楽園デイサービスセンター いこい なごみ>

所長1名・生活相談員3名・介護士7名・看護師1名・機能訓練指導員2名 合計14名

<ケアハウス創快館>

施設長1名・生活相談員1名・看護師1名・機能訓練指導員1名・介護士3名 合計7名

<葉山ケアプランセンター>

所長1名・主任介護支援専門員2名・介護支援専門員2名 合計5名

<葉山ヘルパーセンター>

所長1名・サービス提供責任者3名・登録ヘルパー15名 合計19名

<葉山訪問看護センター>

所長1名・看護師3名 合計4名

<葉山地域包括支援センター>

所長1名・保健師1名・主任介護支援専門員1名・社会福祉士2名・介護支援専門員3名
合計8名

<葉山地域交流プラザ>

館長1名・管理者1名・地域コーディネーター2名 合計4名

仙台楽生園ユニットケア施設群 アクセス



交通手段

地下鉄「北仙台駅」及びJR「北仙台駅」から徒歩10分

市営バス 桜ヶ丘、西勝山、長命ヶ丘行き他 「長生園前」から徒歩1分

特別養護老人ホーム 仙台楽生園

本館1階・2階

本館は仙山線の電車を眺めながら、桜の花・新緑・紅葉と四季折々の草花を楽しめ、環境に恵まれております。個室とは違う多床室ならではのケアを工夫して、笑い声・歌声の聞こえる日々を送っています。



2人部屋



季節を感じられる大きな窓のあるホール



2階は居室から遊歩道に出られます



天窓があり、とても明るい2Fダイニング



本館 玄関

1階テラスでは庭いじりを楽しむことができます

特別養護老人ホーム 仙台楽生園

ユニット館3階 短期入所

ユニット館3階には2ユニットあり、長期入所と同じようにそれぞれ10名で生活されています。ご家族様が病気や冠婚葬祭等で介護ができなくなった時などに、一時的に利用していただくサービスです。居室は長期入所と同じく全室個室となっています。利用回数を重ねるうちにご利用者様どうして仲良くなられたりと、楽しくお過ごしいただいております。



折り紙などの作品を飾っています



広々とした明るい居室



明るく賑やかなデイルーム



季節の飾りのある玄関



プライバシーに配慮したリビング



お一人ずつ入浴をお手伝いします

特別養護老人ホーム 仙台楽生園

ユニット館4・5階 長期入所

ユニット館4・5階には各階2ユニットずつ、計4つのユニットがあり、各ユニット10名で生活されています。全室個室ですのでプライバシーに配慮した生活をお送りいただけます。小規模で家庭的な生活空間という特性を生かし、スタッフが利用者の側に寄り添いながら、一人ひとりの顔が見えるケアを提供しています。



デイルームから見た食堂



リハビリも行います



光が差し込むユニットのデイルーム



5丁目南 寿の家の玄関

使い慣れた家具を並べた個室

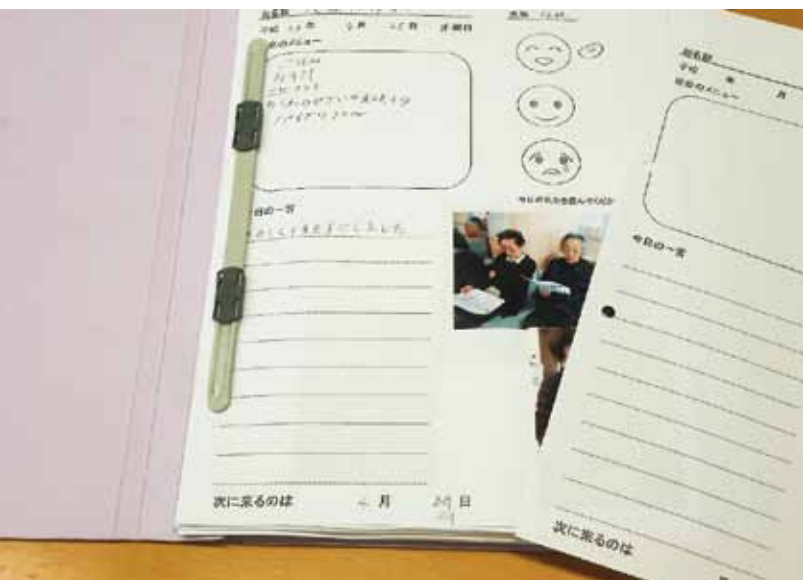


休憩もできる畳コーナー



葉山地域福祉総合サービスエリア 楽園デイサービスセンターいこい

認知症対応型のデイサービスです。ご自宅で生活されている方に施設へ通っていただき、入浴や食事をはじめ、様々なサービスをご利用いただくサービスです。小規模な生活空間の中でゆったりとお過ごしいただけます。



1日の振り返り日誌をご利用者に記入していただいています



お花見に行きました



キッチンではご飯炊きや味噌汁作りを利用者の方々で行っています



ダイルーム



ゆったりお入りいただける大きめのお風呂



リハビリに取り組みられています

葉山地域福祉総合サービスエリア

楽園デイサービスセンターなごみ

楽園デイサービスセンターでは機能訓練を実施する他、レクリエーションや行事への参加を通して、実際の生活に即した「生活リハビリ」を行っていただいております。少人数ならではの、お一人お一人のペースを尊重したケアを提供しております。



美味しい手作りおやつ



日当たりの良いウッドデッキ



レクリエーションのおやつ作り



季節に合わせた行事を行っています



年に2回家族交流会を開催しています



掘りごたつがある静養室

葉山地域福祉総合サービスエリア グループホーム楽庵

ユニット館1階にある楽庵では、9名の方が入居され職員と一緒に料理をしたり趣味を楽しみながら共同生活を送っていらっしゃいます。楽庵の理念に「希」「笑」「和」「絆」を掲げ、利用者の方々の今までの生活の流れを大切にしています。



毎日の食事作りもお手のもの



みんなでお祝い敬老会



畳敷きの居室



光が差し込む浴室



皆さんが集うデイルーム



温かみのある木の玄関

葉山地域福祉総合サービスエリア ケアハウス創快館

創快館はユニット館の最上階（6階）にあり、同フロアには展望風呂やサウナを完備した準天然温泉があります。創快館では、ご高齢や健康等の理由から生活に不安を抱えている方に、食事や日々の交流を通して楽しく、安心して生活していただけるようお手伝いいたします。



夏祭りを楽しみ笑顔で写真を撮パチリ!!



気持ちの良い風が抜ける眺望ラウンジ



泉ヶ岳まで見渡せます



テラスでは季節の花が咲いています



和洋二間つづきの居室



居室にはキッチンも完備

葉山地域包括サービスステーション

住み慣れた町や住み慣れた家で安心した楽しい生活をお送りいただけるよう、様々な相談に応じ、医療や介護を含めた各種在宅サービスの提供を行います。また、介護保険内外の様々な地域資源をコーディネートし、総合的な在宅福祉の拠点として重要な役割を果たしていきます。

葉山ヘルパーセンター

「住み慣れた我が家で暮らす」をお手伝いいたします。

ホームヘルパーがご自宅を訪問し介護保険の在宅サービス（生活援助・身体介護）をご提供いたします。笑顔いっぱいの21名のスタッフがお手伝いさせていただきます。



勉強会の様子



迅速に対応致します



家事や介護のお手伝いを行ないます

葉山訪問看護センター

街に安心の花を咲かせたい「こころ」「きずな」「くらし」

看護を必要とする方々がご自宅で安心して生活を送っていただけるよう、医師と連絡を密に取りながら4名の看護師がご自宅を訪問し、お手伝いいたします。



間違いなくお薬を飲めるよう支援します



血糖検査も
お手伝いします



必ず持って行きます

葉山地域包括支援センター

地域で暮らす高齢のみなさんを、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支えるためのセンターです。主な業務としては①介護予防ケアマネジメント業務（自立して生活できるよう支援する）②権利擁護業務（高齢者の権利を守る）③総合相談業務④包括的・継続的ケアマネジメント業務（関係機関とのネットワーク作り等、さまざまな方面から支える）を行っています。いつまでも健やかに住みなれた地域で生活していくようお手伝いいたします。



ご自宅まで訪問いたします



地域にお住まいの高齢者の相談窓口



様々な情報をお知らせしています

葉山ケアプランセンター

要介護状態になられても、ご自宅で自立した生活を送ることができるよう、4名のケアマネジャーが皆様やご家族のご希望に沿ったケアプランを作成し支援いたします。介護保険に関するご相談はおまかせください。



お気軽にご相談ください



介護保険のお手伝いをします



毎月訪問いたします

葉山地域交流プラザ

高齢者に限らずお子様からお年寄りまでどんな方でも、いつでもご利用していただけるよう常時開放しております。また、会議室、研修室等の貸し出しや各種イベント等も定期的開催しております。くつろげる憩いの場として、すべての人々が交流を図れる場となるよう充実させてまいります。

展望風呂 天空館

泉ヶ岳や中山観音も眺望できる男女別の展望風呂をはじめ、露天風呂・寝湯・足湯・サウナなどがあり、心も体も温まる準天然温泉です。



喫茶レストラン 茶楽

ご家族や地域の方々とゆっくりとおしゃべりをしながら楽しく過ごせる憩いの場所です。



葉山ボランティア活動センター

ボランティア活動を通して、気軽に施設に足を運び、ご利用者様と楽しい時間をお過ごしいただけるよう支援する拠点となります。



葉山地域交流プラザ

葉山の森おもちゃ図書館

おもちゃや絵本を取り揃え、子ども達の遊び場として開放しています。



理容室 ggバーバー 美容室 美楽る

お子様からご年配の方まで、老若男女どなたでもご利用いただけます。施設利用者も地域の方もくつろぎながら交流できる場を提供いたします。



葉山予防リハビリセンター

体操やマシンを使った介護予防を中心に行い、施設利用者の皆様や地域の方々にご利用いただいております。いつまでも若々しく元気に暮らしていただけるよう専門のスタッフがお手伝いいたします。



写真で見る 仙台楽生園



あそびの日



夏祭り



地域交流文化祭『こだま会』様



夏祭り



地域交流文化祭『いずみ館太鼓』様



夏祭り



夏祭り

地域交流文化祭『ともえ座』様



写真で見る 仙台楽生園



プロヴァイオリニスト『千住真理子』様



雅楽演奏『笙 YUU』様



地域交流文化祭



ユニットケア施設群開設10周年



ボランティア感謝の集い『RAUM BAND』様



ハロウィン
パーティー



『東北楽天ゴールデンイーグルス Jr.チアリーダーズ』様

仙台楽生園ユニットケア施設群 パブリックスペース



プライバシーを守れる相談室



一年中温かな眺望ラウンジ



作品を展示しているギャラリー



明るい正面ホールと事務室



地域住民にも貸し出ししている会議室



囲炉裏のある3階交流ラウンジ



地域住民にも貸し出ししている
研究・研修室



必要な情報がわかる掲示コーナー



いつでも手をあわせられる
仏壇と神棚

沖野三施設

地域に根差した
福祉の拠点として
～過去から未来につなぐ～

館長兼所長 植木 祐子

この春着任しました沖野三施設と称される当施設は、平成3年に仙台市営の施設として開設し現在は仙台市の指定管理者として運営される老人福祉センター（A型）・デイサービスセンターと、平成12年の介護保険制度創設に合わせて開設した居宅介護支援センターの三事業所からなる複合施設です。平成3年当時は、沖野地域はもちろん仙台市内でも高齢者福祉ならびに介護サービスを提供する事業所の数はまだまだ少なく、この地域における高齢者福祉の拠点としてパイオニア的な役割を果たしてまいりました。

しかしながら、開設から27年経過した平成30年4月時点では、介護サービスを提供する事業所は、ここ沖野地区だけでも特別養護老人ホーム1ヶ所、デイケアを含む通所介護事業所が8ヶ所、訪問看護を含む訪問系の事業所が4ヶ所、グループホームが2ヶ所、小規模多機能型、看護小規模多機能型介護事業所が各1ヶ所と、バラエティに富んだ介護・福祉サービスが充実しており、老舗の看板のみで選ばれる状況ではなくなっていることを実感いたします。

昭和3年に創立された仙台市社会事業協会では、戦前から続く90年という長い歴史の中であって、先達の方々は時代の変遷と共に、その時代ごとに求められる社会福祉事業のあり方について、創意工夫しながら様々な事業に取り組まれてきました。沖野三施設においても、これまでの27年間で培ってきた地域の皆さまとの繋がりを大切にしながら、一方で時代と共に変わりゆくニーズに応

変化を恐れることなく世代を超えて
地域に愛され続ける施設を目指し
取組んでまいります

えられるよう、変化を恐れることなく三施設がしっかり協働し、世代を超えて地域に愛され続ける施設を目指し取組んでまいります。





沖野老人福祉センター
図書コーナー

仙台市沖野デイサービスセンター
送迎車両／食堂・ホール



沖野居宅介護支援センター

仙台市沖野老人福祉センター



生きがい作りや地域福祉の為に
活躍できる場として機能

施設紹介

コミュニティと共に

生活相談員兼事務員
(法人 広報委員) 本田 道宏

平成3年、仙台市沖野老人福祉センターは沖野地域における地域福祉・高齢者福祉の拠点として開館しました。利用者の多くは沖野・六郷・若林地区の方々であり、そのニーズが開館当初は入浴や大広間における利用者の方々での歓談が中心だったようですが、現在開催数50を超えるサークルの数が物語るようにその利用目的は実に多様化しております。しかしながら、開館当時から一貫して、その機能を果たすべく、地域とのつながり・連携を念頭に置いた施設運営を行ってきました。

特に、地域防災や災害時の福祉活動については、平成20年より仙台市の福祉避難所として協定を締結し、時を同じくして所在地である館町内会福祉委員会にも参加して地域の



大広間

福祉活動との連携・協働に取り組んできた他、東日本大震災後に発足した沖野中学校区災害対策委員会にも積極的に参画する中で、近隣町内会や併設する沖野市民センター、同じ中学校区内にある沖野地域包括支援センター等、各種関係機関との連携を深化させながら、地域コミュニティと共に歩む姿勢をより明確にしてきました。

今後、沖野・六郷・若林エリアにおける少子高齢化が更に進むことが予測される中、当施設が高齢者のみならず幅広い世代の方々が交流し、生きがい作りや地域福祉の為に活躍できる場として機能するよう、これまで実施してきた交通安全・防犯講話、栄養講座といった事業と併せて、児童館や小学校との世代間交流事業やボランティア育成、その他地域での活動にも力を入れていきたいと思えます。

また、健康の維持・増進、介護予防への啓発に向けた講座等の自主事業に積極的に取り組むと共に、利用者が講師を務めるパソコン教室・将棋講座・手芸講座等の活性化を図り、利用者代表で組織される管理運営委員会を中心としたセンター内外の環境美化活動や、年間行事運営の中核となって参画していただく等、利用者の皆さまが健康で、いきいきと活動していただけるような支援のあり方が求められていると感じます。

高齢者が高齢者を支える時代となり、一方で個人と地域・町内会等との関わり方が希薄になる中、当施設の担う役割は、各種関係機関や近隣地域と利用者をつなぐ架け橋としてより重要なものとなってまいります。当施設が地域コミュニティの中に存在しているということ、そして職員と利用者のコミュニケーションにより構築される関係をベースとして利用者の主体性が推進されていることは開館当初から変わっておりません。

平成16年4月1日からは仙台市の指定管理を受け、今年で15年目を迎えております。これからも趣味の教室や、看護師・生活相談



ダンス教室発表会



パソコン教室



麻雀大会



卓球台



女性浴室

員を中心とした相談業務、団体・サークル支援に基づいた、健康増進と教養向上及びレクリエーションの供与という老人福祉センター本来の業務を全うし、かつ職員全員がコミュニティとともにある公の施設での職務という意識を忘れることなく、日々の業務に真摯に取り組んで参ります。



栄養講座（お料理教室）

夏祭り（水ヨーヨーすくい）



七夕飾りつけ



夏祭り（味噌おでん）



豊齢を祝う会

所在地 仙台市若林区沖野七丁目34番43号

設置年月日 平成3年4月23日

目的

仙台市内にお住いの60歳以上の方について、健康で明るい生活を営んでいただけるよう、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的としています。

施設概要

構造：鉄筋コンクリート造一階建

敷地面積：6,151.20㎡（沖野市民センター分含む） 建物面積：1,214㎡

延床面積：1,203.11㎡（老人福祉センター分 764.99㎡）

（デイサービスセンター分 438.12㎡）

施設構造：鉄筋コンクリート造1階建

理念（目標・基本方針）

施設運営の基本方針

趣味の教室やサークル活動、ならびに仲間との寛ぎ、健康相談等を通して、利用者の皆さんが健康で明るい生活を楽しめるような施設運営を目指します。

「趣味の教室」を通して教養を高める中で、仲間づくりや生きがいがつくりにつなげていただくとともに、利用者ご自身のスキルを主体的に発揮できる場や役割を担っていけるよう、年間行事の充実に努めます。

町内会福祉委員会や各地域包括支援センター等各種関係機関との連携を深めることによって、センターが「地域福祉の拠点」として地域福祉・高齢者福祉へ寄与するよう努めます。

1日平均利用人数 125名（平成29年度実績）

沿革

- ・平成3年4月23日長寿化の進展に伴い仙台市豊齢化社会整備計画が策定され、生きがい対策の一環として、仙台市が実施主体となり開所される。
- ・平成3年4月23日日本法人が受託経営を始める。
- ・平成16年4月1日仙台市の指定管理者として指定を受ける。
- ・平成19年4月1日仙台市の指定管理者として指定を受ける。
- ・平成24年4月1日仙台市の指定管理者として指定を受ける。
- ・平成29年4月1日仙台市の指定管理者として指定を受ける。

職員配置（平成30年4月1日現在） 役職 職種 職員数

館長1名・副主任生活相談兼事務員1名・生活相談員兼事務員1名・看護師（准看護師）1名
事務員2名・業務員（非常勤嘱託）1名・嘱託医（非常勤嘱託）1名 合計8名

仙台市沖野デイサービスセンター



世代を超えて安心して暮らせる
地域づくりに貢献

施設紹介

地域と共に生きる

生活相談員兼介護士 遠藤 修

仙台市沖野デイサービスセンターは、若林区沖野地域の北東部に位置し、東側に雄大な仙台平野を眺望することができ、春に植えられた苗が夏には緑色の絨毯のように広がり、秋にはまばゆいばかりの黄金色に変わります。そんな自然豊かで美しい地域に当施設は、平成3年に開所し、早いもので27年の月日が流れました。この地域の高齢者施設の中では一番の歴史があり、開設当初は、訪問入浴サービスも行っていました。現在は通所介護サービスの他、総合事業・通所介護型サービスを提供しております。

平成23年には東日本大震災に見舞われました。幸いにも甚大な被害はありませんでしたが、ライフラインが寸断された為、当施設も約1ヶ月間の休業を余儀なくされました。



「早く営業を再開して欲しい」、「お風呂に入れて欲しい」という、ご利用者様・ご家族様のご要望にすぐに応えることが出来なかった悔しい気持ちを今でも記憶しております。その時の教訓を生かし、防災マニュアルの見直しや防災設備・備品の充実を図り、どのような災害発生時にも事業が滞ることなく継続できるように取り組んでまいりました。

施設のサービスについては、準天然温泉トゴール石が入っているお風呂がご利用者様から絶大な人気を誇っており、平成29年にリニューアルした車イスの方用の特浴と共に、ほぼ全てのご利用者様にゆったりとした入浴の時間を楽しんでいただいております。

その他、敬老会やクリスマス会、お花見ドライブ、七夕制作等四季折々の行事やご利用者様からのリクエストが非常に多いレストランでの「お食事会」等を実施しています。また、理学療法士を中心とした機能訓練の充実、レクリエーション等日常のプログラムの見直しを行い、ご利用者様、ご家族様のご要望にこまやかに応えられるよう取り組んでおります。



食堂・ホール



機能訓練スペース



お風呂

沖野地域では、現在多くの高齢者福祉施設や介護保険サービス事業所が開設され、いずれの事業所も、ご利用者様、ご家族の皆様にご満足いただけるサービスを目指して、鎬を削っております。その中であって沖野デイサービスセンターは、仙台市の指定管理を受けた施設としての責務を果たすべく、ご利用者様、ご家族様が、住み慣れた地域でより長く生活を継続していただけるよう全力でサポートいたします。その為に、職員1人1人がご利用者様、ご家族様の気持ちに寄り添い、長い歴史の中で培ってきたノウハウを活かしつつ、常に新しい事にチャレンジすることも忘れずに努めて参ります。

今後、少子高齢化が更に加速する中で起こり得る様々な課題について、町内会や近隣の小中学校・商店街・各関係機関の皆様方と共に手を取り合いながら、世代を超えて安心して暮らせる地域づくりに貢献する「頼れる施設」を目指して取り組んで参ります。



特浴（機械浴）



送迎車両



玄関



脱衣室

所在地 宮城県仙台市若林区沖野7丁目34番43号

設置年月日 平成3年3月29日

目的

在宅で日常生活に介助が必要な高齢者に対しデイサービスセンターで、生活指導、日常生活動作訓練、健康チェック、入浴、食事等のサービスを提供し、心身機能の維持向上を図り、併せて、家族の方々の介護負担の軽減も目的としています。

施設概要 仙台市沖野老人福祉センターに同じ。

理念(目標、基本方針)

事業経営の安定化

充実したサービス内容を安定して供給し、ケアマネージャーとの信頼関係を構築することで、新規利用者の獲得を拡大し、また、様々な角度で創意工夫しながら稼働率を高め、収入・事業の安定化を図ります。その為にも、困難な事例に対しても積極的に受け入れを行い、全力を挙げてサービスの提供を行います。

職員の「質」を強化

内外部の研修に積極的に参加することでスキルアップを図り、常に専門性の高いサービスを提供出来るように努めます。また、職員個々の日常業務に対しての評価を実施することにより、職員の意欲を高めます。

サービス内容の充実化

利用者本位のサービスを徹底し、様々な視点で利用者のニーズを把握し、ケアマネージャー・家族・他関係機関との連携を密にすることで、利用者の健康維持・身体状態の安定・生活意欲の向上を図ります。また、安心・安全のケアに重点を置き、利用者が笑顔でいられる環境、家族が安心して送り出せる環境を提供します。その他にも、機能訓練や創作、趣味、行事等の活動を通して、心身機能の活性化を図り、長く在宅での生活を継続することが出来るよう支援していきます。

利用定員 25名

沿革

- ・平成3年 3月29日長寿化の進展に伴い仙台市豊齢化社会整備計画が策定され、寝たきり高齢者対策の一環として、仙台市が実施主体となり開所される。
- ・平成3年 3月29日日本法人が基本事業及び訪問入浴サービス事業について受託運営を始める。
- ・平成6年 4月1日仙台市の方針により、基本事業のみの受託となる。
- ・平成12年 4月1日介護保険制度始まる。
- ・平成12年 4月1日通所介護サービス事業所の指定を受け業務を開始する。
- ・平成16年 4月1日仙台市の指定管理者として指定を受ける。

- ・平成18年 4月1日介護予防通所介護サービス事業所の指定を受ける。
- ・平成19年 4月1日仙台市の指定管理者として指定を受ける。
- ・平成24年 4月1日仙台市の指定管理者として指定を受ける。
- ・平成29年 4月1日仙台市の指定管理者として指定を受ける。
- ・平成29年 7月 機械浴設備 新機種導入。
- ・平成29年 10月1日介護予防・日常生活支援総合事業通所介護型サービス事業所の指定を受ける。

職員配置 (平成30年4月1日現在) 役職 職種 職員数

所長 1名・生活相談員(介護士兼務) 2名・准看護師 1名・看護師(非常勤嘱託) 1名
 介護士 6名・介護士(非常勤嘱託) 1名・理学療法士(非常勤嘱託) 1名
 運転手(非常勤嘱託) 2名 合計15名



静養室



図書コーナー



雛飾り



作品



玄関ホール(作品)



お食事会



節分豆まき



園芸センター
ドライブ



書道



お花見ドライブ



お食事会



仙台保育園児との交流会



沖野居宅介護支援センター



生きがい作りや地域福祉の為に
活躍できる場として機能

施設紹介

管理者
(主任介護支援専門員) 高橋奈緒子

沖野居宅介護支援センターは、平成12年4月1日介護保険制度の開始とともに開所しました。事務所は平成3年より開所している沖野老人福祉センター・デイサービスセンターに併設され、日中は地域の高齢者の方々が多く来館され、窓口で直接居宅へ相談に訪れる方もいらっしゃいます。

平成28年4月に管理者の変更があり心機一転地域に開かれた居宅を目指し邁進し始めました。

老人福祉センター来館者の方々より「地域包括支援センターとは?」「介護保険とは?」という質問を良く受けていたため、地域の方々に地域包括支援センターや介護保険制度の仕組みや、地域での活動について知っていただくことを目的に、老人福祉センター内に若林区内の地域包括支援センターの紹介コー



ナー、介護保険等に関する冊子を置くコーナーを設けました。結果「サークルに参加しました」「講演会に参加しました」、「冊子を見て勉強します」という声が聞かれ、地域の方々への周知につながっております。

地域連携として、沖野・六郷地区で開催される包括圏域会議への参加、沖野圏域での「認知症ケアパス沖野版」「ほのほの沖野見守りマップ」の作成に地域の方々や同業種の方々と関わり、完成後は「みまもりマップ・ケアパス委員会」が発足。現在は委員として参画し、地域住民の皆様へ向けた認知症の啓発活動に関わっております。

多職種連携として、若林区内で開催される研修や事例検討会の参加、各ケースにおいて医療・福祉・地域・各事業所による専門性を活かした支援でご利用者様が住み慣れた地域で安心して生活ができることを常に念頭に置き、日々の業務に努めております。

沖野居宅での多職種連携の一事例をご紹介します。

要介護4。寝たきり。認知面は支障なし。食事・水分の摂取量が少なく脱水を起こしやすく嚥下困難、ご自宅での生活を強く望んでいた方です。ご家族、医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士、介護福祉士、福祉用具専門員等と連携し支援を行いました。途中状態が悪くなり入院され在宅復帰が困難と思われましたが、ご本人・ご家族の強い意思で退院。ギリギリまで食べたいものを食べ、退院から3週間後ご自宅で息を引き取られました。ご家族より「望んでいた自宅で満足した看取りが行えた」「皆さんに支えられ心強かったです」という言葉を頂き支援を終結しました。



今後も地域包括支援センターを始め、地域・社会資源、医療・福祉関係との連携を密に、住み慣れた地域で快適に安心して生活できるように、その一助となれたらと思います。



所在地 984 - 0831 仙台市若林区沖野七丁目34 - 43

設置年月日 平成12年4月1日 宮城県指定 第0475300141号

目的

指定居宅介護事業の適正な運営を確保する為に、人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の職員が要介護状態にある高齢者に対し、適切な居宅介護支援のサービスを提供することを目的としています。

施設概要

沖野老人福祉センター・沖野デイサービスセンターに併設し事務室一角に事業所を置く。10.8㎡



運営方針

- ・事業所の職員は居宅要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活が営むことが出来るように利用者の心身の状況、その置かれている環境に応じ、利用者及びその家族の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して事業を行うものとしています。
- ・事業の実施に当たっては、関係市町村、在宅介護支援事業者、指定居宅サービス事業者及び介護保健施設等との連携を図り、総合的なサービスの提供に努めています。

利用者数 (平成30年8月1日現在) 要介護：66名、介護予防：13名

沿革

- ・平成12年4月1日介護保険制度の開始とともに開所する。事務所は平成3年開所の沖野老人福祉センター・沖野デイサービスセンターの併設。所長は沖野老人福祉センター・沖野デイサービスセンターの所長が兼務で就任する。
- ・平成19年4月制度改正により管理者として介護支援専門員を置くこととなる。
- ・平成30年4月制度改正により管理者として主任介護支援専門員を置くこととなる。

職員配置 (平成30年4月1日現在) 役職 職種 職員数

所長(沖野老人福祉センター館長、沖野デイサービスセンター所長と兼務) 1名
 管理者(主任介護支援専門員) 1名・介護支援専門員 1名 合計3名

90th Anniversary 児童福祉事業



仙台保育園



運動会

「子どもたちの幸せを願う」
仙台保育園

施設紹介

保育の歴史と共に

園長 高野 誠

仙台保育園は、昭和13年7月に託児所から保育所に改め、昭和23年12月に厚生省より認可を受け仙台保育所としてスタートしました。名前に仙台という地名が入るくらい歴史がある保育園なのです。

保育所保育指針は、保育所保育の基本となる考え方や保育のねらい及び内容など保育の実施に関わる事項と、これに関連する運営に関する事項について定めたものであり、昭和40年8月に策定されて以来、平成2年3月改訂では、養護機能の明確化・保育内容の年齢区分の細分化・保育内容の改正（6領域→5領域）等、そして、平成11年10月改訂では、子育て支援、職員の研修、保育士の保育姿勢、SIDS予防、児童虐待対応等、平成20年3月改定では、保育所保育の特性



かぶの収穫

(養護と教育の一体的展開等)の明確化・保育課程の編成・自己評価の実施及び結果の公表・小学校との連携・保護者支援・職員の資質向上、施設長の責務等がその時代時代に合わせ明示されていました。そして、今回の30年度4月1日より適用されている保育指針は、「量」と「質」の両面から子どもの育ちと子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」の施行、0～2歳児を中心とした保育所利用児童数の増加、子育て世帯における子育ての負担や孤立感の高まり等を受け改定されました。

そんな保育の歴史と共に、仙台保育園では時代時代に合った保育ニーズに応えるよう努力してまいりました。仙台保育園の歴史を作ってきた先人たちの子どもと保護者を思う気持ちが、現在まで脈々とつながり待機児童対策のための定員増や休日保育、病児病後児保育事業と形になっているのだと思います。

最近、新設された保育園には珍しい広い園庭を持つ仙台保育園は、移転3年目を迎え日々、元気な子ども達の声が響いています。旧園舎にあった樹齢100年を超えるカエデの木が器になって子ども達の成長を見守っているように、私たち職員は、今までがそうだったように、これからも保育の歴史と先人たちの思いが脈々と流れる「子どもの幸せを願う」仙台保育園としてこれからも歴史を刻んでまいりたいと考えています。



あそびうたコンサート



なつまつり



誕生会



まめまぎ会

所在地 仙台市若林区南鍛冶町96-8

設置年月日 昭和13年7月1日

目的

児童福祉法に基づき仙台市長の委託により保育に欠ける、又は保育を必要とする乳幼児を保育する。

施設概要 (主たる設備)

屋外：砂場、ジャングルジム、プール大小、鉄棒、お絵かきハウス、二輪車、三輪車、スクーター、砂場セット、花壇、畑、ベビーカー、避難車、物置、テント

屋内：児童用机、椅子、可動式ステージ、放送設備、ラジカセ、テレビ、プロジェクター、ピアノ、キーボード、空気清浄機、除菌洗浄水生成器、エアコン、暖房便座、緊急地震速報装置、洗濯機、乾燥機、巧技台、マット、移動式鉄棒

給食：大型冷蔵庫、食器洗浄機、電子レンジ、まな板殺菌消毒庫、ダムウェイター、調理台、スチームコンベクション、ラビットチラー、洗濯機

病児・病後児保育室ばんだ

屋内：冷蔵庫、テレビ、エアコン、空気清浄機、パルスオキシメーター、セラミックヒーター、フロアマット、ジョイントマット、パズル、プレイジム、ポポちゃん人形、プラレール、ブロック

理念

- 未来を担う子どもの最善の利益を考慮し子どもの成長の喜びを保護者と共有します。
- 家庭的なあたたかな雰囲気の中で一人ひとりを大切に、情緒の安定を図り主体的に活動出来るようにします。

入所定員 110名(現員110名) 3歳未満児51名 3歳以上児59名

沿革

その1

経済不況の昭和初期頃は、生活困窮者は、夫婦共稼ぎの労働によって生活を支え、母親は河原の砂利採取の働きにも幼児を連れて河畔で遊ばせながら作業する実状であった。そこで、常設託児所の必要性を痛感した泰心院住職 高橋喜仙氏が、労働者が安心して就労出来るよう託児所設置経営を宮城県社会事業協会に陳情した。その趣旨に同意が得られ、寺院境内の元梅檀中学校前宿舍建物を改造修理することとし、その改造費及び設備費は県社会事業協会が負担し、昭和5年7月に開所式を挙行了。初代所長に高橋喜仙氏を起用、託児所として発足した。

昭和13年7月

仙台市社会事業協会で引き受け託児所から保育所に改め、保母増員及び保育内容も充実させる。

昭和23年12月

厚生省より仙台保育所として認可を受ける（定員50名）

昭和34年7月

定員を50名より60名に改め保育室、給食室を増改築する。

昭和48年12月

仙台保育所より仙台保育園と名称を改める。

昭和57年1月

園舎の老朽化に伴い、新園舎に改築



交通安全教室

その2

平成2年

管理人室を0歳児室に改築する。

平成6年4月

地域活動事業の一環として、同協会内事業所、沖野老人福祉センター及び沖野デイサービスセンターをはじめとする世代間交流を開始する。

平成7年10月

午後7時までの延長保育を開始する。

平成8年4月

障害児保育を開始する。

平成12年6月

12時間保育を開始する。（午前7時15分～午後7時15分）

平成14年10月

休日保育を開始する。（午前8時～午後6時）



お茶会

その3

平成27年4月

休日保育の11時間保育を開始する。（午前7時30分～午後6時30分）

平成28年4月

旧園舎隣地の南鍛冶町市営住宅跡地に新築移転に伴い定員を60名から110名に増員。
仙台市より委託を受け、園舎の一部にて病後児保育室「ぱんだ」を開設。

平成29年1月

病後児保育室「ぱんだ」から、病児・病後児保育室「ぱんだ」に変更。

職員配置（平成30年4月1日現在） 役職 職種 職員数

仙台保育園

園長1名・主任保育士1名・副主任保育士4名・保育士5名・嘱託保育士12名

短時間保育士2名・栄養士1名・調理員2名・短時間調理員2名

短時間業務員2名・嘱託医（小児科・歯科）2名 合計34名

病児病後児保育室「ぱんだ」

嘱託保育士1名・嘱託看護師1名・短時間看護師1名・嘱託医（小児科）1名 合計4名



修了式



運動会



クッキング



ボディーペインティング



わらべうた遊び



ゆき遊び



外遊び



クリスマス



発表会



ひなまつり会



砂遊び



みずあそび

ジャガイモの収穫

旧園舎から新園舎へ



懐かし旧園舎



旧園舎での夏祭りの様子



思い出の園舎に寄せ書き



新園舎工事中!!



新旧園舎のツーショット!!



旧園舎お別れの会



旧園舎解体 そして、新たなスタートへ

かえでの木プロジェクト



仙台保育園の園庭で長年、子ども達を見守ってきたかえでの木。ただ切り倒されて始末されるのは忍びないと、庭の樹クラフトの鈴木さんや岩手県九戸郡洋野町の大野木工生産グループに伐採予定のかえでの木を木の器に加工できないかと相談したところ、大丈夫、出来ますと快くお返事をいただく事ができました。お陰様で、今では新園舎での給食の際に器として使用されています。かえでの木は、形こそ違うものの引き続き子ども達を見守ってくれています。そのかえでの木に対する職員の思いが、河北新報の記事にもなりました。また、そのかえでの木の種が飛んで芽が出て育っていたかえでの木の子ども。旧園舎の物置の脇で、ひっそりと育っていました。新園舎の園庭に移植したかったものの物置の基礎コンクリートもあった事から新園舎への移植は難しいとされていました。しかしながら、かえでの木の伐採に関わってくれた(株)大松園の社長さんが、何とかしましよと言ってくれて見事、後日、新園舎園庭に移植。そして、大野木工生産グループの関向さんを中心に、さらに発展させて、この話を絵本にしようとして現在進行形で進んでいるのが『かえでの木絵本プロジェクト』。仙台こども造形研究所の村上さんと宮城教育大学の学生さんたちの協力をいただきながら絵本製作を進めています。

いまだにかえでの木の物語は続いています。



かえての木の子どもの新園舎への移植も無事終了！

太いなあ…

平成28年3月6日の河北新報朝刊に掲載していただきました



※左から「モミジさん」の移転先である新園舎と、移転前の旧園舎の様子。

モミジさん さようなら

仙台保育園 移転に伴いシンボル伐採

仙台市若林区南原町の仙台保育園、園のシンボルだった樹齢約100年のモミジが、移転に伴って伐採された。園児たちがお別れ会で感謝の気持ちを伝えた。今後は、樹皮付きの薪などに加工して活用する予定。形を変えようとする私たちのそばに居続ける。

樹齢100年 移植も困難

園庭の東側にあったモミジは高さ9・5メートル、幹回り1・8メートル、園舎と、かつて周辺は樹木が何本もああったが、現在の園舎建設の際に切り倒され、モミジだけが残った。緑の葉が覆う夏は涼を供給し、秋には園児らが「今まではモミジが、たき火をし焼き芋を焼く」と木をねぎらった。その

器に再生 園児のそばに

切ったモミジの薪木が育つように育てたいと、これを新しい園庭の業務員の斎藤孝子さんに預かる予定だという。63は「昔に葉が黄緑色に色づく姿がとても好き。秋の早朝、園庭一面に赤い葉が散っているのもきれいだ。肥料などにして全て生かす。動物の命の大切さを多くの人に知ってもらいたい」と話す。

仙台保育園「かえでの木」食器加工プロジェクト

- 品名 幼児どんぶり
- 素材 かえで材
- 規格
 - ・塗装方法 クリア
 - ・径 φ 1,450 mm
 - ・高さ H 650 mm
 - ・重さ **193g**
 - ・容量 350ml(八分目量)



左・かえでクリア(仙台) 右・クリ着色(中山)

<他類似食器比較>

	仙台保育園型	中山保育園型
・素材(樹木)	かえで	くり
・塗装方法	クリア	着色
・径(φ)	1,450	1,500
・高さ(H)	650	700
・重さ(g)	193	160
・容量(ml)	350	370



※上記、「かえでどんぶり」(左)は塗装前の仕上げ状態

<特徴等>

・園庭のかえで材は100年を超える樹齢であり体内含水量が著しく多く、各乾燥工程時間は通常樹木の3~4倍要した。

・また、導管の大きさから、「粗練り」~「中練り」材の乾燥工程時の「木の動き」(収縮やひねり等)が大きく、既製の「幼児どんぶり」(中山型)より、小ぶりに仕上がっている。

・「かえで」そのモノの木の固さや重さから、「どんぶり」の仕上がり状は、他の食器等に比べて**1.2倍**の重量となった。



乾燥が完了した「中練り」材



ロクロにて、仕上げ作業中(8月完成目標)

柏木保育園



さつまいも掘り

愛情をたっぷり注ぎ心豊かに
育つ様保育へと努めます

施設紹介

地域と共に

園長 高橋すい子

柏木保育園は仙台市街地に有り、バス路線を挟んで南西側には東北大学病院が隣接しております。地下鉄南北線や市営バスの本数も多く利便性が良い環境に立地されております。

保育園は今年度で40周年の節目の年を迎えます。その間、利用される児童や保護者、地域の皆様や関係機関等多くの方に支えられ、お力添えを賜りました。開園当初は90名定員でスタート致しましたが社会情勢の変化と共に施設の増改築、保育時間延長、乳児の受け入れ、障害児保育等、保育所の制度の改定など世の中の動きに合わせて変遷を遂げて来ました。2011年3月。未曾有の大震災。頑強な地盤上の建物は大きな損傷も見られず、落下物も殆どありませんでした。その時、児童も震災時の恐怖と寒さに耐え、身の安全を図り



保育園駐車場側のグリーンカーテン

ながら、保護者の迎えを待ち、側に居た保育士と共に寂しさと恐怖を歌で紛わせ精一杯頑張った時でした。あれから7年のときを経ましたが、震災から得た教訓をいまの保育へと活かしております。ここ数年の保育業界を取り巻く環境は待機児童の解消・保育内容の見直しが図られる事を余儀なく迫られる転換期を迎えております。2017年は「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」、そして「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の3法令が改定された大きな節目の年でした。保育指針が2017年3月31日に告示、改定された保育園の新「保育所保育指針」が2017年4月1日から施行された年でした。柏木保育園でも地域性等の特徴を生かし新指針に基づいた保育をめざします。柏木保育園は国の提唱の下、食育の推進を強化し、園外に畑を求め荒巻地区に2か所大きな畑を借りて数々の野菜を植え、子ども・保育士・給食職員・保護者等と収穫までの生長と管理を手がけ収穫する喜びを感じ芋煮会、やきいも会、日々の保育で新鮮野菜を食する感動を味わいました。子どもの科学する目・クッキングすることの楽しさ・味わう楽しみ等を食育の活動を通し学ぶことが出来ました。[自然に触れる経験で心の育ち・身体の育ち]を大きい学びとして享受したと思われまます。今後も乳幼児の大事な時期に関わる者の責任として子ども達の心身の根っこが大きく育つことが出来る様、心が満たされる愛情をたっぷり注ぎ心豊かに育つ様保育へと努めます。また、柏木で培われた、柏木神輿・すずめ踊り・和太鼓などの伝統を次世代へ継承しつつ、子ども達の有形無形の財産として心豊かな大人へと成長することを願いながら職員一同が努力をしていきます。



< 保育園の畑 > …採れたてトマト



柏木農園収穫野菜



芋煮会クッキング



おいしい芋煮完成



餅つき会



荒巻中央に借りた柏木農園

所在地 仙台市青葉区柏木一丁目5番35号

設置年月日 昭和54年5月1日

目的

児童福祉法に基づき保育を必要とする就学前の児童に対し適正な保育・教育を提供することを目的とする。

運営方針

保育所保育指針（平成29年厚労省告示第117号）に準じて乳幼児の心身の状況等に応じた保育を提供する。

保育目標

- ・いきいきとした明るい子ども
- ・心豊かな子ども
- ・丈夫で体力のある子ども
- ・意欲のある子ども

※十分に養護の行き届いた環境とくつろいだ雰囲気の中で、子どもが楽しく過ごせるよう配慮しながら、生命の安全と情緒の安定を図っていく

※健康・安全・生活に必要な習慣、態度を遊びや人との関わり体験を通して身につけていく。

※子どもが毎日の生活を楽しいと実感でき、明日へつながる意欲と期待の持てる保育を心掛ける

施設の概要

設置主体	社会福祉法人 仙台市社会事業協会	
施設の種類	保育所	
定員	120名（131名）	
建物構造	鉄筋コンクリート造3階（内2・3階母子生活支援施設） 新園舎 木造平屋	
保育室等	乳児室	92.06㎡
	ほふく室	90.37㎡
	2歳児保育室	105.71㎡
	3歳児保育室	45.88㎡
	4歳児保育室	57.97㎡
	5歳児保育室	57.97㎡
	遊戯室	2歳児室・以上児クラスに有
	厨房	30.29㎡
	事務室	47.98㎡
	沐浴室	1.64㎡
	倉庫	6.16㎡
園庭	470㎡	

職員配置（平成30年4月1日現在）

役職 職種 職員数 合計37名

園長	1
主任	2
副主任	2
保育士（延長担当含む）	23（常勤17 短時間6）
栄養士	1（常勤）
調理員	4（常勤2 短時間2）
看護師	1
事務員	1
医師（嘱託）	小児科医 歯科医



ひな祭りお茶会

沿革

仙台市社会事業協会設立50周年事業の一環として、又近年の社会経済情勢の変化に伴う共働き家庭、離婚等による母子家庭の増加傾向とともに、地域においての保育所設置の要望も強く、その重要性に鑑み、本協会にて緊急協議の結果、旧仙台母子寮跡に鉄筋コンクリート3階建築とし、その1階部分を保育園、2,3階部分を母子寮とすることを決定する。

- 昭和53年2月 県と市の協力により厚生省に補助工事協議書を提出する。
- 昭和53年11月6日 県より内示通達がある。
- 昭和53年11月18日 入札の結果
建設工事（佐藤工業株式会社仙台支店）衛生給水工事（理研綱機株式会社）電気工事（仙陽電気株式会社仙台支店）の3社が落札する。
- 昭和53年11月22日 地鎮祭を行う。
- 昭和54年3月31日 竣工。
- 昭和54年5月1日 設置認可を受ける 仙台市49番目の保育園として誕生する。
- 昭和54年5月9日 入園式を行う。 入園児童数83名。
- 昭和54年5月15日 保育園、母子寮合同落成式を行う。
- 昭和55年4月1日 児童数定員の90名となり保母1名増員する。
- 昭和57年7月1日 仙台市内の保育所として初めて保父（男性保育者）を採用。保育に活力と広がりができる。
- 昭和63年4月1日 保育時間延長（午前7時30分から午後6時迄前後30分ずつ）に伴い保母1名増員する。
- 平成5年4月1日 老人福祉施設訪問等世代間交流事業を開始する。（仙台長生園・仙台楽生園・葉山デイサービスセンターとの訪問、招待交流会）
- 平成6年10月 園庭拡張工事を行う。園庭面積17190㎡広くなる。
- 平成7年6月1日 午後6時を超える特別時間延長保育を開始する。（午後6時から午後7時までの1時間）
- 平成11年5月 開園20周年記念誌発行

平成11年11月	11時間開所（7：00～18：00）
平成12年12月	乳児室等増改築
平成13年3月	以上児のトイレ改装
平成13年9月	未満児のトイレ及びシャワー室改装
平成14年8月	ボイラー交換工事
平成15年6月	下水管取換工事
平成16年2月	フェンス工事
平成16年4月	2歳児トイレ新設工事
平成19年4月	窓ガラスフィルム貼り工事
平成24年6月1日	園舎増改築により定員90名から120名に変更する。 新園舎開園
平成24年6月2日	新園舎 入園式（4・5歳児保育室）



お花見散歩



プール遊び



ぞうさんスライダー



フィンガーペインティング



ちょっとー息おいしいアイス



かしわぎ太鼓



保護者有志による打ち合わせ太鼓

どろ団子つくろう



すずめ踊り



かしわぎ伝統神輿



クリスマス会食



そり遊び

富沢わかば保育園



安全で安心な子育てを
支援していく施設

施設紹介

地域の子育て拠点として

園長 庄子美智子

富沢わかば保育園は、追廻保育園の廃園と共に富沢の地に移転新築してから、27年目を迎えました。移転した頃の富沢地区は、地下鉄南北線が出来たばかりで、まだ田んぼや畑が多くあり、高いマンションもなくのどかな地域でした。

平成も30年を迎え、周りの様子は一変しました。宅地が進み、田んぼや畑はなくなり、いまや仙台市で太白区が一番の待機児童が多くいる地域です。

27年度に保育制度が大きく変わり、仙台市は待機児童対策として保育所の他に認定こども園や小規模保育園等、施設が様々増えました。子ども達を取りまく環境は年々変化していきませんが、富沢わかば保育園はこれからもこの土地で安全で安心な子育てを支援していく施設として更に職員一同向上していきます。



所在地 仙台市太白区富沢二丁目5番22号

設置年月日 平成4年4月1日

目的

児童福祉法に基づき、仙台市長の委託により、保育に欠ける、又は保育を必要とする乳幼児を保育する。

施設概要 追廻保育園廃園（平成4年3月）と同時に移転新築した。

平成4年3月31日竣工落成 鉄筋コンクリート2階建て 469㎡
 土地 仙台市有地 127,930㎡ 無償貸与 30年間 建設費用 122,869,000円
 内訳 仙台市補助金 59,528,000円 自転車振興会 45,594,000円
 法人負担資金 17,747,000円

理念 保育の目標

<基本方針>

十分に養護のゆきとどいた環境の中で心身ともに安定して、毎日いきいき活動でき、望ましい将来をつくりだす力の基礎を培う。

<処遇方針>

- ・子どもが心身ともに安定した生活が出来る環境を用意すると共に体力増進や運動機能の発達を図る。
- ・自己を十分に発揮しながら活動出来、人とのかかわりの中で思いやりの心や協調心を育てる。
- ・様々な体験を通して豊かな感性や創造性の芽生えを育てる。

入所定員 60名（現員71名）内訳3歳未満児 27名
 3歳以上児 44名（うち障害児3名）

沿革

富沢わかば保育園の前身である追廻保育園は園舎の老朽化と園舎背後の青葉山の崖崩れの危険性から移転候補地を求めたが、近隣に適地がなく、富沢地区の市保有地の無償貸与を受けることとなり、日本自転車振興会及び私立保育所施設整備助成をうけ、平成4年4月開園に至る。当地は近来、住宅地として急速にひらけたことから乳幼児、特に産休明け保育を含む乳児保育は空白地域になっており、その保育需要は大変高い。又、国道286号線に近く、地下鉄富沢駅にも至近距離にあって交通の便利に恵まれており利用しやすい立地条件にある。

- ・平成5年4月より乳児指定保育所となる。
- ・平成5年9月より園庭暗渠工事
- ・平成8年2月より二階バルコニー・バイオクッション敷設。
- ・平成8年4月より特例A型延長保育開始（午後7時まで）
- ・平成9年4月より特別保育科目設定実施事業として「地域の特性に応じた保育需要への対応」を実施。

- ・平成10年4月より障害児保育を開始。
- ・平成19年4月よりフッ素洗口を始める。
- ・平成19年8月より二階バルコニー・ゴムチップ敷設
- ・平成19年11月より幼児用暖房便座取付。玄関アプローチ、ゴムチップ敷設
- ・平成23年3月に東日本大震災が起き、地割れと地盤沈下が見られる。
- ・平成26年10月に2歳児トイレ床と排水工事。
- ・平成27年11月に給食室も排水工事を行う。同時にすべての照明設備をLEDにする。
- ・平成27年4月 「子ども・子育て新制度」スタート
- ・平成29年4月 ダムウエターの修繕を行う。

設備概要

- 屋外 総合遊具一式、太鼓橋、鉄棒、傘型登棒、ジョイントプール、三輪車、二輪車、散歩車、ハトの水飲場、サッカーゴール、砂場、砂場道具、運動会用品、クライミング。
- 屋内 ピアノ、グラビノーバ、ハモンドジュニア、卓上キーボード、CDラジカセ5、テレビ2、ビデオカメラ、デジカメ4、音響装置一式、放送装置一式、木製テーブル18、園児椅子90、ベビーベット3、おむつ交換台、巧技台セット、室内遊具多数、ままごと、ブロック、マグホーマー、絵本多数、紙芝居多数、児童文化財多数、楽器一式、ハンドベル、雛人形七段飾り、五月人形、鯉のぼり一式、法被等、幼年消防用法被（年中・年長児分）、
- 一般 床暖房全室、冷房設備全室、給湯設備全室、事務机10、事務椅子10、ミーティングテーブル、コピー機、耐火金庫、電話機、パイプ椅子、
- 衛生 静養ベッド、洗濯機、乾燥機、掃除機2、体温計10本、沐浴設備、シャワー設備
- 給食 給食設備一式、スチームコンベクション、冷凍冷蔵庫、食器洗浄機、ダムウエター、殺菌灯、

職員配置（平成30年4月1日現在） 役職 職種 職員数

園長1名・主任保育士1名・副主任保育士2名・保育士7名・嘱託保育士6名
短時間保育士2名・管理栄養士1名・嘱託調理員2名・嘱託業務員1名

非常勤嘱託医（小児科）鈴木カツ子

非常勤嘱託医（歯科）山崎光利

合計25名



開園当初からシンボルの赤い三角屋根です



皆で一緒！楽しいね！



ボールプールどこから入ろうかな！



長年の功績「虫歯予防」が認められ表彰されました。



エプロン付けて枝豆はじき！



広い砂場で葉っぱのままごと楽しいね！



緑と茶色のコントラストがきれい！



三角屋根からの見晴らしは最高！

中山保育園



未来を担う子ども達
が幸福であるように……

施設紹介

地域に結ぶ

園長 櫻間美智子

本年、平成30年4月1日より新生中山保育園がスタートしました。平成23年3月11日の東日本大震災では園舎、園庭とも甚大な被害を受け、全面建て替えが終了した平成25年4月1日より仙台市の委託の下、『仙台市中山保育所』という公立保育所時代そのままの名称で5年間運営してきましたが、今年度より当法人4つ目の保育園として、名称も新たに中山保育園と改め再始動です。

当園は地域に根差した保育園として、昭和48年に開所から今日に至るまで親しまれている保育園で、特に地域の老人会の皆さんとは夏祭り、運動会、発表会といった季節の行事はもとより食育活動の一環として行っている畑を使った野菜作り等にも知恵と力を貸していただいたりと多岐にわたって支援してい



ただいています。又、すぐお隣に中山小学校がありお散歩や行事に招いていただいたり卒園児がお世話になったりこれ又、心強い存在となっています。その他敷地内に有している畑としては青葉区内随一の規模を誇る畑があり、給食から出る残菜で作るコンポストを使った堆肥作りから始まる栽培活動は大きな保育の目玉となっています。又、“わらべうた会”や“おはなし会”といった長年愛されてきた保育教材を大切に継承しています。

保育所発足から半世紀近く、当時とは社会情勢や地域も大きく様変わりし、スピードや効率が優先される世の中となってしまいましたが、『人を育てる。』という事の根幹は少しも変わることがありません。“未来を担う子ども達が幸福であるように、人として生きる事が楽しいと思えるような人生が歩める”ように、翻って保護者の皆様には安心して頼りにしてもらえる様、職員一同心して励みたいと思います。



わらべうた みんなで一緒に体と頭の体操!?



おはなし会 優しい声にみんなほっこり



所在地 仙台市青葉区中山1丁目6-2

設置年月日 昭和48年4月1日

受託年月日 平成25年4月1日

目的

児童福祉法に基づき、仙台市長の委託により市内の保育に欠ける又は、保育を必要とする乳幼児を保育する。

施設概要

[構造] 鉄筋2階建て [敷地面積] 1,894.5㎡ [延床面積] 429.57㎡
[主たる設備]

<保育用>

屋外：砂場、滑り台、ジャングルジム、太鼓橋、プール大小、鉄棒、物置、テント、二輪車、三輪車、スクーター、引き車、砂場セット、花壇、

屋内：児童用机、椅子、放送設備、CD、MD、ラジカセ、テレビ、巧技台、マット、跳び箱、臼、杵、エアコン、洗濯機、

給食用：大型冷蔵庫、食器洗浄機、電子レンジ、まな板殺菌消毒庫、ダムウエーター、湯沸し器、調理台、食器戸棚、エアータオル、スチームコンベクション、洗濯機

理念(目標、基本方針)

保育理念：私たちは一人一人の子どもの最善の利益を第一に考え、その福祉を積極的に増進するように努めます。

保育の基本方針：*子ども一人一人を大切にし、様々な体験や人との関わりを通して心身に健康で豊かな人間性を持った子どもの育成に努めます。

*“子どもの生きる力の基礎を培う” 保育を目指して発達に応じた遊びを取り入れ一人一人の育ちを援助します。

*家庭や地域の方々との連携を常に図りながら保護者が安心して預けられるように共に協力し合い共に育て、支援して行くことを念頭に置き保育にあたります。

保育目標：“すこやかに今を生き、力強く未来を生きる子どもを育てる。”

～生きる力の基礎を培う～

- ・人の気持ちがわかる子ども
- ・豊かに感じて表現する子ども
- ・自分で考えて行動する子ども
- ・自分の体を大切にする子ども
- ・友達と力を合わせる子ども



入所定員 70名（現員 82名 平成30年4月1日付）
 内 訳 3歳未満児 33名
 3歳以上児 49名（うち 障害児1名）

沿革

昭和48年4月仙台市立の公立保育所として、発足する中山地区が新興住宅地として開発が進む中、隣接する中山小学校と共に中山地区の拠点保育所となる。住宅地として急速に開けた事から保育需要度は非常に高いものであった。

- 昭和 48年 4月 仙台市中山保育所として開所（定員90名）
- 〳 60年 4月 障害児保育開始 統合保育拠点保育所となる。（定員60名に変更）
- 〳 63年 4月 延長保育開始
- 平成 8年 4月 午後6時を超える延長保育開始
- 〳 9年 4月 保育室改築（定員70名に変更）
- 〳 15年11月 保育所改装
- 〳 23年 3月 東日本大震災により被災
- 〳 23年 8月 国見の丘の仮園舎に移転
- 〳 25年 4月 仙台市の運営委託を受け、社会福祉法人 仙台市社会事業協会が新園舎での保育開始
- 〳 30年 4月 社会福祉法人 仙台市社会事業協会運営施設「中山保育園」となる。

職員配置（平成30年4月1日現在） 役職 職種 職員数

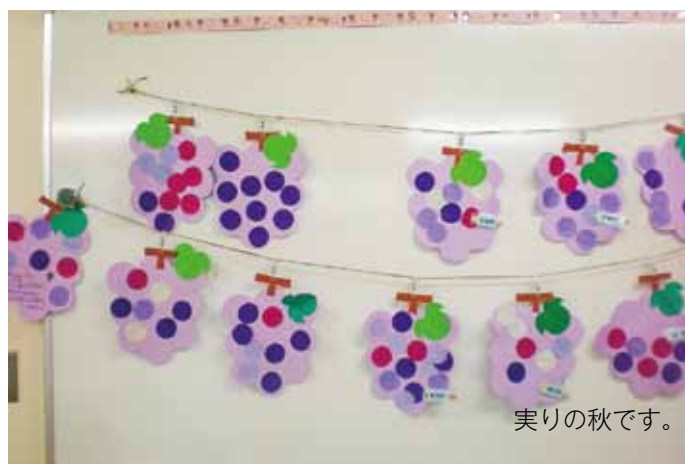
園長1名・主任保育士1名・副主任保育士2名・保育士6名・嘱託保育士7名・栄養士1名
 調理員1名・嘱託調理員2名・嘱託看護師1名・嘱託業務員1名 合計23名



♪どこかーら、食べよかな～



食育活動 さすが！おじいちゃん、上手だね～



実りの秋です。



お給食できたよー!!!

平成26年



0歳児 給食の時間 いっぱい食べるぞー！



4・5歳児 朝のあつまり 次は何の曲？



栽培活動 ジャガイモさん大きくなーれ？



栽培活動

平成27年



運動会 ちょっとりドキドキ、皆さん応援よろしくお願いします。



発表会 先生達も頑張っているよ。

平成28年



就職ガイダンス 翌年に向けて新職員募集中？



さくらの花 3年目の桜です。

平成29年



裏庭にて みんなで内緒話？



豆まき会 福の神登場

平成30年



プールあそび 3人の河童出現!!



5歳児 製作活動 夏祭りシャボン玉楽しかったね!

母子生活支援施設仙台つばさ荘



つばさ荘建物全体とても生活しやすい場所に立地しています

生活するにはとても便利で
安心できる場所

施設紹介

はばたけ！母と子の未来 共に豊かな子育てを

施設長 菅田 賢治

仙台つばさ荘は仙台駅からのアクセスも良く、近隣には東北大学病院をはじめとする医療機関も多く、小学校、中学校は徒歩5分の近さであり、また歩いて15分かからないところに保育園が数か所、児童館も2か所あります。さらにスーパーなどもあり、生活するにはとても便利で安心できる場所にあります。

仙台つばさ荘の支援は

- ①母親支援・・・入所前のDVや虐待など不安定な家庭環境から入所した母子に対し、安心できる環境での生活をもとに、今後の自立まで、道のりの歩みを共に進めていきます。環境の変化が大きい入所初期はより丁寧に関わり、信頼関係の構築に努めます。そこから、母子のニーズや課題に添って日



母子居室です。日当たりばっちりです。

常生活の支援、離婚に向けての支援、就労支援、DV被害や虐待からの回復の支援、不適切な養育に対する支援や母子関係の関係調整の支援などを行っています。母自身が抱えている生きづらさや人間関係の難しさを持った方が、「否定されない、排除されない環境」のなかで、自尊心や自己肯定感を高められるような支援に努めています。また切れ目のない支援としてアフターケアも実施し、退所した母子の地域での生活を見守り支援できるようにしています。

②乳幼児支援・・母親が安心して働くことができるよう、残業になっても職員が代行でお迎えに行ったり、保育園が待機児童になっても施設で保育をする施設内保育、病児保育、また隔月でレスパイト保育など行っています。また育児負担や母の状況に合わせた保育も柔軟に行っています。子ども一人ひとりの成長を見守る中で、母親が育児の喜びや自信を実感できるような保育に努めています。

③学童への支援

- ・学童保育:学校から帰宅後、また土日祝・夏・秋・冬休みには学習室で遊びや学習指導を行っています。子ども達それぞれの個性を大切に、発達障がいなどの特性を持つ子どもへも柔軟に対応しています。また暴力のない大人や環境の中で健やかな心身の成長や発達ができるよう支援しています。
- ・子ども会では、お花見会、七夕子竹飾り、夏合宿、流しそうめん大会、ハロウィン、調理実習、スキー教室、社会科見学、文集作り等行事を通して自主性・社会性・創意工夫する力を養い、豊かな感情と自己肯定感を育むよう支援しています。
- ・思春期の中高生は個別対応を行っています。

④心の支援・・心理担当職員がDV被害の母親や虐待を受けた子どもに対する心のケア



8月の夏祭りはにぎやかです。みんなで輪になり盆踊りもします



カウンセリングルームゆっくりお話ができるところです。



ゆっくり入れる大きなお風呂

を行っています。特に子ども達に対してはアートセラピーなどの心理療法を実施しています。

***楽しい3大行事**

- ・ **夏まつり** 職員手作りのゲーム、子ども会の出し物、恒例の抽選会、そして何より、母子も職員も地域のお客様も一緒に輪になって踊る盆踊り
- ・ **日帰り旅行** ベニエランドや水族館、温泉など子どもも母も楽しめる場所
- ・ **親子クリスマス会** かわいい幼児の出し物、一生懸命練習した子ども会の出し物には思わず感動、そしてつばさ荘の一番の自慢は、子ども達や地域の来賓の皆様に見せてくれる母たちの歌やダンスなどの出しもの。圧巻です。食事のあとのサンタさんからのプレゼントに目を輝かせる子ども達の姿。笑顔いっぱい的一天です。



子どもが作った子竹飾り・一番町に飾ります



学習室
小中高生が勉強したり、遊んだりできるお部屋です



夏祭り今年はどんなゲームがあるかな。



玄関かわいいマットがお出迎え

所在地

仙台市青葉区柏木1丁目5番35号

市営バス ・ 仙台駅前西口バスプール9番
 子平町經由北山行き 東北会病院前下車 徒歩3分
 北山經由子平町行き 東北会病院前下車 徒歩2分
 地下鉄南北線 ・ 仙台駅→北四番丁駅 下車徒歩15分

設置年月日 昭和16年7月1日開所

目的

児童福祉法第38条の規定に基づき、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその女子の監護すべき児童を保護するとともに、自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した母子について相談その他の援助を行うことを目的とする。

施設概要

鉄筋コンクリート3階建 2階(533.50㎡) 3階(533.50㎡) (1階は柏木保育園)

居室は1DKタイプ(8畳+DK)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ①玄関位置は、1階東側に面している(8㎡) | |
| ②2階 居室 10室(273.00㎡) | 3階 居室 10室(273.80㎡) |
| ③2階 事務室 1室(26.00㎡) | 3階 会議室・カウンセリಂಗルーム(27.58㎡) |
| ④2階 面談室 1室(12.30㎡) | 3階 物置 1室(12.30㎡) |
| ⑤2階 宿直室 1室(9.00㎡) | 3階 学習室 1室(25.06㎡) |
| ⑥2階 浴室 1室(7.70㎡) | 3階 浴室 1室(7.35㎡) |
| ⑦2階 脱衣室 1室(7.35㎡) | 3階 脱衣室 1室(10.85㎡) |
| ⑧2階 物置 12室(26.95㎡) | 3階 物置 10室(22.45㎡) |
| ⑨ボイラー室 1室(10.85㎡) | 3階 倉庫 1室(10.85㎡) |
| ⑩2階 廊下 (66.56㎡) | 3階 廊下 (75.56㎡) |
| ⑪2階 その他 (66.49㎡) | 3階 その他 1室(66.35㎡) |
| ⑫2階 保育室 1室(18.70㎡) | |

理念

1. 母親と子どもへのあらゆる人権侵害を許さず、母親と子どもの権利と尊厳を擁護します。
2. 母親と子どもの自立に向けた考えを尊重し、その歩みを共にしながら、安心・安全な環境の中で、母親と子どもを支えることを目指します。
3. 母子生活支援施設運営指針を規範とするより良い施設運営を目指すとともに、職員研修の基本方針に基づき職員の専門性の向上に努めます。
4. DV被害者や被虐待児の保護と支援の拡大のため、広域入所を含めた利用率の向上に努め、安定した施設経営を目指します。

入所定員 20世帯

沿革

名称 興亜寮（平成24年、仙台母子寮改称）

住所 仙台市青葉区柏木1丁目5番35号（旧 北七番丁49番地）

建物の構造は、木造モルタル塗り2階建

定員 14世帯

軍人遺族の母子世帯を対象とした軍事扶助上の保護を目的とした。

昭和22年 児童福祉法の制定（昭和23年施行）

仙台母子寮

昭和24年4月1日 旧（興亜寮）を仙台母子寮に改称する。

昭和24年4月1日 宮城県指令第358号基準認定により厚生省の許可が下る。

昭和39年度 住宅難ニーズに応じて14世帯から17世帯に増改築

昭和53年10月 老朽化甚だしい上、宮城県沖地震のため二次災害のおそれもあるので本協会創立50周年記念事業の一環として増改築を決定

昭和53年11月22日 着工 昭和54年4月25日竣工

同時に1階柏木保育園（定員90名）の併設

昭和55年4月 斎藤ヤス定年により寮長退任、越後隆寮長に就任する。

昭和62年4月 直接処遇職員による夜間管理・宿直制の開始。

平成3年1月 第1回「退寮児とのつどい」を開催、合わせてOB会を結成する。

平成3年9月30日 仙台母子寮創立50周年記念式典を開催する。（仙台サンプラザ）

平成10年4月 児童福祉法の改正により母子生活支援施設「仙台つばさ荘」に改称する。

平成12年4月 越後隆施設長退任、菅田賢治施設長就任

平成12年10月 保育室全面改造

平成19年4月 菅田賢治異動により施設長退任。小関悌一施設長就任

平成21年11月 耐震改修工事完了

平成23年7月 小関悌一施設長退任により菅田賢治施設長就任

平成24年4月 菅田賢治施設長退任により佐藤文彦施設長就任

平成28年4月 佐藤文彦施設長異動により菅田賢治施設長に就任

詳細は法人80年史参照

職員配置（平成30年4月1日現在） 役職 職種 職員数

施設長1名・主任母子支援員1名・副主任母子支援員1名・母子支援員2名

副主任事務員兼少年指導員1名・少年指導員1名・心理担当職員1名

保育士兼少年指導員1名・保育士1名・嘱託医1名・心理スーパーバイザー1名

顧問弁護士1名 合計13名



親子クリスマス会のために幼児さんが作った作品です。



親子クリスマス会 みんなの出し物が毎年楽しみ



明るくきれいになったお風呂場



廊下・階段もきれいにリフォームしました。



幼児さんが遊ぶ保育室と宿直室

母子生活支援施設仙台むつみ荘



世帯のニーズに的確かつ
細やかなサービスを提供

施設紹介

地域の母子の拠点として

施設長 長田 伸一

杜の都仙台、その北西に位置し、自然に囲まれた仙台むつみ荘。鶯が春を告げ、夏は蝉しぐれ、秋は紅葉、冬は雪化粧と四季の移ろいを五感で感じ、自然を眺められる環境にあります。定員は20世帯ですが1部屋が緊急一時保護専用の部屋になっています。

入所している世帯の主な理由はDVや成育歴に起因した諸問題などです。また、近年は、母親の若年化や孤立化もあり、子育ての仕方がわからないといった世帯も多くあります。母子生活支援施設は、入所者自らが主体となり課題に取り組めるよう支援する形態が求められていますが、入所者の問題が複合的重層化している為、支援もより高度な知識や技術が求められています。自分自身が与えられてこなかった愛情や叱り方、教育や他者とのコ



コミュニケーションの取り方等、母になったからといって子どもに与えられる訳ではありません。職員との関わりの中で母自身が与えられていなかったものを感じ、それを子どもへ繋げられるよう支援することがとても重要となってきます。研修などで得た知識と職員一人ひとりの意識を高め、これからも入所者にとって最善の支援を行っていききたいと思います。

むつみ荘では本来の生活支援、就労支援、保育支援、相談業務等の他に虐待防止の観点から、平日祝祭日の保育を実施しています。入所の理由が暴力被害者でありながら、自分の子どもに対する虐待が連鎖してしまうことも多く、母と子が離れている中でそれぞれが成長できるよう支援を実施しております。これからの母子生活支援施設は母が抱えている問題と、子どもが抱えている問題を、世帯全体の問題としてより総合的に捉え、多角的な視点をもって支援をしていくことが必要となってきております。

今後も確かな信頼と各世帯の自立を目標に、世帯のニーズに的確かつ細やかなサービスを提供すべく、職員一丸となり、日夜仕事に励んでいく所存であります。



クリスマス会 会場



冬の園庭



リニューアル キッチン



夏祭り



リニューアル 面談室



夏祭り

所在地 仙台市青葉区桜ヶ丘三丁目32番10号

設置年月日 昭和60年4月1日

受託年月日 平成9年4月1日

目的

児童福祉法に基づき、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする。

施設概要

構 造：鉄筋コンクリート二階建て
敷地面積：2,246.98㎡
建物面積：1階 637.56㎡
 2階 510.10㎡
延床面積：1,147.66㎡



入口 飾り

理念

母親に対しては、世帯それぞれのニーズに柔軟性を持ち、きめ細やかな援助を行うことを目指し、むつみ荘が生活の場として子育てしやすく働きやすい環境になるよう母親の気持ちに寄り添った支援を行います。児童に対しては、基本的な生活習慣、態度が身につくよう支援します。また集団生活を通して自主性や協調性、社会性を養っていきます。これらを達成するために、様々な遊びや体験を通して創意工夫する力や豊かな感性を養い、健康的な心身を作ると共に体力増進を図って行く事を運営の基本方針と致します。

入所定員 20世帯／うち一部屋は緊急一時保護用

沿革

昭和26年8月 仙台市原町母子寮として事業開始
昭和44年4月 仙台市旭が丘母子寮として移転、事業開始
昭和60年4月 仙台市むつみ荘として移転、事業開始
平成9年4月 社会福祉法人仙台市社会事業協会運営委託
 施設長 高橋すい子着任
平成9年11月 仙台市により事務室、保育室、宿直室の増改修工事着工
平成10年3月 増改修工事竣工
平成10年4月 児童福祉法改正により仙台市母子生活支援施設
 むつみ荘に改称
 施設内保育事業開始
平成12年3月 全居室に浴室設置



園庭 遊具

平成13年 4月	苦情解決制度開始
平成14年 3月	大・小浴室改修工事竣工
平成16年 4月	仙台市指定管理者制度導入
平成16年11月	屋上防水工事着工 同年12月竣工
平成20年11月	トイレ改修工事
平成22年 3月	全居室にエアコン設置及び浴室給湯器交換工事
平成22年 4月	施設長 長田 伸一着任
平成22年 6月	2階ベランダ防水工事
平成22年11月	2階居室排水管工事
平成23年 3月	集会室エアコン取り付け工事
平成23年 4月	指定管理者制度解除に伴い仙台むつみ荘に名称変更 仙台市より建物購入・土地無償貸与。
平成23年11月	内外壁塗装工事着工（東日本大震災による補修工事を含む）
平成24年 4月	内外装塗装工事終了
平成24年12月	施設内防犯カメラ6台設置
平成25年 3月	園庭暗渠工事実施（安心こども基金による）
平成28年10月	防犯カメラ2台増設
平成29年 3月	居室のドア交換、門扉交換（安全強化のため） 共有スペースのカーテン交換
平成29年度	玄関下駄箱交換

職員配置（平成30年4月1日現在） 役職 職種 職員数

施設長1名・主任母子支援員1名・副主任母子支援員2名・母子支援員2・少年指導員3名
 副主任保育士1名・心理担当1名・非常勤顧問弁護士1名
 非常勤心理スーパーバイザー1名・非常勤嘱託医1名 合計14名
 ※個別対応職員・特別生活指導職員・基幹的職員を含む



卒業・進級を祝う会



保育室「ひよこ」



園庭 遊具



事務室入口



居室



集会室 ピアノ



集会室



学習室



面談室



学習室

90th Anniversary

教育事業



仙台理容美容専門学校



未来ある学生の
限らない
可能性を引き出すこと

未来（将来）に繋がる この10年の軌跡

校長 小野寺光弘

本校は、昭和24年に「理容補導学校」として開校し、理容師及び美容師の養成校として、常に東北の理容・美容学校のリーダーシップをとってきている。開校当時の社会福祉の精神を基本に置き、専門知識と技術の習得はもちろん、教育理念の中心でもあり、接客業に就く者として大切な「人に仕えることを自分の喜びとする心」を養う教育や「即戦力になる人材の育成」に全力を注いでいるが、こうした取り組みは県内外の理容店・美容店からも高い評価を得ており、他校からも一目置かれる存在となっている。

平成10年に理容美容学校が、「1年制」から「2年制」に変わり20年が経過したが、その間社会情勢も変化し、特に、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響は大



きく、経済的理由で進学を断念する若者が急増、また、18歳人口の減少や人気職種の常に上位にあった理容・美容の仕事が「3K = きつい、厳しい、汚い」職業に上げられるなど、入学志願者の減少は、非常に深刻な問題となっている。

こうした厳しい状況の中、学校運営を安定させるために、平成24年、理容・美容の仕事のすばらしさや魅力を若い世代にしっかり伝え、一人でも多くの若者に理容・美容の道を選択してもらうために、「理容・美容の魅力」を紹介したリーフレットを作成し、卒業生等の理容・美容サロンに協力していただき、お客様の目に留まる待合室に設置。また、同年、美容師としての技術の幅を広げることと入学者増をはかるための目玉授業の一つとして、東北の学校では初めて、全国でも2～3校しか実施していない、美容サロンの高収入が期待できる「まつ毛エクステンション技術」をいち早く選択授業に導入（現在は、美容科全学生の授業に導入）。平成26年には、今までの「女子寮」を「女子学生専用マンション」にし、寮という縛りをなくし、部屋代も減額することで入居希望者の増に繋げてきた。また、卒業生の離職を防ぐため、「理容・美容サロンで必要とされる人材」の育成と「仕事に対する自立した考え」を養うための施設として、平成28年、敷地内に「仙理美トレーニング・ラボ（サロンワーク専用実習棟）」を建築、本校の学生にしか体験できない理容・美容サロンさながらの仕事を経験することで、「即戦力になる人材」の育成がより効果的に行えるようになり、理容・美容の業界からも好評価を得ている。

本校が今後さらに発展していくために、また、他校との差別化を図る上で重要なことは、理容師・美容師養成校として、未来ある学生の限らない可能性を引き出すことを常に念頭に置き、「理容・美容の魅力を最大限伝え」とともに、真の実力を身につけた人材を



美容科実習 ワインディング（国家試験実技課題）



理容科実習 ミディアムカット（国家試験実技課題）



美容科実習 レイヤーカット（国家試験実技課題）



理容科実習 シェービング（国家試験実技課題）

育成する」、「時代に即したカリキュラムや授業内容の充実を図る」、「学習環境・生活環境を整備する」等である。

私達教職員の努力、創意工夫は当然必要不可欠であるが、それを結果としてしっかり形に表すことが最も大切であり、そういったひとつひとつの軌跡が、本校の未来に繋がる礎になることと信じ、これからも教職員一丸となって邁進していきたい。



美容科実習 オールウェーブ (国家試験実技課題)



理容科実習 ワインディング



美容科実習 バックシャンプー



理容科実習 スタンドシャンプー



美容科実習 まつ毛エクステンション



着付け実習



フォトテクニック実習

所在地 仙台市太白区富沢南二丁目18番1号

設置年月日 昭和24年3月8日

目的

教育基本法及び、学校教育法並びに理容師法・美容師法に基づき、理容師・美容師としての専門知識及び技能を修得させ、あわせて広く社会人としての教養を培い、以て有能な人材を養成し、社会・文化の発展と公衆衛生の向上に貢献できる心身共に健全な理容師・美容師を育成することを目的としています。

設立の経緯

昭和19年4月、仙台市社会事業協会では「理容補導所」として、仙台市青葉区本町三丁目9番地（旧東三番町103）民衆床佐藤厚店舗に開設した。同氏を指導主任として、主に戦争未亡人遺家族、傷病軍人等を入所させ6ヶ月間での技術指導を行った。しかし技術を修得する上での修業期間6ヶ月は余りにも短すぎたため、本科1ヶ年、研究科1ヶ年の修業年限に改め、さらに生徒定員数を50名とし、名称も「理容補導学校」と改称。昭和24年3月8日、宮城県知事より学校建設の許可を受けて学校経営のスタートを切った。

戦時中は理容実習を兼ねて陸軍病院の傷病者、軍需工場その他社会事業施設等に教師が生徒を引率出張し理髪奉仕に努めた。当時は、理髪業者の手不足、その他の事情で理髪所が激減、休業の状態が続き、空襲時の困難な下にあって散髪の不自由は甚だしいものがあった。そのため運転休止中の電車内に理髪奉仕の臨時作業所を設け、一般市民に奉仕することをかさねた。そして、理容師美容師法の制定により従来の徒弟制度では資格試験に応ずることができなくなり、厚生大臣の指定した養成所で一定の教育実習を要することになったため、昭和27年10月、当会所有の柏木二丁目3番41号（旧北六番丁）「元六番丁副業助成所跡」に移転。理容補導学校を「仙台理容学校」と改称し同年11月9日開校するに至った。

その後、昭和28年3月に厚生大臣指定養成施設となり、校名を「仙台高等理容学校」と改称し、翌年には美容科を併設。昭和55年、専修学校制度に基づき、現在の校名「仙台理容美容専門学校」に改称した。

平成10年、理容師・美容師養成施設の制度改革により修業年限が1年制から2年制に移行。定員数が倍になり、柏木校舎の諸施設等では基準を満たすことが不可能となったため、平成10年12月、太白区富沢南二丁目18番1号に移転し、現在に至っている。

施設概要

【校舎構造】鉄筋4階建

【敷地面積】2,307.49㎡

【建物面積】1,092.65㎡

【延べ床面積】4,185.31㎡

【校舎設備】

[1階] 校長室, 応接室, 職員室, 図書室, 会議室, 保健室, 職員休憩室, 書庫

[2階] 普通教室(4室), テクニカルトレーニングルームA(バックシャンプー実習室),

テクニカルトレーニングルームB (理容実習室), エステティックルーム, 着付室, カウンセリングルーム

[3階] 普通教室 (4室) テクニカルトレーニングルームC・D (美容実習室), テクニカルトレーニングルームE (サイドシャンプー実習室), ネイルルーム, カウンセリングルーム

[4階] 普通教室 (4室), 多目的ホール, カウンセリングルーム

【その他の施設】

●トレーニング・ラボ (サロンワーク専用実習棟 木造2階建)

[1階] 客待ちスペース (受付カウンター、クローク), 美容サロンブース (8面), シャンプーブース (5面), メイクブース (2面), 給湯室, 薬液調合室, ランドリー室

[2階] 理容サロンブース (5面), 個室ヘッドスパルーム, ネイルルーム (4面), エステティックルーム (3面), メイクブース (2面), ランドリー室, スタッフ休憩室

●レコール・ドウ・コアフェール仙台 (女子学生専用マンション 鉄筋6階建)

[1階] 多目的トレーニングルーム, 倉庫

[2階] 居室7室, コインランドリー, 管理室

[3～5階] 各階居室7室

[6階] 居室4室

教育目標

理容と美容の専門知識や技術の習得はもちろん、「人に仕えることを喜びとする心」「しっかりとした基礎の構築」「常に上達を目指して追究する精神」を身につけさせ、業界から求められる人材を育成することを目標とし教育を行っています。

入学定員

◎昼間課程：理容科 40名, 美容科 160名 合計 200名

◎通信課程：理容科 40名, 美容科 40名 合計 80名

沿革 (平成21年～平成29年)

平成21年7月 『全国理容美容学生技術大会』出場開始

公益社団法人日本理容美容教育センターが主催する全国唯一の学生コンテストの第1回大会が開催され、本校からも校内予選を勝ち抜いた学生が東北地区大会 (仙台市で開催) に出場。第1回大会から現在に至るまで毎年多数の学生が東北地区大会、全国大会で入賞している。

平成21年11月 第1回 全国大会理容美容学生技術大会 全国大会出場 (大阪)

平成23年3月 東日本大震災 被災

校舎内外に多数の破損や亀裂等の箇所があり補修工事を行う。

平成23年5月 震災の影響により前期始業式を延期

始業式を1ヶ月ずらし5月からのスタートとし、夏休みを返上して授業を行う。

- 平成24年4月 現校長 小野寺光弘が、第7代校長に就任
美容科(昼間課程, 通信課程)の定員変更を行う
昼間課程の定員を200名から160名に、通信課程の定員を120名から40名に変更。
- まつ毛エクステンションのカリキュラムを導入
東北の理美容養成校で初となる「まつ毛エクステンション技術」を、美容科の選択授業に導入する。
- 平成25年2月 全国第1号の「ABE認定校」となる
公益社団法人日本理容美容教育センターの「ABE(The Authorization system of Barber and Beauty Expert)」認定制度において、エステティック、メイクアップ、ネイル認定校の全国第1号となる。
- 平成26年4月 「女子学生寮」から「女子学生専用マンション」に移行
入居希望者が伸び悩んでいた「レコール・ドウ・コアフェール仙台(女子学生寮)」の施設の種別を「寮」から「学生専用マンション」に転換し、さらに家賃の引き下げを行った。その結果、入居希望者が増加し、全32室が満室となる。
- 平成26年10月 ABEまつ毛エクステンション認定校となる
エステティック、メイクアップ、ネイルに引き続き、公益社団法人日本理容美容教育センターの「ABEまつ毛エクステンション認定校」となる。
- 平成27年12月 旧柏木校舎老朽化のため、解体し有料駐車場として運用開始
- 平成28年1月 サロンワーク専用実習棟「トレーニング・ラボ」新築落成
サロンワーク実習専用の新たな施設として、富沢校舎敷地内に、「仙理美トレーニング・ラボ」を新築落成
- 平成28年5月 トレーニング・ラボでのサロンワーク実習開始

職員配置 (平成30年4月1日現在)

[常勤職員] 22名

役 職	職 種	職員数
校 長	施設長	1
教 頭	美容科教員	1
事 務 長	事務員	1
教務主任	美容科教員	1
広報主任	理容科教員	1
	美容科教員	11
	理容科教員	3
	専任教員	1
	事務員	2

[非常勤職員] 18名

役職	職種	職員数
代表理事		1
	講師	15
	校医	2

卒業生数（平成21年～平成30年）

	昼間課程			通信課程		
	理容科	美容科	合計	理容科	美容科	合計
平成21年	23	149	172	4	10	14
平成22年	28	139	167	2	12	14
平成23年	26	129	155	18	13	31
平成24年	25	104	129	8	15	23
平成25年	21	124	145	4	8	12
平成26年	25	109	134	7	10	17
平成27年	11	104	115	4	15	19
平成28年	20	117	137	3	11	14
平成29年	9	138	147	3	9	12
平成30年	19	140	159	5	6	11
合計	207	1,253	1,460	58	109	167

●卒業生総数（昭和24年～平成30年） 17,263名

[内訳]

- ◎ 昼間課程 理容科 3,964名 美容科 8,441名
- ◎ 通信課程 理容科 1,909名 美容科 2,949名



(一社) JMA日本メイクアップ技術検定協会認定校です



NPO法人日本ネイリスト協会認定校です



ABE エステティック認定校 (認定第1号) です



エステティック実習



ABE メイクアップ認定校 (認定第1号) です



メイクアップ実習



ABE ネイル認定校 (認定第1号) です



ネイル実習



ABE まつ毛エクステンション認定校です



まつ毛エクステンション実習

理美容甲子園 全国理容美容学生技術大会 全国大会

地区予選を勝ち抜いた全国10地区の理美容学生達が、技術を競う日本最大の学生コンテストです。本校は毎年、地区最多の入賞者を輩出する全国大会常連校です。



理美容甲子園 全国大会 開会式



美容部門ワインディング競技



美容部門カット競技



美容部門アップスタイル競技



理容部門ワインディング競技



理容部門ミディアムカット競技



理容部門クラシカルバックバリエーションセット競技



全国大会でも見事上位入賞を果たしました！



90th
Anniversary

資料編
法人機関紙・広報紙

広報10年の足跡

機関誌『あゆみ』・広報誌『cocorist』

仙台市社会事業協会 広報委員会

平成22年 — 機関誌『あゆみ』復刊

『あゆみ』は、主に協会職員および関係者様に向けて年1回発行する機関誌で、事務局および各事業所からの情報発信や、職員間の情報交換ツールとしてその機能を果たしていましたが、諸般の事情から平成18年をもって一旦休刊となっておりました。

平成22年、協会内各事業所から選ばれた職員による「広報委員会」が立ち上がったことで、休止していた機関誌『あゆみ』は4年ぶりに復刊しました。

平成27年 — 機関誌『あゆみ』の改変と広報誌創刊へ

仙台市社会事業協会の活動と事業所を、広く一般の皆様にも認知していただく目的で、広報誌『cocorist (ここりすと)』発行の企画が立ち上がり、平成28年3月発行に向け、広報委員会による創刊準備(編集会議)が始まりました。

それに伴い、機関誌『あゆみ』は“年次報告書”の体裁とし、発行時期も11月から5月に変更。文字通り“協会の歩み”を知ることのできる出版物へと改変しました。

機関誌『あゆみ』

[第14号 (平成22年11月発行)]

- ・序文「再開を祝して」
… 事務局長 菅田賢治 (現会長)

● 特集「施設のイチオシ」

- ・仙台理容美容専門学校 … 「仙理美祭 (学校祭)」
- ・仙台長生園 … 「食べる (介護食の取組み)」
- ・葉山デイサービスセンター … 「葉山デイの一日」
- ・沖野3施設 … 「デイ・老福・居介センターの連携」
- ・仙台楽生園ユニットケア施設群
… 「利用者最高齢 S.Tさん 106歳」
- ・仙台つばさ荘
… 「フレッシュ保育&子ども会活動」
- ・むつみ荘
… 「壁面アート動物園・水族館&広い園庭」
- ・仙台保育園 … 「食育活動」
- ・柏木保育園 … 「柏木農園」
- ・富沢わかば保育園
… 「体育教室&外部の方との交流会」



[第15号 (平成23年11月発行)]

- ・序文「採算性について」
… 常務理事 高倉理一郎 (当時)

● 特集「絆・夢・未来」

東日本大震災当時の様子や被災状況、職員のボランティア派遣、そして多くの皆様からいただいたご支援への感謝を内容とした号でした。

- ・仙台理容美容専門学校
- ・仙台長生園
- ・仙台楽生園ユニットケア施設群
- ・沖野3施設
- ・葉山デイサービスセンター
- ・仙台つばさ荘
- ・仙台むつみ荘
- ・仙台保育園
- ・柏木保育園
- ・富沢わかば保育園



[第16号 (平成24年11月発行)]

- ・序文「3・11を忘れない」
… 理事 佐々木薫 (現副会長)
- ・中山保育所 開設準備経過報告

● 特集「なんでもベスト3」

- ・仙台楽生園ユニットケア施設群
…「素敵な利用者さん, 人気メニュー, ペット 他」
- ・柏木保育園
…「ひまわり組, 保護者様の柏木太鼓, 夏野菜豊作」
- ・仙台保育園 …「柚子の木, 大きな楓の木, 柿の木」
- ・富沢わかば保育園 …「園庭と雰囲気, 職員, 行事」
- ・仙台つばさ荘
…「お母さん達の団結力, 行事, 子ども達の笑顔」
- ・仙台むつみ荘
…「子ども達の好きないろいろベスト3」
- ・仙台長生園 …「なんでもベストサークル」
- ・葉山デイサービスセンター
…「利用者さん同士の会話, 美味しい昼食, 行事」
- ・沖野3施設
…「施設の自慢&食べ物行事&ご長寿ベスト3」
- ・仙台理容美容専門学校 …「2012年3つの金メダル」



[第17号 (平成25年11月発行)]

- ・序文「就任のごあいさつ」… 常務理事 菅田賢治
- 事業所記事 (フリーテーマ)
- ・ 仙台長生園 … 「上等博覧会」
- ・ 仙台楽生園ユニットケア施設群 … 「私のスポーツ自慢」
- ・ 沖野3施設 … 「旬」
- ・ 葉山デイサービスセンター … 「セラピーロボットあいちゃん」
- ・ 柏木保育園 … 「いろいろな秋」
- ・ 仙台保育園 … 「変化」
- ・ 富沢わかば保育園 … 「うちの園の〇〇達人！」
- ・ 仙台市中山保育所 … 「自慢の場所・運動会・地域交流」
- ・ 仙台つばさ荘 … 「TEAMつばさ」
- ・ 仙台むつみ荘 … 「本当にあった怖〜い話と明るい話」
- ・ 仙台理容美容専門学校 … 「理美容甲子園 今年も東北地区No.1！」



[第18号 (平成26年11月発行)]

- ・ 巻頭インタビュー … 事務局長 小野寺信也
- ・ 平成25年度 決算報告書
- 事業所記事 (フリーテーマ)
- ・ 仙台長生園 … 「長生園劇団 紹介」
- ・ 仙台楽生園ユニットケア施設群 … 「様々な楽しいことをやっています」
- ・ 葉山デイサービスセンター … 「改修工事」
- ・ 沖野3施設 … 「植栽の剪定と敬老会」
- ・ 仙台理容美容専門学校 … 「理美容トリビアの泉 理容店の看板のナゾ」
- ・ 仙台保育園 … 「近況報告 市営アパート解体」
- ・ 柏木保育園 … 「今年も豊作！ 柏木農園！」
- ・ 富沢わかば保育園 … 「運動会&わたしの癒し・ストレス解消法」
- ・ 仙台市中山保育所 … 「名場面ベストショット」
- ・ 仙台つばさ荘 … 「つばさ荘NEWS」
- ・ 仙台むつみ荘 … 「サマーキャンプ&夏祭り」



※平成27年より「年次報告書」としての体裁に生まれ変わる。

[第19号 (平成27年5月発行)]

- ・序文 … 仙台市社会事業協会 副会長 佐々木薫
- 各事業所報告
- ・平成26年度 総括、概況
- ・平成26年度の取組み、トピックス、主な行事等
- 仙台市社会事業協会 平成26年度 決算報告書
- ・貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書

社会福祉法人仙台市社会事業協会 副会長 佐々木 薫

今年の盛事は記録的な暑さになり、当法人の全体的利用者である高齢者や児童にとっても夏や熱中症が心配されました。また、お盆を過ぎる事態に陥くなり、労働者に休日を挟み利用者が職員もいるなど、昨今の自然環境は大変厳しいものになっていきます。今後も暑中・暑見や台風などの自然災害に注意していかねばなりません。

高貴と訂正、3月1日の東日本大震災から、もうすぐ4年が経ちました。今も避難生活で苦しんでいる人がたくさんいます。同時に新たな困難も出てくるかもしれません。被災者支援のニーズが多岐にわたります。また、避難生活が長期化するにつれて、被災者支援のニーズが多岐にわたります。また、避難生活が長期化するにつれて、被災者支援のニーズが多岐にわたります。

今年、当法人の各事業所として社会福祉の発展に努めてまいりましたが、災害復興や福祉支援に大きな社会貢献の一つと捉えています。当法人としても、これまで高齢者や支援者への支援、お盆前からの被災者への受け入れ、人材の育成、施設安全への取り組み等を実施してまいりました。また、東三陸町福祉まつりを実施するなど、社会福祉の発展に努めてまいりました。

それから、自然環境は厳しいものになり、高齢者や児童にとっても夏や熱中症が心配されました。また、お盆を過ぎる事態に陥くなり、労働者に休日を挟み利用者が職員もいるなど、昨今の自然環境は大変厳しいものになっていきます。今後も暑中・暑見や台風などの自然災害に注意していかねばなりません。

高貴と訂正、3月1日の東日本大震災から、もうすぐ4年が経ちました。今も避難生活で苦しんでいる人がたくさんいます。同時に新たな困難も出てくるかもしれません。被災者支援のニーズが多岐にわたります。また、避難生活が長期化するにつれて、被災者支援のニーズが多岐にわたります。

今年、当法人の各事業所として社会福祉の発展に努めてまいりましたが、災害復興や福祉支援に大きな社会貢献の一つと捉えています。当法人としても、これまで高齢者や支援者への支援、お盆前からの被災者への受け入れ、人材の育成、施設安全への取り組み等を実施してまいりました。また、東三陸町福祉まつりを実施するなど、社会福祉の発展に努めてまいりました。

[第20号 (平成28年5月発行)]

- ・序文 … 仙台美容専門学校 校長 小野寺光弘
- 各事業所報告
- ・平成27年度 総括、概況
- ・平成27年度の取組み、トピックス、主な行事等
- 仙台市社会事業協会 平成27年度 決算報告書
- ・貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書

社会福祉法人 仙台市社会事業協会

仙台美容専門学校 校長 小野寺 光弘

今年もまた、記録的な暑さになり、当法人の全体的利用者である高齢者や児童にとっても夏や熱中症が心配されました。また、お盆を過ぎる事態に陥くなり、労働者に休日を挟み利用者が職員もいるなど、昨今の自然環境は大変厳しいものになっていきます。今後も暑中・暑見や台風などの自然災害に注意していかねばなりません。

高貴と訂正、3月1日の東日本大震災から、もうすぐ4年が経ちました。今も避難生活で苦しんでいる人がたくさんいます。同時に新たな困難も出てくるかもしれません。被災者支援のニーズが多岐にわたります。また、避難生活が長期化するにつれて、被災者支援のニーズが多岐にわたります。

今年、当法人の各事業所として社会福祉の発展に努めてまいりましたが、災害復興や福祉支援に大きな社会貢献の一つと捉えています。当法人としても、これまで高齢者や支援者への支援、お盆前からの被災者への受け入れ、人材の育成、施設安全への取り組み等を実施してまいりました。また、東三陸町福祉まつりを実施するなど、社会福祉の発展に努めてまいりました。

それから、自然環境は厳しいものになり、高齢者や児童にとっても夏や熱中症が心配されました。また、お盆を過ぎる事態に陥くなり、労働者に休日を挟み利用者が職員もいるなど、昨今の自然環境は大変厳しいものになっていきます。今後も暑中・暑見や台風などの自然災害に注意していかねばなりません。

高貴と訂正、3月1日の東日本大震災から、もうすぐ4年が経ちました。今も避難生活で苦しんでいる人がたくさんいます。同時に新たな困難も出てくるかもしれません。被災者支援のニーズが多岐にわたります。また、避難生活が長期化するにつれて、被災者支援のニーズが多岐にわたります。

今年、当法人の各事業所として社会福祉の発展に努めてまいりましたが、災害復興や福祉支援に大きな社会貢献の一つと捉えています。当法人としても、これまで高齢者や支援者への支援、お盆前からの被災者への受け入れ、人材の育成、施設安全への取り組み等を実施してまいりました。また、東三陸町福祉まつりを実施するなど、社会福祉の発展に努めてまいりました。

【第21号（平成29年5月発行）】

・序文 … 柏木保育園 園長 島田玉江

●各事業所報告

- ・平成28年度 総括、概況
- ・平成28年度の取組み、トピックス、主な行事等

●仙台市社会事業協会 平成28年度 決算報告書

- ・貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書



【第22号（平成30年5月発行）】

・序文 … 仙台市社会事業協会 会長 菅田賢治

●各事業所報告

- ・平成29年度 総括、概況
- ・平成29年度の取組み、トピックス、主な行事等

●仙台市社会事業協会 平成29年度 決算報告書

- ・貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書



広報誌『cocorist(ここりすと)』

タイトルの『cocorist(ここりすと)』は、「心」と「ist(～する人)」を組み合わせた造語で、“心を込めて奉仕する当協会の職員”を表す言葉としてネーミングしました。

[vol.1 2016春号(平成28年3月発行)]

- トピックス
仙台保育園が、2016年4月 リニューアルオープンします！
- 創刊特集
仙台市社会事業協会 エグゼクティブ16名の横顔
- リレー連載 利用者さんに訊きました！
第1回 養護老人ホーム 仙台長生園
- スタッフVoice ～職員の声～
- 求人案内 あなたも当法人で働いてみませんか？
- 広告
喫茶レストラン 茶楽, 展望風呂 天空館



[vol.2 2016秋号(平成28年9月発行)]

- トピックス
仙台理容美容専門学校に、本格サロン実習棟『Senribi Training LaBo』誕生！
- 特集
『病後児保育』をご存知ですか？
- 事業所探訪
沖野デイサービスセンター
- 元気になる簡単レシピ
柏木保育園 栄養士さんオススメ
玉ねぎとじゃがいもの冷たいスープ ビシソワーズ
- リレー連載 利用者さんに訊きました！
第2回 特別養護老人ホーム 仙台楽生園
- スタッフVoice ～職員の声～
- 求人案内 あなたも当法人で働いてみませんか？
- 広告
葉山の森 おもちゃ図書館



[vol.3 2017春号 (平成29年3月発行)]

- トピックス
特別養護老人ホーム 仙台楽生園 開園30周年！
- 特集
『認知症』への理解を深める
- 事業所探訪
楽園デイサービスセンター いこい・なごみ
- 元気になる簡単レシピ
中山保育所 加藤栄養士さんオススメ
さつまいもジャム
- リレー連載 学生さんに訊きました！
第3回 仙台理容美容専門学校
- スタッフVoice ~職員の声~
- 求人案内 あなたも当法人で働いてみませんか？
- 広告
美容室 美楽る



[vol.4 2017秋冬号 (平成29年9月発行)]

- トピックス
仙台市中山保育所 櫻間所長が
『瑞宝単光章』を授章
- 特集
『葉山地域交流プラザ』を楽しむ
- 事業所探訪
富沢わかば保育園
- 元気になる簡単レシピ
仙台楽生園 鈴木栄養士さんオススメ
キノコのそばろ味噌
- リレー連載 利用者さんに訊きました！
第4回 沖野デイサービスセンター
- スタッフVoice ~職員の声~
- 求人案内 あなたも当法人で働いてみませんか？



[vol.5 2018春夏号 (平成30年3月発行)]

- トピックス
仙台市社会事業協会が創立90周年を迎えました
- 特集
待機児童問題の解消に向けて
- 事業所探訪
仙台市中山保育所
- 元気になる簡単レシピ
仙台長生園 其田栄養士さんオススメ
手作りしょうゆ麴&しお麴
- リレー連載 利用者さんに訊きました！
第5回 仙台むつみ荘
- スタッフVoice ~職員の声~
- 求人案内 あなたも当法人で働いてみませんか？



[vol.6 2018秋冬号 (平成30年9月発行)]

- トピックス
養護老人ホーム仙台長生園 開園80周年！
- 特集
ウチの事業所イチオシイベント！
- 事業所探訪
仙台楽生園ショートステイ
- 元気になる簡単レシピ
富沢わかば保育園 伊藤栄養士さんオススメ
にんじんケーキ
- リレー連載 利用者さんに訊きました！
第6回 柏木保育園
- スタッフVoice ~職員の声~
- 求人案内 あなたも当法人で働いてみませんか？



編集後記

仙台市社会事業協会の創立90年誌発行に向け、編集委員会を立ち上げ編集作業を行ってきました。本年誌は、70年誌、80年誌の内容を継承し創立100周年に向け橋渡しの意味合いの記念誌を作成することが出来たように感じます。

本年誌には、仙台市長様、仙台市議会議長様、仙台市社会福祉協議会会長様から、ご祝辞をいただきました。また、各事業所からは施設長の挨拶と現場の状況を報告してもらいました。発刊にあたって、関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

創立100周年に向け、今後も変わらぬご指導、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

編集委員長 小野寺信也

創立90年誌編集委員

法人事務局 事務局長	小野寺信也
仙台長生園 園長	佐藤 文彦
中山保育園 園長	櫻間美智子
仙台理容美容専門学校 広報主任	小野寺貴史
仙台楽生園 主任生活相談員	山村 康雄

創立90年誌

発行日 平成30年12月1日
編集・発行 仙台市社会事業協会
仙台市青葉区葉山町8-1
電話 022-275-2792

印刷 社会福祉法人共生福社会
萩の郷福祉工場
仙台市太白区鈎取御堂平38
電話 022-244-0117

